

NEC プロジェクター

NEC

**ViewLight**<sup>®</sup>  
ビューライト

**NP-M403WJD / NP-M363WJD / NP-M403XJD /  
NP-M353WSJD / NP-M303WSJD /  
NP-M403HJD / NP-M353HSJD**

## 取扱説明書 [詳細版]

本機を安全にお使いいただくために  
ご使用前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を —●● 確認する
2. 映像を投写する —●● (基本操作)
3. 便利な機能 —●●
4. ビューワを使う —●●
5. オンスクリーン —●●  
メニュー
6. 機器と接続する —●●
7. 本体のお手入れ / —●●  
ランプの交換
8. 付録 —●●

1

2

3

4

5

6

7

8

# はじめに

このたびは、NEC プロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-M403WJD を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M353WSJD/  
NP-M303WSJD/NP-M403HJD/NP-M353HSJD

- 機種名について

プロジェクター底面の表示では、機種名を「NP-M403W」、「NP-M363W」、「NP-M403X」、「NP-M353WS」、「NP-M303WS」、「NP-M403H」または「NP-M353HS」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「JD」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

## 絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

# 警告

## 本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。  
添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。  
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

## 電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - ・ コードの上に重い物をのせない
  - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
  - い
  - ・ コードの上を敷物などで覆わない
  - ・ コードを傷つけない、加工しない
  - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

## 故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

## 水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
  - ・ プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない
  - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

## 次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・ 暖房の近くや振動の多い所
  - ・ 屋外および湿気やほこりの多い場所
  - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
  - ・ 調理台や加湿器のそば

# 警告

## 動作中にレンズの前に物を置かない



- レンズは本機のレンズカバー以外の物で塞がないでください。  
動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光をさえぎったりすると、その物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 動作中にレンズにふたをしない

対応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD  
/NP-M353HSJD



- 動作中にレンズにふたをしないでください。  
ふたの部分が高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。  
物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。  
火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。  
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターにご連絡ください。

## キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。  
また改造しないでください。火災・感電の原因となります。  
内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタムサポートセンターにご相談ください。

## 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。  
感電の原因となります。

## プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。  
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 天井りの設置について



- 天井りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

## 警告

### ランプ交換は電源を切ってから

### 清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



電源プラグをコンセントから抜く

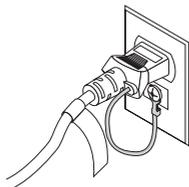


- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [159 ページ](#) をご覧ください。
- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

## 注意

### 機器のアースは確実にしてください

### 通風口をふさがない



- 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にしてください。詳細は [32 ページ](#) をご覧ください。



- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

### ぬれた手で電源プラグに触れない

### 移動するときは電源コードを抜く



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

### お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 注意

## 投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



## 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

## ソフトケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクターを入れて振り回さないでください。また、本機および本機の添付品以外は入れないでください。プロジェクターやソフトケースが落下して、けがの原因となることがあります。

## 電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・ 指定以外の電池は使用しない
  - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## 点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

## 電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

## 注意

### 3D映像を視聴する際の健康に関するご注意



- 健康に関する注意事項は、3D映像のソフト（DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど）および液晶シャッターメガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
  - ・ 3D映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッターメガネを使用しないでください。
  - ・ スクリーンから2m以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
  - ・ 長時間連続して視聴しないでください。1時間視聴したら、15分以上休憩を取ってください。
  - ・ 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
  - ・ 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

# お願い

## 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。  
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。  
故障の原因となります。
  - ・強い磁界が発生する場所
  - ・腐食性のガスが発生する場所
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0 ～ 10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合は、または長時間連続して（5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
  - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。（▶131ページ）
- 標高約1700m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。  
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。  
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。  
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・添付のソフトケースに収納して運んでください。
  - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズカバーを閉じてください。または添付のレンズキャップを取り付けてください。
  - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。

- ・ソフトケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。  
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。  
本機を使用されないときは、レンズカバーを閉じておいてください。または添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について  
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

## ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。  
なお、指定の使用時間を超過お使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風口から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

## 電源プラグを抜く際の注意

- 電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。  
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

## 本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能①、②を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを經由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して①、②の設定を変更してください。

### ① スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」に変更してください。

#### 注意

- 「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときに次の端子や機能が働きません。  
モニタ出力端子、音声出力端子、USB-B ポート、LAN 機能、メール通知機能、DDC/CI (Virtual Remote Tool)

### ② オートパワーオフ（工場出荷時の設定：1 時間）

- ▶ 外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。

#### 注意

- 「1:00」に設定されていると、入力信号がなく、また本機を操作しない時間が 1 時間続いた場合、自動的に本機の電源が切れます。

# 本書の表記について

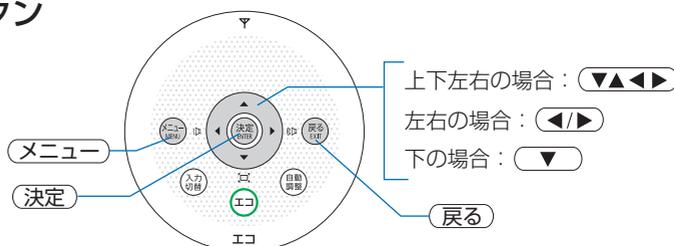
## マークの意味

 <b>重要</b>	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していたきたいことを表しています。
 <b>注意</b>	注意や制限事項を表しています。
 <b>参考</b>	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
<b>適応機種</b>	特定の機種についての説明を表しています。

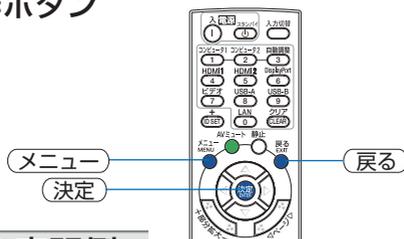
## 操作ボタンの表記例

※ イラストの操作ボタン表記は説明のため黒色にしています。製品の色とは異なります。

### ● 本体の操作ボタン



### ● リモコンの操作ボタン



## メニュー項目の表記例

「プリセット」



### 参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。
- NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD と NP-M403HJD とでは、本体の外観が多少異なりますが、NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD のイラストを用いて説明しています。

# 目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	9
本書の表記について	12
目次	13

## 1. 添付品や名称を確認する ..... 15

1-1. 特長	15
1-2. 添付品の確認	18
1-3. 本体各部の名称	20
1-4. リモコン各部の名称	26
1-5. 添付ソフトウェアについて	30

## 2. 映像を投写する（基本操作） ..... 31

2-1. 映像を投写する流れ	31
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する	32
2-3. 本機の電源を入れる	33
2-4. 入力信号を選択する	35
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	38
2-6. 台形歪みを手動で調整する	42
2-7. コンピュータの映像を自動調整する	46
2-8. 本機の音量を調整する	47
2-9. 本機の電源を切る	48
2-10. あとかたづけ	49

## 3. 便利な機能 ..... 50

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	50
3-2. 動画を静止画にする（静止）	50
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	51
3-4. エコモードと省エネ効果	52
3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する	55
3-6. コンピュータケーブルを使って本機を操作する（Virtual Remote Tool）	58
3-7. USB ケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う（リモートマウス）	64
3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する（USB ディスプレイ）	65
3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	68
3-10. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4/Pro 5）	76
3-11. LAN を経由して画像を投写する（Image Express Utility Lite）	81
3-12. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）	88
3-13. 3D 映像を投写する	91
3-14. マイクを接続する	95
3-15. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する（Wireless Image Utility）	96
3-16. 複数の端末の画面を同時に投写する	97

<b>4. ビューワを使う</b> .....	<b>98</b>
4-1. ビューワでできること .....	98
4-2. USB メモリに保存した画像を投写する .....	100
<b>5. オンスクリーンメニュー</b> .....	<b>106</b>
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 .....	106
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 .....	110
5-3. 入力端子 .....	114
5-4. 調整 .....	115
5-5. セットアップ .....	123
5-6. 情報 .....	141
5-7. リセット .....	143
<b>6. 機器と接続する</b> .....	<b>144</b>
6-1. コンピュータと接続する .....	144
6-2. ディスプレイと接続する .....	147
6-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する .....	149
6-4. 書画カメラと接続する .....	152
6-5. 有線 LAN と接続する .....	153
6-6. 無線 LAN と接続する (別売) .....	154
<b>7. 本体のお手入れ／ランプの交換</b> .....	<b>157</b>
7-1. レンズの清掃 .....	157
7-2. キャビネットの清掃 .....	158
7-3. ランプの交換 .....	159
<b>8. 付 録</b> .....	<b>164</b>
投写距離とスクリーンサイズ .....	164
対応解像度一覧 .....	173
仕様 .....	175
外観図 .....	183
ケーブルカバー (別売) の取り付けかた .....	187
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名 .....	188
故障かな?と思ったら .....	189
インジケータ表示一覧 .....	194
トラブルチェックシート .....	196
TCO 認証 .....	198
索引 .....	199
別売品／商標について .....	202
<b>保証と修理サービス (必ずお読みください)</b> .....	<b>205</b>
<b>NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内</b> .....	<b>裏表紙</b>

# 1. 添付品や名称を確認する

## 1-1. 特長

### ● スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットになります。

ノーマル：スタンバイ時の消費電力が 0.15 ワットのモード

ネットワークスタンバイ：スタンバイ時の消費電力が 2.6 ワットのモード

### ● 消費電力を抑えるエコモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるため、「オートエコ」、「エコ1」、「エコ2」という 3 種類のエコモードを搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量に換算して、電源を切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します（カーボンメータ）。

### ● ランプ交換時間が最大 8000 時間

エコモードで「エコ2」を設定して使用すると、ランプ交換時間<sup>(注1)</sup>が延ばせます。

(注1) 保障時間ではありません。

### ● フィルタ交換不要

フィルタを搭載していないため、フィルタの交換が不要です。

### ● 投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

### ● 短焦点投写を実現（**適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD）

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は、短焦点投写が可能なレンズを搭載しています。100 型のスクリーンサイズに対し、投写距離約 100cm での投写が可能です。

### ● HDMI 入力端子を 2 系統装備し、デジタル映像信号を投写可能

HDMI 入力端子を 2 系統装備しており、デジタル映像信号を投写することができます。また、HDMI 入力端子は音声信号にも対応しています。

本機の HDMI 入力端子は、HDCP に対応しています。

### ● コントロール ID が登録できるリモコンを標準添付

同じ部屋で本機を複数台使用しているときなどに、プロジェクターごとに個別のコントロール ID 番号を設定することによって、1 個のリモコンでプロジェクターごとに個別の操作を行うことができます。

### ● 20 ワットのモノラルスピーカ内蔵 / マイク入力対応

広い会議室や教室で視聴していただけるように、20 ワットのモノラルスピーカを内蔵しています。コンデンサマイクまたはダイナミックマイクに対応しています。

### ● USB ディスプレイ

コンピュータとプロジェクターを USB ケーブル<sup>(注2)</sup>を使って接続すると、コンピュータの画面と音声をプロジェクターへ伝送して投写することができます。そのとき、コンピュータケーブルを接続する必要はありません。

(注2) NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。

## ● 有線 LAN / 無線 LAN 対応

LAN ポート (RJ-45) を装備しており有線 LAN に接続してコンピュータから本機へ画像を伝送したり、コンピュータから本機を制御したりできます。

また、別売の無線 LAN ユニッツを本機に取り付けると、無線 LAN に接続できます。

## ● 便利なユーティリティソフト (User Supportware) を標準添付 (注3)

添付の NEC Projector CD-ROM にユーティリティソフト (Virtual Remote Tool、Image Express Utility Lite、PC Control Utility Pro 4/5) を収録しています。

Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードから起動して使用することができます。

(注3) コンピュータの OS により利用できないものがあります。

## ● クイックスタート (11 秒)、クイックパワーオフ、ダイレクトパワーオフ

パワーオンから 11 秒で映像が表示され始めます (クイックスタート) (注4)。

パワーオフ後に冷却ファンが回転しないので、すばやく片付けることができます (クイックパワーオフ)。

また、投写中に AC 電源を切断することができます (ダイレクトパワーオフ)。

AC 電源を切断する場合は、本機の電源コードを接続しているテーブルタップのスイッチやブレーカなどを利用してください。

(注4) スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のとき。

## ● オートパワーオン/オートパワーオフ機能

本機には次のような自動的に電源を入/切する機能があります。

- ・ダイレクトパワーオン……………本機に AC 電源が供給されると、自動的に電源が入り、映像を投写します。
- ・オートパワーオン (COMP.) ……本機がスタンバイ状態のときコンピュータ信号が入力されると、自動的に電源が入り映像を投写します。
- ・オートパワーオフ……………設定した時間だけ信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。
- ・オフタイマー……………設定した時間が経過すると、自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

## ● 無断使用や盗難を防止する機能を装備

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・セキュリティキーワード……………オンスクリーンメニューの「セキュリティ」でキーワードを設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。
- ・盗難防止用ロック……………本機は、ケンジントンセキュリティワイヤーを接続することができます。
- ・セキュリティバー……………本機は、一般的なセキュリティケーブル (またはワイヤー) を通す機構を装備しています。

## ● アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA (注5) までの解像度に対応

NP-M403XJD は XGA (1024 × 768 ドット)、NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M353WSJD/NP-M303WSJD は WXGA (1280 × 800 ドット)、NP-M403HJD/  
NP-M353HSJD はフル HD (1920 × 1080 ドット) にリアル対応しています。アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA (1920 × 1200 ドット) (注5) の入力信号までカバーしています。

(注5) 解像度 WUXGA はアナログ RGB 信号入力時のみ対応

## ● 3D 映像に対応

さまざまな 3D 方式に対応しています。市販の 3D メガネを使用して 3D 映像を視聴することができます。

## ● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータやコントローラから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

## 主要機能比較一覧

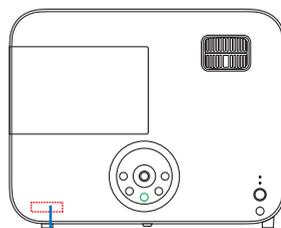
本機は、機種によって次のような機能の違いがあります。

機種名	標準モデル	ワイドモデル		ワイド短焦点モデル	
	NP-M403XJD	NP-M403WJD	NP-M363WJD	NP-M353WSJD	NP-M303WSJD
アスペクト比	<b>4:3</b> 標準	<b>16:10</b> ワイド			
解像度 (ドット×ライン)	XGA (1,024 × 768)	WXGA (1,280 × 800)			
画面サイズ (最小～最大)	30 ～ 300 型	30 ～ 300 型		60 ～ 150 型	
投写距離 (最小～最大)	0.89 ～ 15.93m	0.75 ～ 13.5m		0.57 ～ 1.48m	
明るさ エコモード 「オフ」時	4,000 ルーメン	4,000 ルーメン	3,600 ルーメン	3,500 ルーメン	3,000 ルーメン
ランプ交換時間 (目安)*	3500 時間				
ズーム機能	マニュアルズーム (ズームレバーを操作)			デジタルズーム (オンスクリーンメニューで操作)	
フォーカス機能	マニュアルフォーカス				

機種名	フルHDモデル	フルHD短焦点 モデル
	NP-M403HJD	NP-M353HSJD
アスペクト比	<b>16:9</b> ハイビジョン	
解像度 (ドット×ライン)	1080p (1,920 × 1080)	
画面サイズ (最小～最大)	30 ～ 300 型	60 ～ 150 型
投写距離 (最小～最大)	0.74 ～ 14.08m	0.55 ～ 1.45m
明るさ エコモード 「オフ」時	4,000 ルーメン	3,500 ルーメン
ランプ交換時間 (目安)*	3500 時間	
ズーム機能	マニュアルズーム (ズームレバーを 操作)	デジタルズーム (オンスクリーン メニューで操作)
フォーカス機能	マニュアルフォーカス	

※エコモード「オフ」でのみ使用の時間です。  
保証期間ではありません。

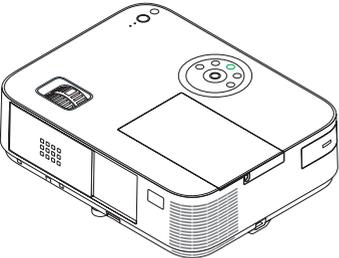
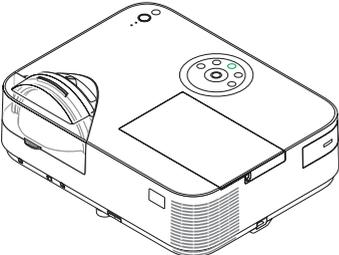
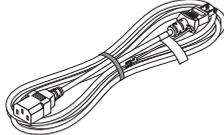
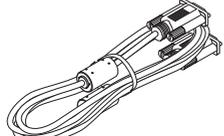
- 参考**
- お使いのプロジェクターの機種名を確認してください。  
機種名は右図に示した場所で確認できます。



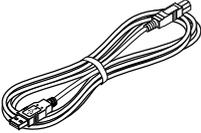
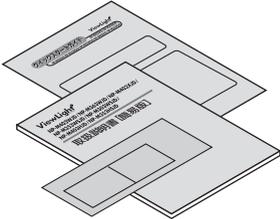
機種名

## 1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

 <p>NP-M403WJD/NP-M363WJD/ NP-M403XJD/NP-M403HJD</p>  <p>NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M353HSJD</p>	<p><b>プロジェクター（本機）</b> コンピュータや DVD プレーヤなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p><b>レンズキャップ（24F49892）</b> 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。</p> <p><b>適応機種</b> NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M353HSJD</p>
	<p><b>リモコン（7N901062）</b> 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単 4 乾電池 2 本をセットしてください。（<a href="#">28 ページ</a>）</p> <p><b>単 4 乾電池（リモコン用）2 本</b> 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p><b>電源コード（アース付き）（7N080125/7N080129）</b> AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p><b>コンピュータケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン）（7N520089）</b> コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。（<a href="#">32, 144 ページ</a>）</p>

次ページに続く

	<p><b>USB ケーブル (7N520086)</b>  リモートマウスやUSB ディスプレイを使用する場合に、本機とコンピュータを接続します。(P.64, 65, 144 ページ)</p> <p><b>適応機種</b> NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD</p>
	<p><b>ソフトケース (24BS8391)</b>  本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。</p>
	<p><b>NEC Projector CD-ROM (7N952231)</b>  PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書 [詳細版] (本書) とユーティリティソフトを収録しています。(P.30 ページ)</p>
	<p><b>クイックスタートガイド (7N8N6101)</b>  機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p><b>取扱説明書【簡易版】 (7N8N6091)</b>  安全のために守っていただきたいこと、ランプ交換、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p><b>保証書</b>  プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p>

**参考**

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

# 1-3. 本体各部の名称

## 本体前面 / 背面

適応機種

NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJD

### フォーカスリング

映像のフォーカスを合わせます。

(▶ 41 ページ)

### ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します。

(▶ 40 ページ)

### レンズ

ここから映像が投写されます。

### レンズカバー

レンズを保護します。  
開閉方法は下記をご覧ください。

### チルトフット

チルトレバーを押し上げると  
上下に伸縮できます。  
チルトフットを使って投写角  
度を調整します。(▶ 39 ページ)

### チルトレバー

チルトレバーを押し上げるとチルト  
フットを伸縮できます。  
本機の投写角度を固定したいところ  
で、チルトレバーから指を離します。  
(▶ 39 ページ)

### リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 28 ページ)

### 本体操作部

本機の電源の入/切や、投写  
する映像信号の切り替え操  
作などができます。

(▶ 23 ページ)

### USB (LAN) ポートカバー

別売の無線 LAN ユニットを取り  
付けるときカバーを外しま  
す。

(▶ 155 ページ)

### セキュリティバー

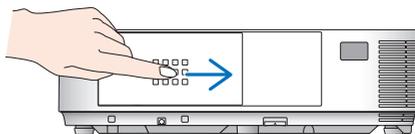
セキュリティケーブル (またはワイ  
ヤー) を取り付けます。  
本機のセキュリティバーは、直径  
4.6mm の太さのものまで対応してい  
ます。

### 排気口

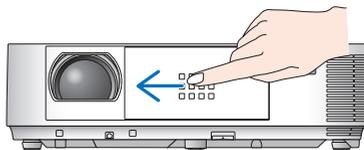
ランプの熱を排気します。

## ● レンズカバーの開閉方法

開くには、レンズカバーを右へスライドさせます。

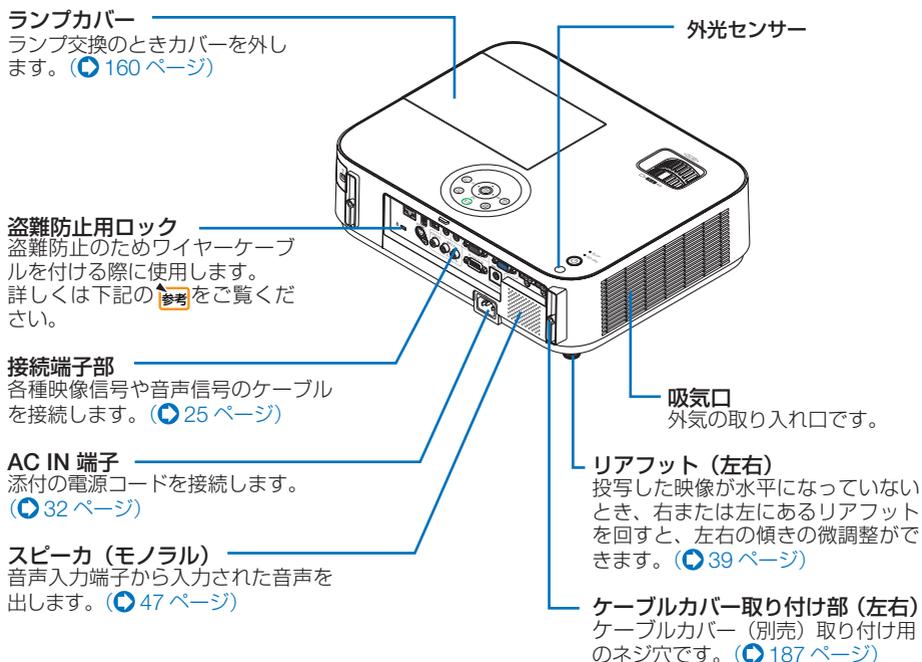


閉じるには、左へスライドさせます。



### 注意

- 本機のレンズカバーの開閉は AV ミュート (画像と音声を消す機能) と連動しています。動作中にレンズカバーを閉じると自動で画像は消えますがランプは点灯しています。この状態のまま約 2 時間経過すると、自動的に電源が切れます。
- レンズカバーを手前に引っ張ったり上下方向に強い力を加えないでください。レンズカバーのスライド機構が破損するおそれがあります。



**参考**

- 盗難防止用ロックについて   
盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

<http://www.kensington.com/>

対応製品については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 本体前面 / 背面 適応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M353HSJD

## フォーカスレバー

映像のフォーカスを合わせます。

(▶ 41 ページ)

## レンズ

ここから映像が投写されます。

## レンズキャップ

レンズを保護します。



## チルトフット

チルトレバーを押し上げると上下に伸縮できます。

チルトフットを使って投写角度を調整します。(▶ 39 ページ)

## チルトレバー

チルトレバーを押し上げるとチルトフットを伸縮できます。

本機の投写角度を固定したいところで、チルトレバーから指を離します。

(▶ 39 ページ)

## リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。

(▶ 28 ページ)

## 盗難防止用ロック

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。

詳しくは前ページの 参考 をご覧ください。

## 接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(▶ 25 ページ)

## AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。

(▶ 32 ページ)

## スピーカ (モノラル)

音声入力端子から入力された音声を outputs します。(▶ 47 ページ)

## 本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。

(▶ 23 ページ)

## USB (LAN) ポートカバー

別売の無線 LAN ユニットを取り付けるときカバーを外します。

(▶ 155 ページ)

## セキュリティバー

セキュリティケーブル (またはワイヤー) を取り付けます。

本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

## 排気口

ランプの熱を排気します。

## ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。(▶ 160 ページ)

## 外光センサー

## 吸気口

外気の取り入れ口です。

## リアフット (左右)

投写した映像が水平になっていないとき、右または左にあるリアフットを回すと、左右の傾きの微調整ができます。(▶ 39 ページ)

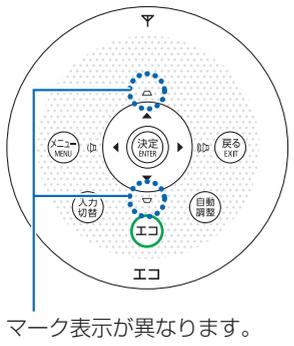
## ケーブルカバー取り付け部 (左右)

ケーブルカバー (別売) 取り付け用のネジ穴です。(▶ 187 ページ)

# 本体操作部

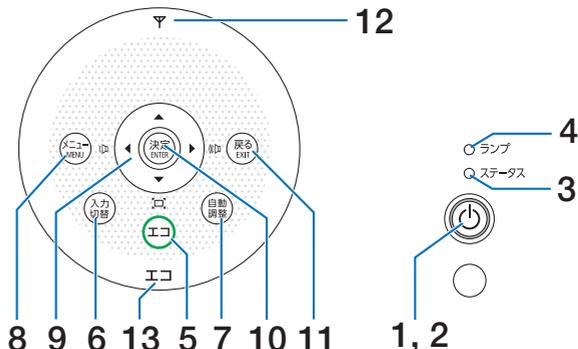
## 適応機種

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/  
NP-M353HSJD



## 適応機種

NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/  
NP-M403HJD



※ (▼▲▶◀) ボタン以外のボタンは、いずれかを押すとすべてのボタンが 90 秒間点灯します。

## 1 (電源ボタン) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。  
電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (電源ボタン) を押します。

## 2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。  
(▶ 33, 194 ページ)  
電源が切れている (スタンバイ状態) ときは赤色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

## 3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は消灯しています。  
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。  
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶ 194 ページ)

## 4 ランプインジケータ

ランプの交換時期がきたときやエコを選択していることをお知らせします。  
(▶ 195 ページ)

## 5 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。  
(▶ 52 ページ)

## 6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。  
コンピュータ → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ → USB-A → LAN → USB-B → コンピュータ… の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

## 7 (自動調整) ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶ 46 ページ)

## 8 (メニュー) ボタン

各種設定 : 調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶ 106 ページ)

## 9 (▼▲▶◀) ボタン

(音量調整ボタン、台形補正ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (▼▲▶◀) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(▶ 106 ページ)

- ・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(▶◀) ボタンを押すと、音量を調整できます。(▶ 47 ページ)

適応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJD

- ・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(▼▲) ボタンを押すと、上下方向および左右方向の台形補正調整画面を表示します。(▶ 42 ページ)

適応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/  
NP-M353HSJD

- ・オンスクリーンメニューを表示していないときに、(▼▲) ボタンを押すと、上下方向の台形歪みを調整できます。(▶ 44 ページ)

1  
添付品や名称を確認する

## 10 **決定** ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 11 **戻る** ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

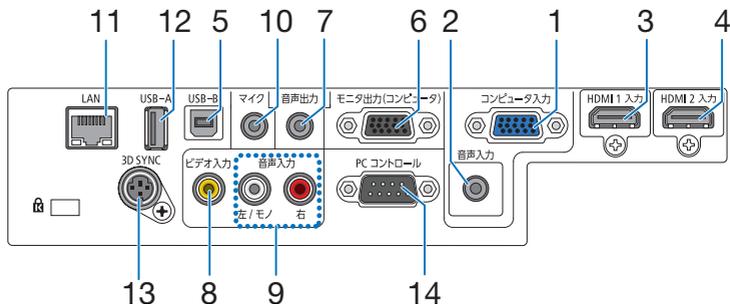
## 12 無線 LAN インジケータ

無線 LAN ユニットを取り付けた状態で本機の電源を入れると、青色に点灯します。

## 13 エコインジケータ

エコモードを設定しているときに、緑色に点灯します。

## 接続端子部



### 1 コンピュータ映像入力端子 (ミニ D-Sub 15ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤーなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([32](#), [144](#), [150](#), [152](#) ページ)

### 2 コンピュータ音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータまたは DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。( [144](#), [150](#) ページ )  
本機のスピーカから出力される音はモノラルです。

### 3 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

( [144](#), [145](#), [151](#) ページ )

本機のスピーカから出力される音はモノラルのみです。

### 4 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

( [144](#), [145](#), [151](#) ページ )

本機のスピーカから出力される音はモノラルのみです。

### 5 USB-B 端子 (USB) (タイプ B)

USB ケーブル (注) を使ってコンピュータと接続すると、コンピュータケーブルを使用せずにコンピュータの画面を投写できます。

また添付の Image Express Utility Lite を使用するとコンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。( [65](#), [144](#) ページ )

(注) NP-M403WJD/NP-M403HJD/NP-M363WJD/

NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/

NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。

### 6 モニタ出力 (コンピュータ) 端子 (ミニ D-Sub 15ピン)

コンピュータ映像入力端子の映像信号を出力します。( [147](#) ページ )

### 7 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声信号を出力します。( [147](#) ページ )

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音が出なくなります。

### 8 ビデオ映像入力端子 (RCA-フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。( [149](#), [152](#) ページ )

### 9 ビデオ音声入力端子 (RCA-フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。( [149](#) ページ )

### 10 マイク入力端子 (モノラル・ミニ)

市販のダイナミックマイクまたはコンデンサーマイクを接続すると、スピーカからマイクの音声を出力することができます。( [95](#) ページ )

### 11 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。( [153](#) ページ )

### 12 USB-A ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリを接続します。

USB メモリに画像データを保存すると本機のビューワで投写することができます。

( [98](#) ページ )

### 13 3D SYNC (ミニ DIN-3 ピン)

3D 同期信号が必要な 3D 映像視聴システムに使います。( [91](#) ページ )

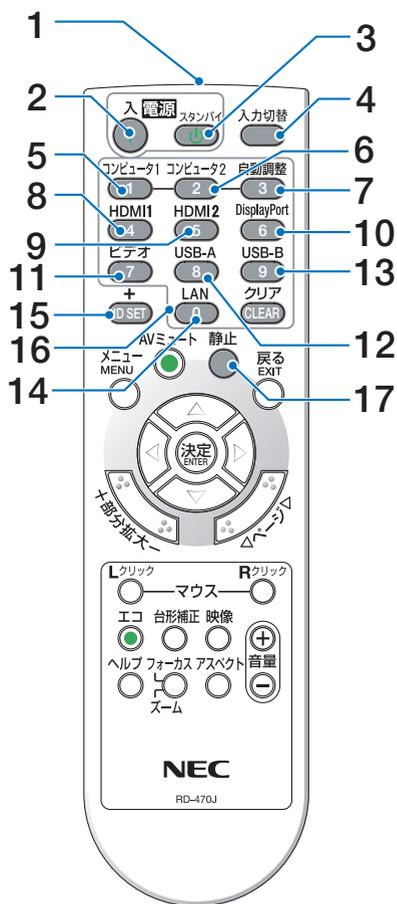
### 14 PC コントロール端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピュータで本機を操作するときを使用します。

1

添付品や名称を確認する

# 1-4. リモコン各部の名称



## 4 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。  
コンピュータ → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ  
→ USB-A → LAN → USB-B → コンピュータ  
… の順に自動でチェックし、入力信号を検  
出すると、その信号を投写します。

## 5 (コンピュータ1) ボタン

コンピュータ入力 (またはコンポーネント)  
を選択します。

## 6 (コンピュータ2) ボタン

(本機では使用できません。)

## 7 (自動調整) ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最  
適な状態に自動調整します。(▶ 46 ページ)

## 8 (HDMI 1) ボタン

HDMI 1 入力を選択します。

## 9 (HDMI 2) ボタン

HDMI 2 入力を選択します。

## 10 (DisplayPort) ボタン

(本機では使用できません。)

## 11 (ビデオ) ボタン

ビデオ入力を選択します。

## 12 (USB-A) ボタン

ビューワを選択します。

## 13 (USB-B) ボタン

USB ディスプレイを選択します。

## 14 (LAN) ボタン

ネットワークを選択します。

## 15 (ID SET) ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで  
個別に操作するときのコントロール ID 設定  
に使用します。(▶ 129 ページ)

## 16 数字 (0) ~ (9) 入力ボタン

複数プロジェクターを本機のリモコンで個別  
に操作する場合の ID 入力に使用します (コ  
ントロール ID 設定)。

(CLEAR (クリア)) ボタンはコントロール ID  
設定を解除する場合に使用します。

(▶ 130 ページ)

## 17 (静止) ボタン

表示されている画像が静止画となります。も  
う一度押すと戻ります。(▶ 50 ページ)

## 1 リモコン送信部

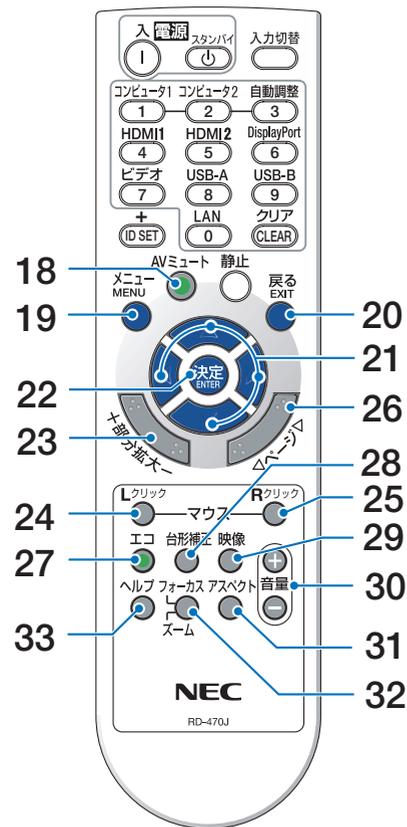
赤外線によるリモコン信号が送信されます。  
本体のリモコン受光部に向けて操作してくだ  
さい。

## 2 電源(入)ボタン

スタンバイ時 (電源インジケータが赤色\*に  
点灯) に本機の電源を入れます。(※スタン  
バイモードが「ノーマル」に設定されている  
とき)

## 3 電源(スタンバイ)ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示し  
てもう一度 (スタンバイ) (または (決定)) ボタ  
ンを押すと、本機の電源がスタンバイ状態に  
なります。



## 18 (AVミュート) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶ 50 ページ)

## 19 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

## 20 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

## 21 (◀▶▶▶) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大+/-)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。  
また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続するとコンピュータのマウスとして動作します (リモートマウス)。(▶ 106, 51, 64 ページ)

## 22 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。  
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

## 23 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小 (もとに戻す) をします。(▶ 51 ページ)

## 24 (マウス L クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの左ボタンの動作をします。(▶ 64 ページ)

## 25 (マウス R クリック) ボタン

USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。マウスの右ボタンの動作をします。(▶ 64 ページ)

## 26 (ページ ▼/△) ボタン

ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。(▶ 101, 103 ページ)  
また、USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPoint の画面切り替えなどに使用します。(▶ 64 ページ)

## 27 (エコ) ボタン

エコモード選択画面を表示します。(▶ 52 ページ)

## 28 (台形補正) ボタン

台形補正調整画面を表示します。(▶ 43, 45 ページ)

## 29 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(▶ 115, 117 ページ)

## 30 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

## 31 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。(▶ 120 ページ)

## 32 (フォーカス/ズーム) ボタン

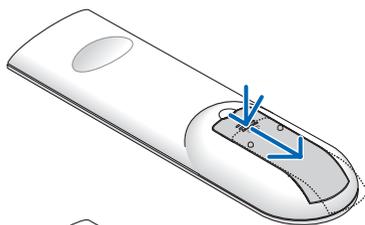
**適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/  
NP-M353HSJD  
デジタルズーム調整画面を表示します。

## 33 (ヘルプ) ボタン

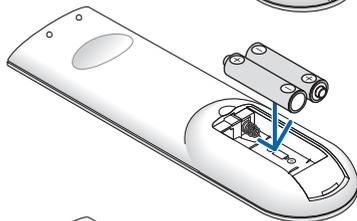
情報画面を表示します。(▶ 141 ページ)

## ●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押し  
たまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

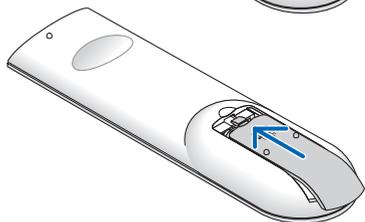


2 ケース内部に表示している+、-の向き  
に合わせて単4乾電池をセットする。



3 もとどおりにふたをする。

ふたの後部には電池ケースに固定するツメがあります  
ので、スライドさせて閉めてください。



### 注意

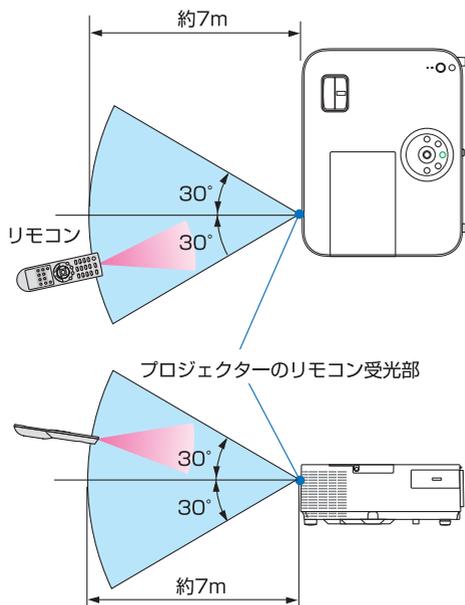
- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

## ●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体前面のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。  
おおよ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することも  
できます。

### 【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

## ●リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

## 1-5. 添付ソフトウェアについて

### 添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Virtual Remote Tool (Windows のみ対応)	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータの画面に Virtual Remote 画面を表示し、コンピュータケーブルなどを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。(👉 58 ページ)</li></ul>
Image Express Utility Lite	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターを USB ケーブル、またはネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。さらに、コンピュータの音声もプロジェクターへ伝送して出力することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。(👉 65 ページ、81 ページ)</li><li>● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。</li><li>● 幾何学補正機能を使うと、平面ではない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(👉 88 ページ)</li></ul>
Image Express Utility Lite for Mac OS	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターをネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。(👉 81 ページ)</li><li>● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。</li></ul>
PC Control Utility Pro 4 PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	<ul style="list-style-type: none"><li>● コンピュータとプロジェクターをネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) やシリアルケーブルを使って接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(👉 76 ページ)</li></ul>

#### 注意

- Image Express Utility Lite は、当社製の他の機種に添付している Image Express Utility 2.0 の「ミーティングモード」には対応していません。

### ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報および動作環境については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

## 2. 映像を投写する（基本操作）

### 2-1. 映像を投写する流れ

#### ステップ 1

コンピュータと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



#### ステップ 2

本機の電源を入れる (▶33 ページ)



#### ステップ 3

入力信号を選択する (▶35 ページ)



#### ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶38 ページ)  
台形歪みを手動で調整する (▶42 ページ)



#### ステップ 5

映像や音声を調整する  
・画質を調整する場合 (▶46 ページ)  
・本機の音量を調整する場合 (▶47 ページ)



#### ステップ 6

プレゼンテーションを行う



#### ステップ 7

本機の電源を切る (▶48 ページ)



#### ステップ 8

あとかたづけ (▶49 ページ)

## 2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

### 1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」144 ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

### 2. 電源コードを接続する

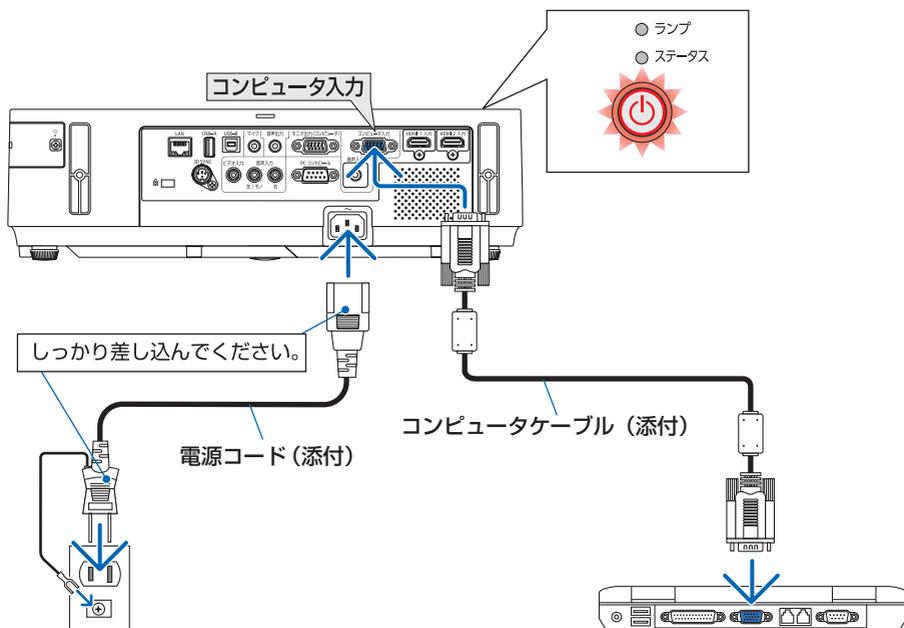
本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



**注意**

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータが赤色に点灯します（スタンバイ状態）。(194 ページ)



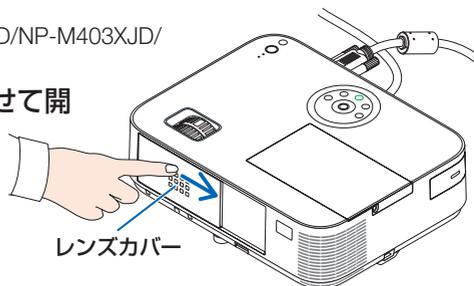
**注意**

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

## 2-3. 本機の電源を入れる

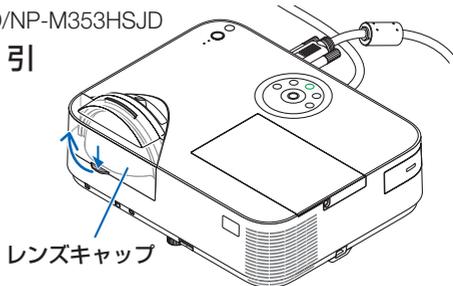
- 1** 対応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/  
NP-M403HJD

レンズカバーを右へスライドさせて開く。



- 対応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD

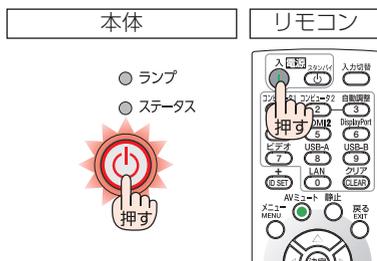
レンズキャップのつまみを持って、引いて外す。



### 2 電源ボタンを押す。

しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイドランスが表示されます(工場出荷時のメニュー設定時)。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングまたはフォーカスレバーを回して画面のフォーカスを合わせてください。(41 ページ)



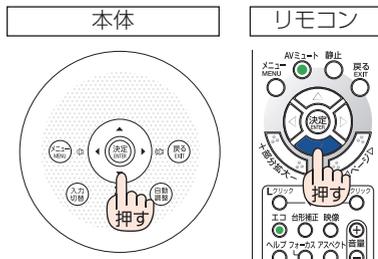
#### 参考

- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。(56 ページ)
- エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。(127 ページ)
- 電源ボタンやメニューボタンなどを押すとピープ音を出します。ピープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。(132 ページ)

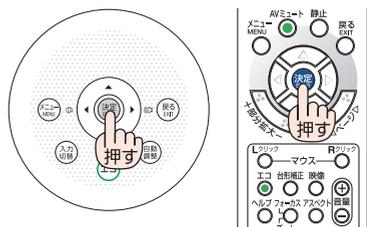
- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。



- 1 (方向キー) ボタンを押して、カーソルを「日本語」に合わせる。



- 2 (決定) ボタンを押す。  
 オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定され、オンスクリーンメニューが消えます。



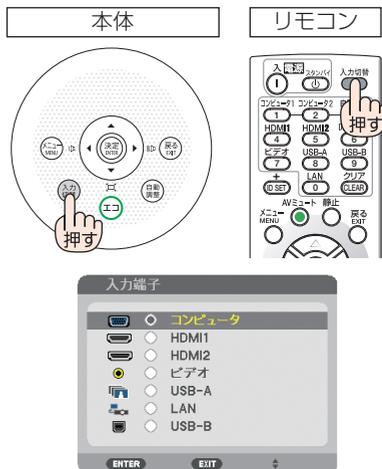
### 注意

- 次のような場合は、(決定) ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ランプの交換時間（目安）\*がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。\*保証時間ではありません。
  - (決定) ボタンを押している間にステータスインジケータがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（129 ページ）
  - 電源を入れてもランプが点灯せず、ステータスインジケータが点滅（6 回周期の点滅）している場合は、1 分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは(決定) ボタンを押しても電源は切れません（青色で長い点滅はオフタイマーを設定していますので電源は切れます）。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3～5 分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 電源を入れたとき、ランプが明るくなるまで時間がかかる場合があります。
- ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

## 2-4. 入力信号を選択する

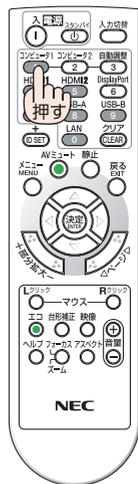
### 投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。  
DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。
- 2 (入力切替) ボタンを押す。  
入力端子画面が表示されます。
  - コンピュータ → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ → USB-A → LAN → USB-B → コンピュータ…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
  - 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



### リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。  
DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生(PLAY)操作をしてください。
- 2 リモコンの (コンピュータ1)、(HDMI 1)、(HDMI 2)、(ビデオ)、(USB-A)、(USB-B)、(LAN) ボタンを押す。



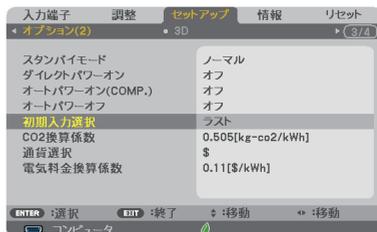
## 自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

### 1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (106 ページ)



### 2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



### 3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

### 4 本機の電源を入れなおす。

手順2で設定した信号が自動的に投写されます。

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン（COMP.））。(▶ 134 ページ)
- 信号が入力されていないときは、無信号ガイダンスが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。  
DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合  
ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  - ・ Windows のノートブックコンピュータの場合は、**[Fn]** キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

#### 【コンピュータメーカーとキー操作の例】

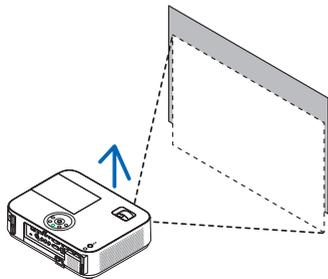
<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ・ Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
  - ・ それでも投写しない場合は本体の **(入力切替)** ボタンをもう一度押してください。  
(▶ 35 ページ)

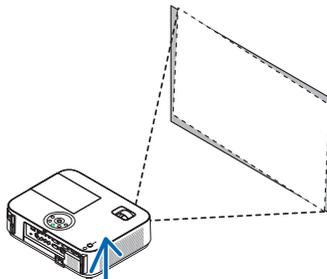
## 2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、ズーム機能、フォーカ機能などを使って、投写画面の位置や大きさを調整します。

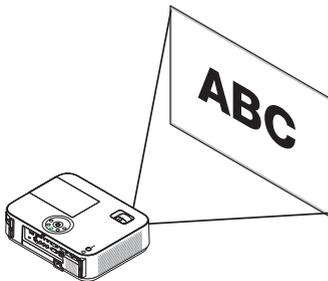
投写角度（投写画面の高低）の調整  
【チルトフット】 (🔵次ページ)



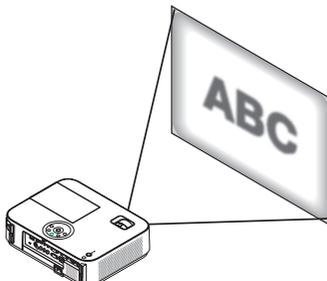
左右の傾きの調整【リアフット】  
(🔵次ページ)



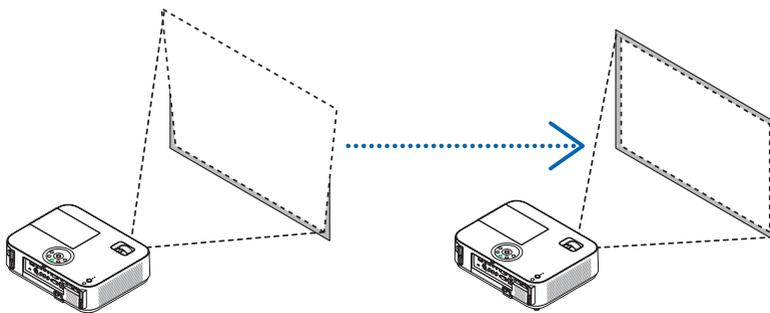
投写画面の大きさの調整【ズーム機能】  
(🔵40ページ)



投写画面のフォーカス調整  
【フォーカス機能】 (🔵41ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】\*



※工場出荷時は、自動で台形補正を行う設定になっています。手動で台形歪みの補正を行う場合は、「2-6. 台形歪みを手動で調整する」をご覧ください。(🔵42ページ)

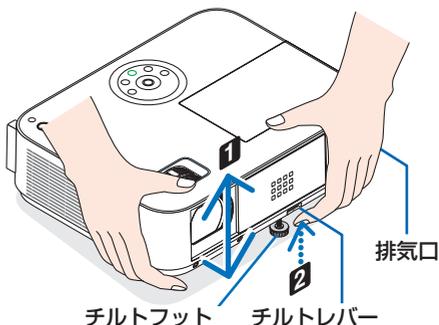
※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

## 投写角度（投写画面の高低）の調整（チルトフット）

- 1 本機の前面を持ち上げスクリーンに合わせる。

**注意**

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。チルトフットの調整の際にはご注意ください。

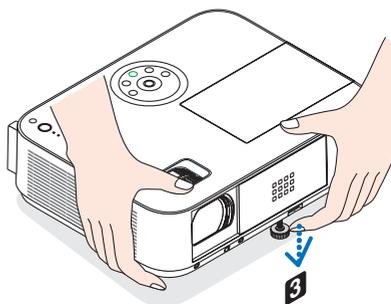


- 2 チルトレバーを押し上げる。  
チルトフットのロックが外れ、チルトフットが伸縮します。

- 3 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大 52mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を最大 10° 傾けることができます。
- チルトフットを指で回すと高さの微調整ができます。

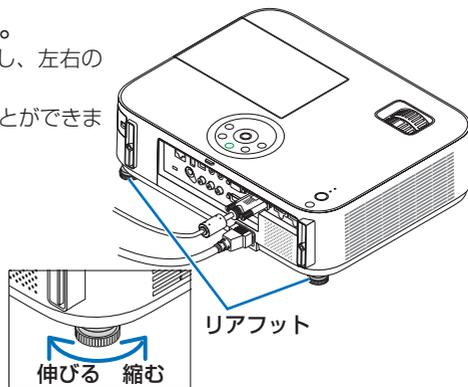
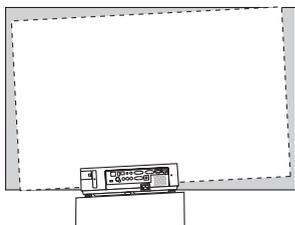


**注意**

- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

## 投写画面の左右の傾き調整（リアフット）

- 1 右または左のリアフットを回す。  
リアフットを回すと、リアフットが伸縮し、左右の傾きを調整できます。
- リアフットは、最大 26.5mm 伸ばすことができます。



**注意**

- リアフットは 21.5mm 以上伸ばさないでください。26.5mm を超えるとリアフットの取り付け部分不安定になり、リアフットが本体から外れます。

2

映像を投写する（基本操作）

**注意**

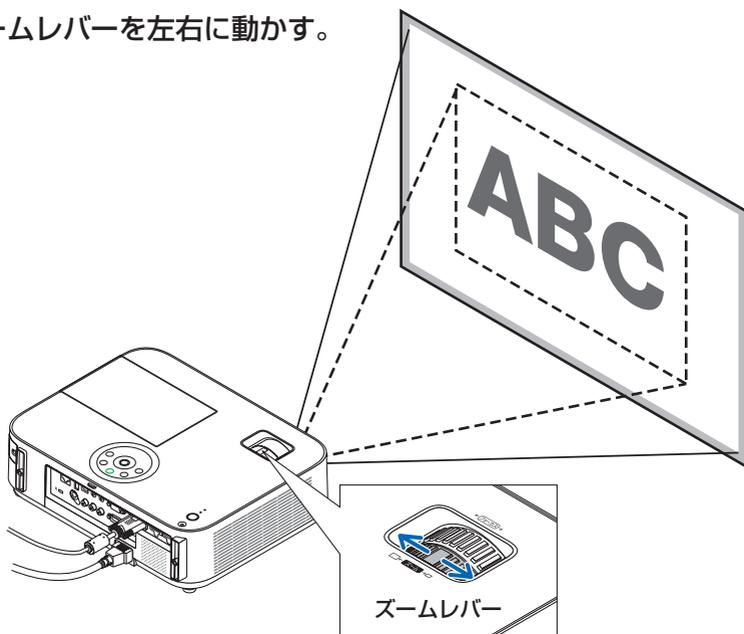
- 背面から見て左側にあるリアフットを伸ばしたときに、本機底面の突起部が床にあたる場合は、右側のリアフットを12 mm以上伸ばしてください。
- 背面から見て右側にあるリアフットを伸ばしたときに、本機底面の突起部が床にあたる場合は、左側のリアフットを8 mm以上伸ばしてください。
- プロジェクターの使用が終わったら、リアフットの長さをもとに戻してください。

## 投写画面の大きさの調整（ズーム機能）

**適応機種** NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD

この機種ではズームレバーを使ってズーム調整を行います。

### 1 ズームレバーを左右に動かす。



**適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD

この機種では、リモコンを使ってズームの微調整ができます。

### 1 リモコンの（フォーカス/ズーム）ボタンを押す。

デジタルズーム調整画面が表示されます。



### 2 ◀▶ ボタンを押す。

投写画面の大きさを微調整します。

### 3 調整が終わったら、（決定）ボタンを押す。

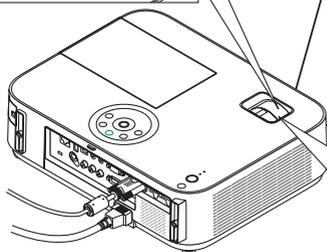
デジタルズーム調整画面が消えます。



## 投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス機能）

### 1 フォーカスリングまたはフォーカスレバーを回す。

適応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJD



適応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/  
NP-M353HSJD

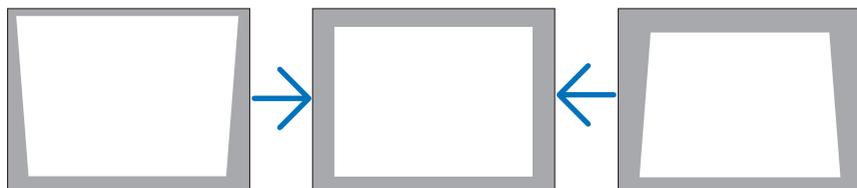
2

映像を投写する（基本操作）

## 2-6. 台形歪みを手動で調整する

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。本機の工場出荷時は、本体の前後方向の傾きを感知し、自動的に台形歪みを補正する設定になっています。(自動台形補正)

ここでは、投写画面の台形歪みを手動で調整する手順を説明します。



### 注意

- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては調整範囲が狭くなる場合があります。
- 自動台形補正は、ズームレバーの位置により、最適な状態に調整されない場合があります。この場合は手動で調整を行ってください。

## 台形歪み調整

適応機種

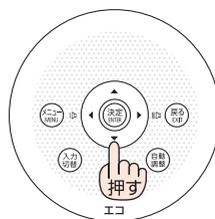
NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJD

NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は、上下方向と左右方向の台形歪みを手動で調整できます。

### ● 本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の  (  ) ボタンを押す。

台形補正調整画面が表示されます。



- 2  /  ボタンを押して、「台形補正 垂直」にカーソルを合わせる。



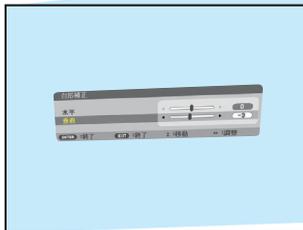
- 3  /  ボタンを押して、上下方向の台形歪みを調整する。

投写画面の左右の辺が垂直になるように調整します。

#### 4 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短い方の辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

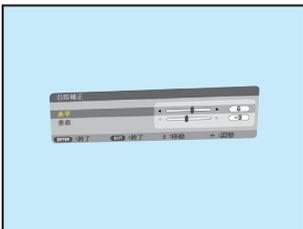
(左辺を合わせる)



#### 5 (▼/▲) ボタンを押して、「台形補正 水平」にカーソルを合わせる。

#### 6 (◀/▶) ボタンを押して、左右方向の台形歪みを調整する。

- ・投写画面の上下の辺が平行になるように調整します。
- ・右の図のように左辺を合わせた場合は、(▶) ボタンを押します。



#### 7 手順2～6を繰り返し、台形歪みを調整する。

#### 8 (決定) ボタンを押す。

台形補正調整画面が消え、台形補正が決定されます。

#### 参考

- ・投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによる台形補正はできません。この場合は、(メニュー) ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。

#### ● リモコンを使って調整する

#### 1 (台形補正) ボタンを押す。

台形補正調整画面が表示されます。



#### 2 (▼/▲) ボタンを押して、「垂直」にカーソルを合わせる。



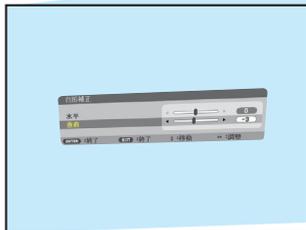
#### 3 (◀/▶) ボタンを押して、上下方向の台形歪みを調整する。

投写画面の左右の辺が垂直になるように調整します。

#### 4 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短い方の辺を合わせます。
- ・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

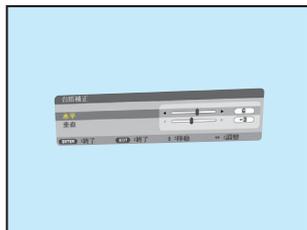
(左辺を合わせる)



#### 5 (▼/▲) ボタンを押して、「水平」にカーソルを合わせる。

#### 6 (◀/▶) ボタンを押して、左右方向の台形歪みを調整する。

- ・投写画面の上下の辺が平行になるように調整します。
- ・右の図のように左辺を合わせた場合は、(▶) ボタンを押します。



#### 7 手順2～6を繰り返し、台形歪みを調整する。

#### 8 (決定) ボタンを押す。

台形補正調整画面が消え、台形補正が決定されます。

## 台形歪み調整

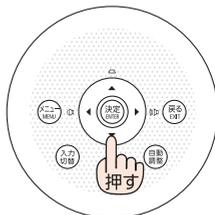
適応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は、上下方向の台形歪みを手動で調整できます。

### ●本体の操作ボタンで調整する

#### 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の(▼/▲) ボタンを押す。

台形補正調整バーが表示されます。



#### 2 (▼/▲) ボタンを押して、台形歪みを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。



#### 3 (決定) ボタンを押す。

台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

**参考**

- 投写画面にオンスクリーンメニューが表示されている場合は本体の操作ボタンによる台形補正はできません。この場合は、(メニュー)ボタンを押してオンスクリーンメニューを閉じてから操作を行います。

## ● リモコンを使って調整する

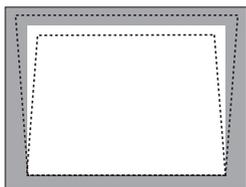
### 1 (台形補正) ボタンを押す。

台形補正調整バーが表示されます。



### 2 (◀/▶) ボタンを押して、台形歪みを調整する。

投写画面の左右が垂直になるように調整します。



### 3 (決定) ボタンを押す。

台形補正調整バーが消え、台形補正が決定されます。

**参考**

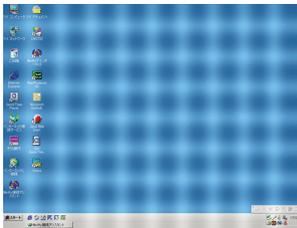
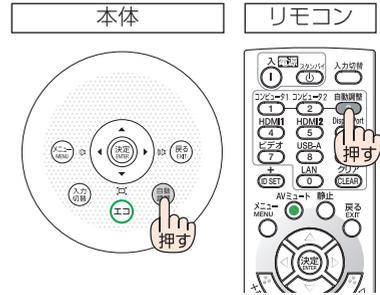
- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→台形補正からも行えます。なお、手動で調整した値は、台形補正保存で保存しておくことができます。[\(124 ページ\)](#)

## 2-7. コンピュータの映像を自動調整する

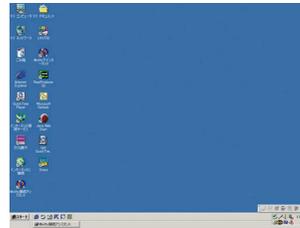
コンピュータの信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

### 1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

### 参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 118, 119 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、192 ページを参照してください。

## 2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

### 本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(◀/▶) ボタンを押す。

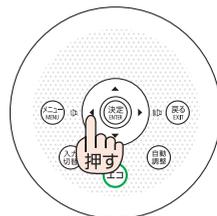
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

**注意**

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、(部分拡大+) ボタンで画面を拡大しているとき、およびビューワ表示中は、(◀/▶) ボタンを使った音量調整はできません。



### リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの (音量 +/-) ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



**参考**

- ビープ音の音量は調整できません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション (1) のビープ音を「オフ」にしてください。  
(▶ 132 ページ)

2

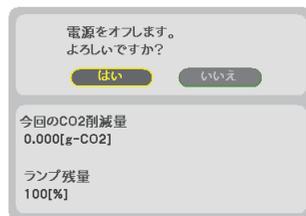
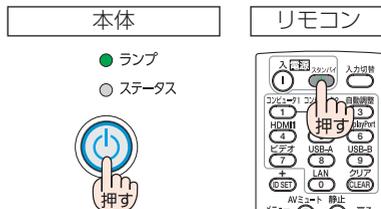
映像を投写する (基本操作)

## 2-9. 本機の電源を切る

### 1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回の CO<sub>2</sub> 削減量 (54 ページ) と、ランプ残量を表示します。
- リモコンで操作する場合は、電源 (スタンバイ) ボタンを押します。



### 2 決定ボタンを押す。

ランプが消灯し、冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータが赤色で点灯します。また、ステータスインジケータが約 10 秒間緑点灯したあとに消灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- 決定ボタンの代わりに、電源ボタンまたは電源 (スタンバイ) ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、左右ボタンで「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。



**注意**

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

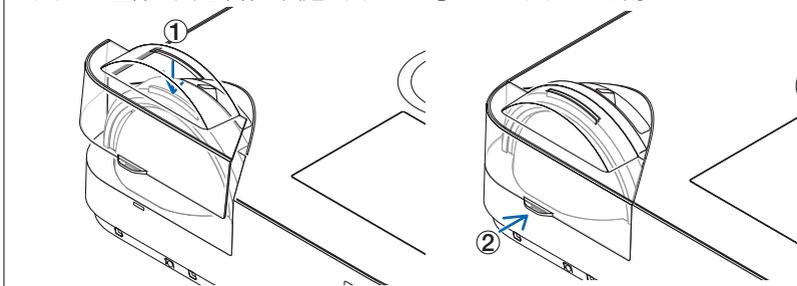


- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

## 2-10. あとかたづけ

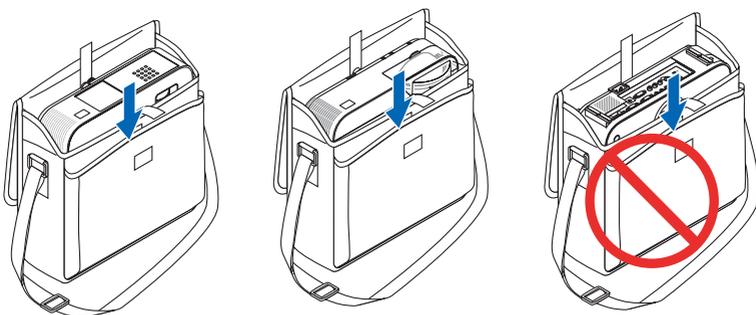
- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
  - ・ 本機に USB メモリを挿している場合は取り外してください。
- 3 チルトフットおよびリアフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
  - ・ レンズ面には手を触れないでください。
- 4 レンズカバーを左へスライドさせて閉じる。

NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD の機種は、図のように、①レンズキャップ上部の穴を本体の突起に入れて、②レンズキャップを閉めます。



- 5 本機および添付品をソフトケースに収納する。

本機をソフトケースに収納するときは、次の図のようにレンズカバーまたはレンズキャップのある面が上を向くように収納してください。



**注意**

- ・ 本機をソフトケースに収納するときは、チルトフットおよびリアフットを縮めてください。故障の原因となります。

**注意**

本機の電源を切ったあとすぐに収納すると、本体がしばらく高温になります。取り扱いに注意してください。

2

映像を投写する (基本操作)

# 3. 便利な機能

## 3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

### 1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

また、AVミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



### 注意

- ビープ音は (AVミュート) ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)のビープ音を「オフ」にしてください。(▶ 132 ページ)
- 節電機能が働いた直後に (AVミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

### 参考

- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

## 3-2. 動画を静止画にする (静止)

### 1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVD プレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



### 注意

- Image Express Utility Lite を使用している場合 (▶ 81 ページ)、静止画表示中は音声が一時的に消えます。

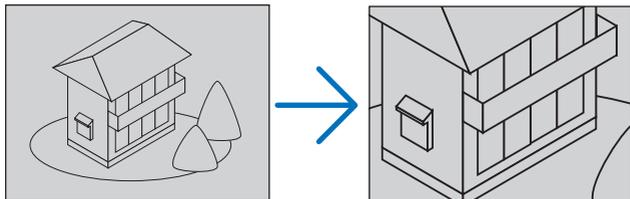
### 参考

- (静止) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

## 3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

### 1 リモコンの (部分拡大+) ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。  
・最大 4 倍まで拡大できます。



### 2 (▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

### 3 (部分拡大-) ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

・ もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。



**注意**

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。



**参考**

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

## 3-4. エコモードと省エネ効果

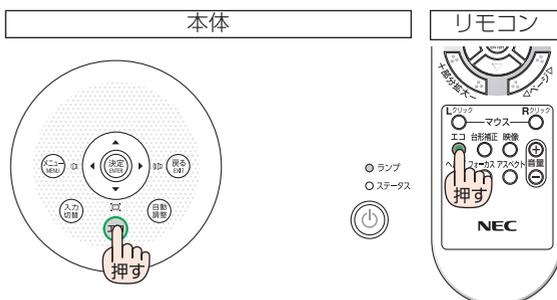
エコモードを設定すると、本機の CO<sub>2</sub> 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減したり、ランプ交換時間（目安）\*を延ばしたりします。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	ランプの輝度	ランプインジケータの状態	エコインジケータの状態
オフ (表示なし)	ランプの輝度（明るさ）が 100% になります。 明るい画面になります。	消灯 ○ ランプ ○ ステータス 	消灯
オートエコ (🌿)	映像の明るさを判定して、ランプの輝度を自動で「オフ」から「エコ2」の範囲で制御します。	点灯 ★ ランプ ○ ステータス 	点灯
エコ1 (🌿)	ランプの輝度（明るさ）が次のようになります。 ・ NP-M403WJD/NP-M403XJD/ NP-M353WSJD/NP-M403HJD/ NP-M353HSJD ……………約 81% ・ NP-M363WJD/NP-M303WSJD ……約 76% ランプ電力を下げることにより、ランプ交換時間（目安）*が延びます。		
エコ2 (🌿)	ランプ輝度（明るさ）が約 60% になります。 ランプの状態に最適なランプ電力コントロールを行い、ランプ交換時間（目安）*がさらに延びます。 最大でエコ1相当の電力になります。		

エコ1 / エコ2 を選択するとランプ交換時間（目安）\*が延びます。  
ランプの輝度（明るさ）が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。  
オートエコ、エコ1、エコ2 を選択したときのオプション設定ができます。 (▶ 124, 125 ページ)  
※：保証時間ではありません。

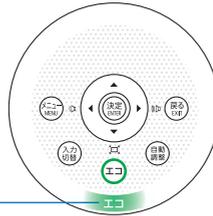
### エコモードに切り替える

- 1** **エコ** ボタンを 1 回押す。  
エコモード選択画面が表示されます。



## 2 さらに(エコ)ボタンを押して選択する。

(エコ)ボタンを押すごとに オートエコ→エコ1→エコ2→オフに切り替わり、エコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。



エコインジケータ

### 注意

- エコモードを切り替えたときに画面がちらつくことがあります。故障ではありません。
- 本機をエコモードの「オートエコ」、「エコ1」または「エコ2」で使用しているとき、映像によっては階調が正常に表示されないことがあります。
- オートエコを設定すると、映像によっては明るい階調が見えにくくなる場合があります。

エコモードとダイナミックコントラストは、ランプ電力を変動させるコントロールを行います。映像によっては、ランプ電力コントロール時に明るさの変化が目立つことがあります。気になる場合は、エコモードとダイナミックコントラストの両方を「オフ」に設定してください。

### 参考

- オンスクリーンメニューのセットアップ→全般→エコセッティング→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(▶ 127 ページ)
- ランプ残量／ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶ 141 ページ)
- 電源を入れた直後の約 90 秒間は、常にエコ1モードになります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態（無信号ガイダンス、ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき）のまま約 1 分経過すると、自動的にエコモードに切り替わりランプインジケータが緑点灯します。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。
- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度（明るさ）を下げる場合があります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。

室温を下げたり、ファンモード (▶ 131 ページ) を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。

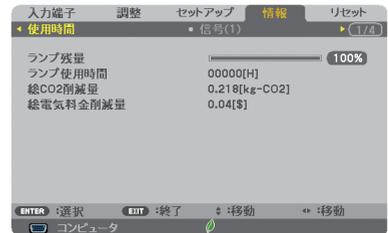
強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

## 省エネ効果を見る（カーボンメータ）

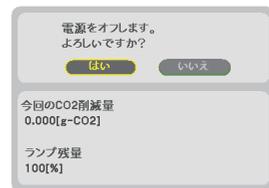
本機のエコモードを設定している期間の省エネ効果を CO<sub>2</sub> 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総 CO<sub>2</sub> 削減量」と「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」があります。

「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO<sub>2</sub> 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。(141 ページ)



「今回の CO<sub>2</sub> 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO<sub>2</sub> 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



### 参考

- CO<sub>2</sub> 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO<sub>2</sub> 排出係数を掛けて算出\*します。  
エコモードを設定して使用したり AV ミュートをを使用すると、CO<sub>2</sub> 排出削減量の値は増加します。  
\* CO<sub>2</sub> 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO<sub>2</sub> 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

## 3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

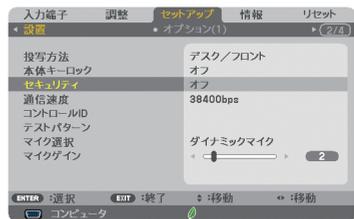
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

**注意**

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

### セキュリティを有効にする

- 1** **〔メニュー〕** ボタンを押す。  
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**〔決定〕** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**〔決定〕** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▼** ボタンで「オン」を選択し、**〔決定〕** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **◀▶▶** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**〔決定〕** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



3

便利な機能

**重要**

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



## 7 6で設定したセキュリティキーワードを再入力し、(決定)ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



## 8 ◀ ボタンで「はい」を選択し、(決定)ボタンを押す。

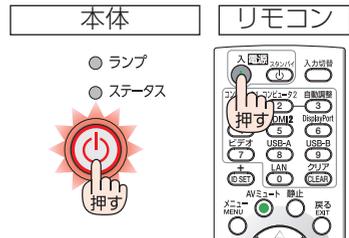
セキュリティが有効になります。

## セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

### 1 電源ボタンを押す。

- ・リモコンで操作する場合は、電源(入)ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



### 2 (メニュー)ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



### 3 セキュリティキーワードを入力し、(決定)ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

**注意**

- セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

## セキュリティを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。  
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。  
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。  
入力したセキュリティキーワードは「\*」で表示されます。  
セキュリティが無効になります。



3

便利な機能

参考

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[▶ 裏表紙](#)）にご連絡ください。

## 3-6. コンピュータケーブルを使って本機を操作する (Virtual Remote Tool)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面 (リモコンウインドウまたはツールバー) を表示し、コンピュータケーブルを介して通信を行い、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

コンピュータケーブルの他に、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) やシリアル接続でも操作できます。シリアル接続時には、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

### ●主な制御機能

- ・電源の入/切
  - ・入力信号切替
  - ・映像・音声のミュート
  - ・投写中の動画を静止する
  - ・プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作



ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。

([63 ページ](#))

ステップ① : Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする ([次ページ](#))

ステップ② : プロジェクターとコンピュータを接続する ([61 ページ](#))

ステップ③ : Virtual Remote Tool を起動する ([62 ページ](#))

### 注意

- 入力端子で「コンピュータ」を選択しているときは、コンピュータの画面とともに Virtual Remote 画面も表示されます。
- Virtual Remote Tool を使用するときは、添付のコンピュータケーブルを使って、コンピュータ映像入力端子とコンピュータの映像出力端子を直接接続してください。市販のコンピュータケーブルを使用したりスイッチャなどの機器を介すると、通信が正常に行えないことがあります。
- 接続するコンピュータの仕様、およびグラフィックアダプタやドライバのバージョンによっては動作しない場合があります。
- Windows 8 において Virtual Remote Tool を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。
- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ (画像) には以下の条件があります。
  - \* ファイルサイズ : 768 キロバイト以下

[次ページに続く](#)

\*画像サイズ：

NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD

…水平 1280 ドット, 垂直 800 ドット 以内

NP-M403XJD …水平 1024 ドット, 垂直 768 ドット 以内

NP-M403HJD/NP-M353HSJD …水平 1920 ドット, 垂直 1080 ドット 以内

- ログ画像の送信は、シリアル接続のときに行えます。LAN またはコンピュータケーブル接続時にはできません。
- バックグラウンドロゴを工場出荷時の画面 (NEC ロゴ) に戻すには、添付の NEC Projector CD-ROM に収録している画像ファイルを使用して、もう一度バックグラウンドロゴの登録をしておいてください。

このとき、ご使用の機種に合わせて下記のロゴを選択してください。

NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD :

NEC\_logo2011\_1280x800.bmp

NP-M403XJD : NEC\_logo2011\_XGA.bmp

NP-M403HJD/NP-M353HSJD : NEC\_logo2012\_1920x1080.bmp

参考

- 本機のコンピュータ映像入力端子は、プロジェクターやディスプレイとコンピュータ間で各種設定に関する情報を通信する際に用いられる国際規格「DDC/CI」に対応しています。
- Virtual Remote Tool は、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) およびシリアル接続での制御も可能です。ただし、USB 接続には対応していません。

## ステップ①：Virtual Remote Tool をコンピュータにインストールする

注意

- ソフトウェアのインストール / アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 \*1 (例 : 「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例 : Q:¥LAUNCHER.EXE)

\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

次ページに続く

3

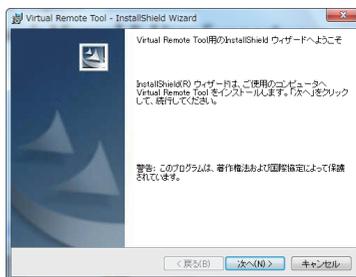
便利な機能

- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

## 2 メニューウィンドウの [Virtual Remote Tool をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



- 3 「次へ (N)>」 をクリックする。  
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。  
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください

## 4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」 をクリックし、「次へ (N)>」 をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。



**注意** ● インストール先のフォルダを選択する画面で「デスクトップにショートカットを作成する (D)」 をクリックしてチェックマークを外した場合、ショートカットは表示されません。

## 参考 ● Virtual Remote Tool のアンインストール方法

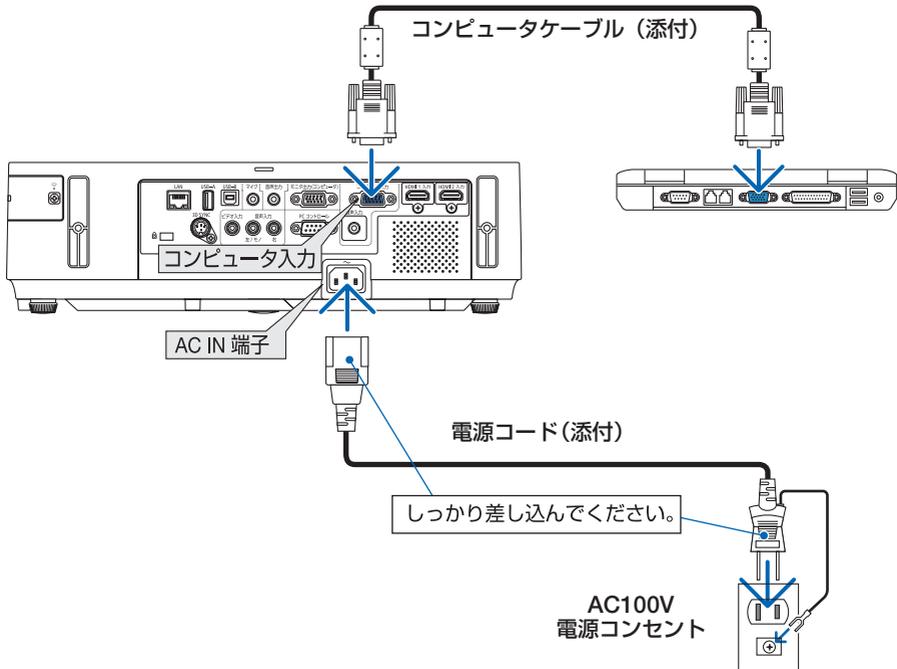
準備：アンインストールの前に、Virtual Remote Tool を終了してください。  
アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。  
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」 の下の「プログラムのアンインストール」 をクリックする。  
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールしたいプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」 または「アンインストール」 をクリックする。
  - ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」 ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

## ステップ②：プロジェクターとコンピュータを接続する

- 1 プロジェクターのコンピュータ映像入力端子とコンピュータのディスプレイ出力端子を添付のコンピュータケーブルで接続する。
- 2 プロジェクターの AC IN 端子と AC100V のコンセントを添付の電源コードで接続する。  
プロジェクターがスタンバイ状態になります。



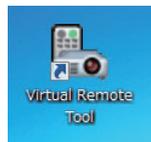
### 参考

- Virtual Remote Tool を最初に起動すると、かんたんセットアップ画面で機器の接続をガイドします。
- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。(188 ページ)

## ステップ③：Virtual Remote Tool を起動する

### ◆ ショートカットアイコンから起動する

Windows のデスクトップ上のショートカットアイコン  をダブルクリックする。



### ◆ スタートメニューから起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Virtual Remote Tool」→「Virtual Remote Tool」の順にクリックする。

### 起動すると……

最初に起動したときは、かんたんセットアップ画面が表示されます。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



かんたんセットアップを終了すると、Virtual Remote 画面が表示されます。



### 注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、コンピュータケーブルおよびネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

### 参考

- .....  
かんたんセットアップ画面を表示せずに Virtual Remote 画面を表示することができません。  
かんたんセットアップ「ステップ6」画面の「□次回からかんたんセットアップを使用しない。」をクリックし、チェックマークを付けてください。

次ページに続く

## ● Virtual Remote Tool の終了方法

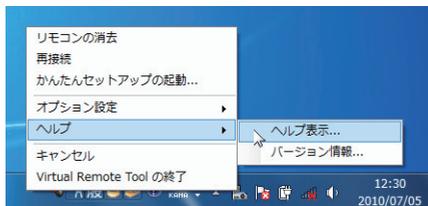
- 1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。  
Virtual Remote Tool が終了します。



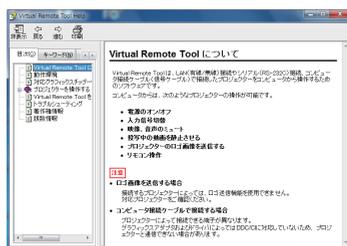
## ● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

### ◆タスクトレイから表示する

- 1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。  
ポップアップメニューが表示されます。



- 2 「ヘルプ」 → 「ヘルプ表示」をクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



### ◆スタートメニューから表示する

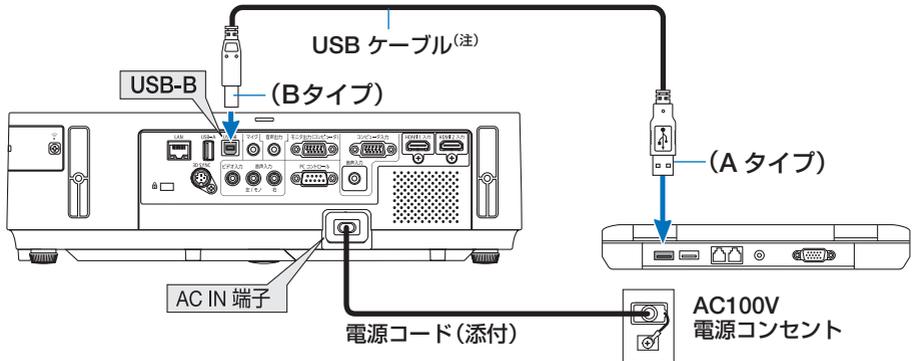
- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」または「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「Virtual Remote Tool」 → 「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



## 3-7. USBケーブルを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う(リモートマウス)

USB ケーブル(注) を使ってコンピュータと本機を接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

- 入力端子でコンピュータを選択してコンピュータの画面を表示しているときに働きます。ただし、静止や部分拡大をしているときは働きません。
- USB ケーブルを使ってコンピュータと本機を接続すると、USB ディスプレイも起動します。  
(▶ 65 ページ)



(注) NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。

### 注意

- リモートマウスは、次の OS において使用できます。  
Windows 8/Windows 7/Windows Vista
- コンピュータの USB ポートから USB ケーブルのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータが USB ケーブルを正しく認識できないことがあります。
- USB ケーブルを接続する際は、コンピュータを起動している状態で行ってください。コンピュータと本機を USB ケーブルで接続したあとコンピュータを起動すると、コンピュータが起動しないことがあります。

## リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・ (ページ ▽/△) ボタン..... 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- ・ (▼▲◀▶) ボタン ..... マウスポインタを移動します。
- ・ (マウス L クリック) ボタン、(決定) ボタン.... マウスの左クリックの働きをします。
- ・ (マウス R クリック) ボタン..... マウスの右クリックの働きをします。

### 参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。

## 3-8. USB ケーブルを経由して画像を投写する (USB ディスプレイ)

USB ケーブル<sup>(注)</sup>を使ってコンピュータとプロジェクターを接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。

また、コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入/切や信号切替などの操作を行うことができます。

(注) NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、  
NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。

### 注意

- USB ディスプレイは、NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite の機能を利用しています。(▶81 ページ)
- お使いのコンピュータに Image Express Utility Lite がインストールされていない場合は、プロジェクター本体に内蔵している Image Express Utility Lite を自動的に起動します。その場合、Image Express Utility Lite はコンピュータにインストールされません。
- お使いのコンピュータに Image Express Utility Lite がインストールされている場合は、コンピュータ内の Image Express Utility Lite が起動します。コンピュータ内の Image Express Utility Lite のバージョンが古い場合、一部の機能が動作しないことがあります。このときは、コンピュータから Image Express Utility Lite をアンインストールしてください。プロジェクター本体に内蔵している Image Express Utility Lite を自動的に起動し、すべての機能が動作するようになります。
- オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)→音声選択→USB-B を「USB-B」に設定すると USB-B 入力 (USB ディスプレイ) の音声スピーカーから出力されます。

**1** コンピュータを起動する。

**2** プロジェクターの電源コードをコンセントに接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。

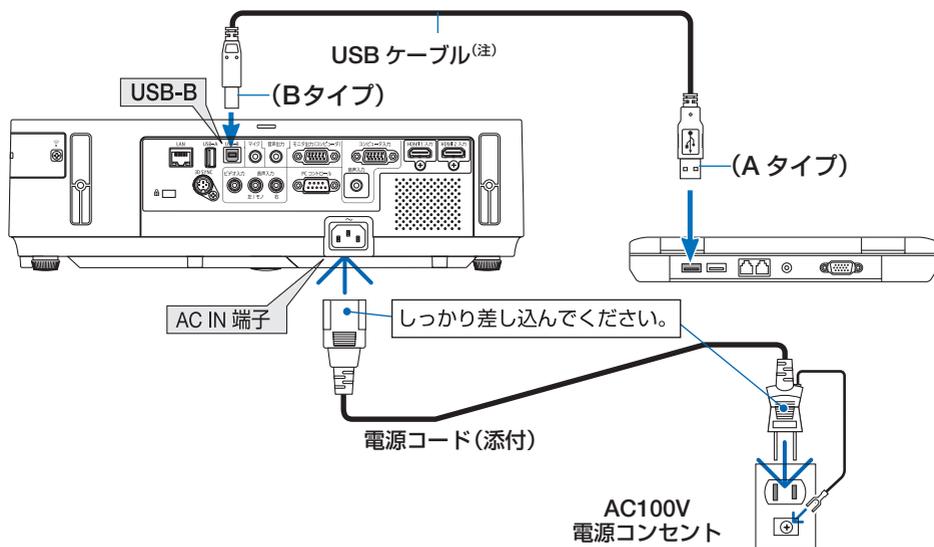
- ・プロジェクターのレンズカバーを開いてください。またはレンズキャップを外してください。

次ページに続く

### 3 コンピュータとプロジェクターを USB ケーブルで接続する。

コンピュータの画面に「プロジェクターがスタンバイです。接続しますか?」と表示されます。

- 画面の上部に Image Express Utility Lite のコントロールウィンドウが表示されます。



(注) NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、  
NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。

#### 注意

- プロジェクターがスタンバイ状態のときに USB ケーブルを接続する場合は、プロジェクターのスタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、USB ディスプレイは起動しません。その場合はプロジェクターのスタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に切り替えてください。
- コンピュータ本体の設定によっては、プロジェクターとの接続を検出した際に、「自動再生」ウィンドウを表示する場合があります。「自動再生」ウィンドウが表示されたときは「Start USB Display」をクリックしてください。



### 4 「はい (Y)」 をクリックする。

プロジェクターの電源が入り、画面に「プロジェクターを準備中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

しばらくすると、このウィンドウは自動的に消えます。

## 5 コントロールウィンドウを操作する。



名称	説明
①  (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
②  (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画) 表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、88 ページをご覧ください。
③  (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
④  (その他)	更新、HTTP サーバ <sup>(注)</sup> 、設定、情報が行えます。 <sup>(注)</sup> HTTP サーバは、USB ケーブル接続時は選択できません。
⑤  (投写)	投写画面の表示パターン切り替え、各端末から伝送する画面の非表示/表示、割り込み禁止/許可、終了が行えます。 <b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● USB ケーブル接続時は、投写画面の表示パターン切り替え、各端末から伝送する画面の非表示/表示、割り込み禁止/許可は選択できません。</li> </ul>
⑥  (ヘルプ)	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。

**注意**

- USB ディスプレイのコントロールウィンドウで (ヘルプ) をクリックしたとき、英語のヘルプが表示されることがあります。日本語のヘルプを表示するには、NEC Projector CD-ROM から Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールしてください。

## 3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

### 概要

HTTP サーバ機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。  
無線 LAN を利用する場合は、あらかじめ別売の無線 LAN ユニットをお買い求めのうえ、本機に装着してください。（🔗 155 ページ）  
有線 LAN / 無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピュータを市販の LAN ケーブルで接続してください。（🔗 153 ページ）
- (2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。  
本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。  
本機の電源のオン/オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。
- (5) Image Express Utility Lite をダウンロードしてリムーバブルメディアへ保存できます。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピュータでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http:// <本機の IP アドレス> /index.html` と指定する。
- 添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite を使用する。

### 参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

### 注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

## 使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(▶ 153 ページ)

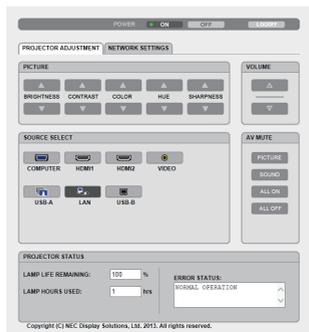
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

## ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合  
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ  
`http://192.168.73.1/index.html` と指定します。

## プロジェクター調整

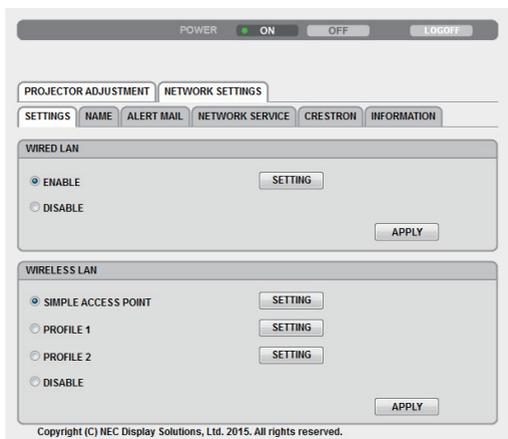


次ページに続く

<b>POWER</b>	<b>本機の電源をオン/オフします。</b> ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
<b>VOLUME</b>	<b>本機の音量をコントロールします。</b> ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
<b>AV-MUTE</b>	<b>本機の MUTE をコントロールします。</b> PICTURE  映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND  音声をミュート（一時的に消去）します。 SOUND  音声ミュートを解除します。 ALL ON 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
<b>PICTURE</b>	<b>本機の映像調整をコントロールします。</b> BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。 COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。 HUE ▲ 色相の調整値をアップします。 HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。 ※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「コントラスト/明るさ/シャープネス/カラー/色相」(  117 ページ) をご覧ください。
<b>SOURCE SELECT</b>	<b>本機の入力端子を切り替えます。</b> COMPUTER コンピュータ映像入力に切り替えます。 HDMI1 HDMI 1 映像入力に切り替えます。 HDMI2 HDMI 2 映像入力に切り替えます。 VIDEO ビデオ映像入力に切り替えます。 USB-A 本機にセットした USB メモリのデータ表示に切り替えます。 LAN ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。 USB-B USB ディスプレイから送られてくるデータ表示に切り替えます。
<b>PROJECTOR STATUS</b>	<b>本機の状態を表示します。</b> LAMP LIFE REMAINING ランプの残り使用時間を%表示します。 LAMP HOURS USED ランプの使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。
<b>LOG OFF</b>	<b>ログオフして認証画面（ログオン画面）に戻ります。</b>

# ネットワーク設定

http:// <本機の IP アドレス> /index.html



## ● SETTINGS

### WIRED または WIRELESS

SETTING	有線 LAN または無線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN または無線 LAN に接続します。
DHCP ON	DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

### WIRED のみ設定が必要

ENABLE	有線 LAN を有効にします。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。

3

便利な機能

## WIRELESS（無線 LAN ユニット使用時）のみ設定が必要

SIMPLE ACCESS POINT	本機を簡易アクセスポイントに設定します。								
MODE	国によって使用できる周波数帯域が異なります。 INFRASTRUCTURE のときは、無線 LAN アクセスポイントと同じ周波数帯域に設定してください。								
CHANNEL	国によって使用できるチャンネルが異なります。 INFRASTRUCTURE のときは、無線 LAN アクセスポイントに合わせて自動で動作します。								
PROFILE 1/PROFILE 2	無線 LAN ユニットを使用する場合、2 とおりの設定を本機のメモリに記憶することができます。								
SSID	無線 LAN の識別名 (SSID) を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。								
SITE SURVEY	その場所で接続可能な無線 LAN の SSID をリスト表示し、リストの中から接続する SSID を選択します。								
SECURITY TYPE	<p>無線 LAN でセキュリティを設定するかしないかを選択します。セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。</p> <p>お使いのコンピュータや無線 LAN 機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>DISABLE</td> <td>暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。</td> </tr> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。</td> </tr> <tr> <td>WPA PSK-TKIP/ WPA PSK-AES/ WPA2 PSK-TKIP/ WPA2 PSK-AES</td> <td>これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。</td> </tr> </table> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器（コンピュータや無線 LAN アクセスポイント）と同じ設定にしてください。</li> <li>● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。</li> </ul>	DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。	WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。	WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。	WPA PSK-TKIP/ WPA PSK-AES/ WPA2 PSK-TKIP/ WPA2 PSK-AES	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。
DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。								
WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。								
WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。								
WPA PSK-TKIP/ WPA PSK-AES/ WPA2 PSK-TKIP/ WPA2 PSK-AES	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。								
INDEX	「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき、どの WEP キーを使うかを選択します。 「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したときは、WEP キーは「1」に固定です。								

KEY	「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき								
	WEP キーを入力します。 ● 最大入力文字数								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16 進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>5 文字</td> <td>10 文字</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>13 文字</td> <td>26 文字</td> </tr> </tbody> </table>	選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)	WEP 64bit	5 文字	10 文字	WEP 128bit	13 文字
選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)							
WEP 64bit	5 文字	10 文字							
WEP 128bit	13 文字	26 文字							
	「SECURITY TYPE」で「WPA PSK-TKIP」、 「WPA PSK-AES」、 「WPA2 PSK-TKIP」または「WPA2 PSK-AES」を選択したとき 暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。								

## ● NAME

PROJECTOR NAME	<p>本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピュータ側でプロジェクターを識別するのに使います。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。</p> <p> ● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。</p>
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

## ● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</p> <p><b>【本機から送信される Eメールの例】</b></p> <table border="1"> <tr> <td> The lamp is at the end of its usable life. Please replace the lamp.  Projector Name: NEC Projector  Lamp Hours Used: 100 [H] </td> </tr> </table>	The lamp is at the end of its usable life. Please replace the lamp. Projector Name: NEC Projector Lamp Hours Used: 100 [H]
The lamp is at the end of its usable life. Please replace the lamp. Projector Name: NEC Projector Lamp Hours Used: 100 [H]		
SENDER'S ADDRESS	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	
SMTP SERVER NAME	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。	
RECIPIENT'S ADDRESS 1	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	
RECIPIENT'S ADDRESS 2		
RECIPIENT'S ADDRESS 3		

TEST MAIL	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。</li> <li>● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。</li> </ul>
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。

## ● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。
AMX BEACON	本機を AMX 社の NetLinX コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。
Image Express Utility Lite	[DOWNLOAD] ボタンをクリックするとダウンロードページを表示します。 Image Express Utility Lite をダウンロードして、リムーバブルメディアに保存できます。(  )
SAVE	設定情報を本機のメモリへ記憶します。

## ● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

## ● INFORMATION

WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
WIRELESS LAN	無線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

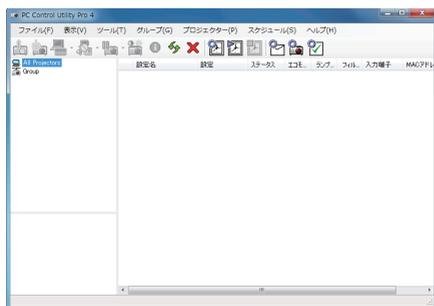


- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（[📄 裏表紙](#)）にご連絡ください。
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。（英語のみ）<http://www.crestron.com>

## 3-10. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4/Pro 5)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト PC Control Utility Pro 4、PC Control Utility Pro 5 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。

PC Control Utility Pro 4 は、Windows 用のソフトウェアです。([次ページ](#))  
PC Control Utility Pro 5 は、Mac OS 用のソフトウェアです。([79 ページ](#))



PC Control Utility Pro 4 画面

### ● 主な制御機能

電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4/Pro 5 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4/Pro 5 の詳しい操作については、各々のソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- ステップ①：ソフトウェアをコンピュータにインストールする
- ステップ②：本機を LAN に接続する
- ステップ③：ソフトウェアを起動する

### 注意

- Windows 8.1、Windows 8 において PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

### 参考

- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

## Windows で使用する場合

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 4 をコンピュータにインストールする

#### 注意

- ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



#### 参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。  
(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 \*1 (例：「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例：Q:¥LAUNCHER.EXE)  
\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

### 2 メニューウィンドウの [PC Control Utility Pro 4 をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

インストールの準備が終了すると、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



### 3 「次へ(N)>」をクリックする。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。  
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読みください。

#### 4 同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します (A)」をクリックし、「次へ (N)>」をクリックする。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。
- インストールが完了すると、メニューウィンドウに戻ります。



#### 参考

##### ● PC Control Utility Pro 4 のアンインストール方法

PC Control Utility Pro 4 をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「PC Control Utility Pro 4」と読み替えてください。(🔗60 ページ)

### ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」(🔗153 ページ)、「6-6. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗154 ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(🔗68 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

### ●ステップ③：PC Control Utility Pro 4 を起動する

- 1 Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。

#### 注意

- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。  
【例】Windows 7 の場合：  
[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [電源オプション] → [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更] の [コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定します。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

#### 参考

##### ● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法

- ◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する

- 1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」→「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

次ページに続く

◆スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 または 「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「PC Control Utility Pro 4」 → 「PC Control Utility Pro 4 Help」 の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。



## Mac OS で使用する場合

### ●ステップ①：PC Control Utility Pro 5 をコンピュータにインストールする

#### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

#### 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

#### 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

#### 4 「PC Control Utility Pro 5.pkg」をダブルクリックする。

インストーラがスタートします。

#### 5 [続ける] をクリックする。

使用許諾契約が表示されます。

#### 6 記載内容を確認し、[続ける] をクリックする。

確認ウィンドウが表示されます。

#### 7 [同意する] をクリックする。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



#### ● PC Control Utility Pro 5 のアンインストール方法

- 1 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをゴミ箱に入れる。

- 2 PC Control Utility Pro 5 の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる。

設定ファイルは「/Users (ユーザ)/ あなたのユーザ名 /Application Data/NEC Projector User Supportware/PC Control Utility Pro 5」にあります。



### ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」([153 ページ](#))、「6-6. 無線 LAN と接続する (別売)」([154 ページ](#))、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」([68 ページ](#)) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：PC Control Utility Pro 5 を起動する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
- 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
- 3 「PC Control Utility Pro 5」アイコンをクリックする。  
PC Control Utility Pro 5 が起動します。

### 注意

- PC Control Utility Pro 5 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。  
あらかじめシステム環境設定の『省エネルギー環境設定』を確認して、コンピュータのスリープ設定を解除してください。
- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を ON する操作ができません。

### 参考

- PC Control Utility Pro 5 のヘルプ表示方法
- ◆ PC Control Utility Pro 5 の起動中に表示する
  - 1 メニューバーの「ヘルプ」→「ヘルプ」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。
- ◆ Dock から表示する
  - 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
  - 2 「PC Control Utility Pro 5」フォルダをクリックする。
  - 3 「PC Control Utility Pro 5 Help」アイコンをクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## 3-11. LAN を経由して画像を投写する (Image Express Utility Lite)

添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーティリティソフト Image Express Utility Lite を使用すると、コンピュータから USB ケーブルやネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。

**Image Express Utility Lite は、Windows 用のソフトウェアです。** (🔗 [次ページ](#))

**Image Express Utility Lite for Mac OS は、Mac OS 用のソフトウェアです。**

(🔗 [86 ページ](#))

ここでは、本機を LAN に接続して、Image Express Utility Lite を使用するまでの流れを説明します。Image Express Utility Lite の詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

ステップ①：Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

ステップ②：本機を LAN に接続する

ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する



- Image Express Utility Lite (Windows 用) は、コンピュータにインストールしなくても、市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアから起動して使用することができます。 (🔗 [85 ページ](#))

### Image Express Utility Lite (および for Mac OS) で できること

#### ● 画像伝送 (Windows 用 / Mac OS 用)

- ・コンピュータケーブルを接続する代わりに、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) を使ってコンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。

#### ● 音声伝送 (Windows 用のみ)

- ・コンピュータの画面に加えて、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) または USB ケーブルを使って、コンピュータの音声をプロジェクターへ伝送して出力することができます。
- ・コンピュータの画面がプロジェクターで全画面表示されている場合にその音声が出力されます。

#### ● USB ディスプレイ (Windows 用のみ)

- ・コンピュータケーブルを接続する代わりに、USB ケーブルを接続して、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- ・USB ディスプレイは、Image Express Utility Lite をインストールしていなくても、コンピュータ (Windows) とプロジェクターを USB ケーブルで接続するだけで動きます (プラグアンドプレイ)。 (🔗 [65 ページ](#))

## ●幾何学補正 (Geometric Correction Tool) (Windows 用のみ)

- ・「3-12. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)」をご覧ください。(🔗 88 ページ)

## Windows で使用する場合

### ●ステップ① : Image Express Utility Lite をコンピュータにインストールする

#### 注意

- ソフトウェアのインストール/アンインストールは、「管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Image Express Utility Lite は、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量 (約 100 メガバイト程度) を確保してから、インストールしてください。

### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

メニューウィンドウが表示されます。



#### 参考

メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名 \*1 (例 : 「Q:¥」) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例 : Q:¥LAUNCHER.EXE)  
\*1 CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。  
メニューウィンドウが表示されます。

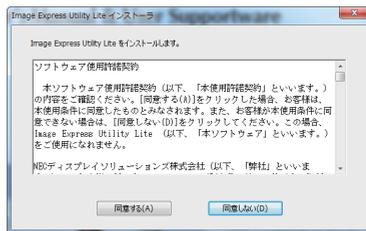
### 2 メニューウィンドウの [Image Express Utility Lite をインストールする] をクリックする。

インストールの準備が始まります。

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。  
「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよくお読み  
ください

### 3 同意する場合は「同意する (A)」をクリックする。

インストールが完了すると完了メッセージが表示  
されます。



### 4 [OK] をクリックする。

インストールが終了しました。



#### 参考

#### ● Image Express Utility Lite のアンインストール方法

Image Express Utility Lite をアンインストールする操作は、「Virtual Remote Tool」のアンインストール方法と同じです。ソフト名を「Image Express Utility Lite」と読み替えてください。(60 ページ)

## ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」(153 ページ)、「6-6. 無線 LAN と接続する (別売)」(154 ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(68 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：Image Express Utility Lite を起動する

### 1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility Lite] → [Image Express Utility Lite] の順にクリックする。

Image Express Utility Lite が起動します。  
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されま  
す。

### 2 使用するネットワークを選択し、[OK] をクリックする。



### 3 接続するプロジェクターにチェックマークを付け、[接続(C)] をクリックする。

- 複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターのオンスクリーンメニューの [情報] → [無線 LAN] 画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。



プロジェクターと接続すると、コントロールウィンドウを操作してコンピュータをコントロールできるようになります。

コントロールウィンドウについては [67 ページ](#) をご覧ください。

#### 注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「ノーマル」に設定して、電源をオフにしている状態のプロジェクターは、接続先選択に表示されません。

#### 参考

- **Image Express Utility Lite のヘルプ表示方法**
  - ◆ Image Express Utility Lite の起動中に表示する
    - 1 コントロールウィンドウの **?** (ヘルプ) をクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。
  - ◆ GCT (幾何学補正) の起動中に表示する
    - 1 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする  
ヘルプ画面が表示されます。
  - ◆ スタートメニューから表示する
    - 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Image Express Utility Lite」→「Image Express Utility Lite Help」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## ● USB メモリや SD カードから Image Express Utility Lite を起動する

市販の USB メモリや SD カードなどのリムーバブルメディアに Image Express Utility Lite をコピーしておけば、コンピュータにインストールすることなく、Image Express Utility Lite を起動することができます。

**準備：** 下記 2 つのいずれかの方法で、リムーバブルメディアに Image Express Utility Lite を保存します。

### ● 添付の NEC Projector CD-ROM を使用する

NEC Projector CD-ROM 内の「IEU\_Lite (removable-media)」フォルダ内のすべてのフォルダおよびファイル（ファイルサイズ合計約 7 MB）をリムーバブルメディアのルートディレクトリにコピーします。

### ● HTTP サーバを使用する

HTTP サーバ経由でコンピュータに Image Express Utility Lite をダウンロードして、リムーバブルメディアに保存します。

#### 対応 OS

- ・ Windows 8.1 (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 8.1 Pro (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 8.1 Enterprise (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 8 (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 8 Pro (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 8 Enterprise (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 7 Home Basic (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 7 Home Premium (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 7 Professional (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 7 Ultimate (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows 7 Enterprise (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows Vista Home Basic (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows Vista Home Premium (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows Vista Business (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows Vista Ultimate (32bit 版 /64bit 版)
- ・ Windows Vista Enterprise (32bit 版 /64bit 版)

#### ダウンロード方法

- ① HTTP サーバにアクセスし、NETWORK SETTINGS の NETWORK SERVICE ページを表示して、Image Express Utility Lite の [DOWNLOAD] ボタンをクリックする。 (🔗 74 ページ)  
ダウンロードページを表示します。
- ② IEU\_Lite(removable-media).zip のチェックボックスにチェックマークを付ける。  
幾何学補正の調整値をダウンロードする場合は、gct.ngm のチェックボックスにチェックマークを付けます。
- ③ [DOWNLOAD] ボタンをクリックする。
- ④ コンピュータ内のファイル保存先のフォルダを選択して [SAVE] ボタンをクリックする。  
ダウンロードが開始されます。  
ダウンロードが終了したら、保存先のフォルダにファイルが保存されているか確認してください。
- ⑤ IEU\_Lite(removable-media).zip をリムーバブルメディアに 解凍する。  
幾何学補正の調整値をダウンロードした場合は、IEU\_Lite\_GCT.exe と同じフォルダに入れてください。

## 1 コンピュータにリムーバブルメディアを挿入する。

「自動再生」ウィンドウが表示されます。



- 「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピュータ」からフォルダを開いてください。

## 2 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックする。

IEU\_Lite.exe およびその他のフォルダやファイルが表示されます。

## 3 IEU\_Lite.exe アイコン (📀) をダブルクリックする。

Image Express Utility Lite が起動します。

## Mac OS で使用する場合

### ●ステップ①：Image Express Utility Lite for Mac OS をコンピュータにインストールする

#### 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されます。

#### 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。

CD-ROM のウィンドウが表示されます。

#### 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

#### 4 「Image Express Utility Lite」フォルダ内の「Image Express Utility Lite.dmg」をダブルクリックする。

Image Express Utility Lite ウィンドウが表示されます。

#### 5 このウィンドウ内の「Image Express Utility Lite」フォルダを Mac OS の「アプリケーション」フォルダにドラッグ・アンド・ドロップする。



#### ● Image Express Utility Lite for Mac OS のアンインストール方法

1 「Image Express Utility」フォルダをゴミ箱に入れる。

2 Image Express Utility の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる。

Image Express Utility Lite for Mac OS の環境設定ファイルは、「/ ユーザ / あなたのユーザ名 / ライブラリ / Preferences / jp.necds.Image-Express-Utility-Lite.plist」にあります。。

### ●ステップ②：本機を LAN に接続する

本書の「6-5. 有線 LAN と接続する」(🔗153 ページ)、「6-6. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗154 ページ)、および「3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作」(🔗68 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

## ●ステップ③：Image Express Utility Lite for Mac OS を起動する

- 1 Mac OS の「アプリケーションフォルダ」を開く。
- 2 「Image Express Utility Lite」フォルダをダブルクリックする。
- 3 「Image Express Utility Lite」アイコンをダブルクリックする。  
Image Express Utility Lite for Mac OS が起動すると、接続先選択ウィンドウが表示されます。

- 初回起動時には、接続先選択ウィンドウが表示される前に使用許諾契約ウィンドウが表示されます。  
使用許諾契約書の内容をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し [OK] をクリックしてください。



- 4 接続先選択ウィンドウで、プロジェクターを選択し、[接続] をクリックする。

デスクトップ画面がプロジェクターから投写されます。

### 参考

- Image Express Utility Lite for Mac OS のヘルプ表示方法
  - ◆ Image Express Utility Lite for Mac OS の起動中に表示する
    - 1 メニューバーの「ヘルプ」→「Image Express Utility Lite ヘルプ」の順にクリックする。  
ヘルプ画面が表示されます。

## 3-12. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)

Image Express Utility Lite の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

### 幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の 3 つの機能があります。
  - ・ 4 点補正 …………… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることで、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
  - ・ 多点補正 …………… 4 点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことで、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
  - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4 点補正について説明します。

多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(🔗 84 ページ)

- 幾何学補正の調整値をプロジェクター本体またはコンピュータに保存し、必要に応じて呼び出すことができます。
- 幾何学補正は、USB ケーブル、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN)、映像ケーブルでの接続時に使用できます。

#### 参考

- HTTP サーバ経由で Image Express Utility Lite と幾何学補正の調整値をダウンロードして、リムーバブルメディアから起動することができます。(🔗 85 ページ)  
リムーバブルメディア内の IEU\_Lite\_GCT.exe アイコンをダブルクリックすると、ダウンロードした調整値を使って投写画面を補正します。

### スクリーンに斜め方向から投写する (4 点補正)

ここでは、USB ディスプレイ (コンピュータとプロジェクターを USB ケーブルで接続) の場合で説明します。

- ・ USB ディスプレイ機能を使用すると、コントロールウィンドウが自動で表示されます。
- ・ 映像ケーブルやネットワーク接続の場合は、コンピュータに Image Express Utility Lite をインストールして起動し、コントロールウィンドウを表示してください。(🔗 67 ページ)

**準備** : スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整してください。

- 1  (その他) アイコンをクリックし、  
 (設定) アイコンをクリックする。

環境設定画面が表示されます。



- 2 「複数接続機能を使用する」をクリックし、チェックマークを外す。



- 3 「OK」をクリックする。

- 4  (投写) アイコンをクリックし、  
 (終了) アイコンをクリックする。

- 5 「はい」をクリックする。

- 6 再度、Image Express Utility Lite を起動する。

- 7  (映像) アイコンをクリックし、  
 (GCT) アイコンをクリックする。  
4点補正編集ウィンドウが表示されます。



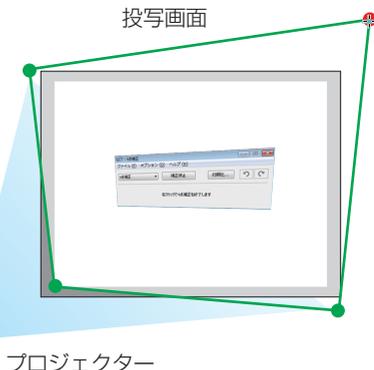
- 8 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする  
投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「」が表示されます。  
・緑色の枠の4つの角には「●」が表示されます。



- 9 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「●」をクリックする。  
・選択されている「●」は赤色になります。

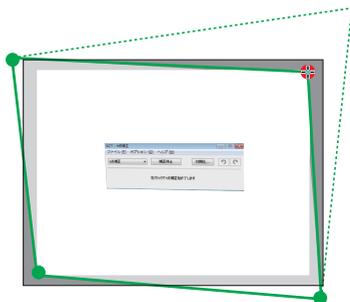


(Windows の画面は省略しています)

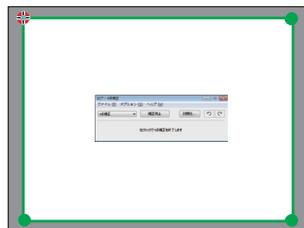


#### 4 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。

- ・投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。



#### 11 9、10 の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。



#### 12 調整が終わったら、マウスを右クリックする。

- 投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

#### 13 4点補正編集ウィンドウの [X] をクリックする。

- 4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

#### 14 コントロールウィンドウの [電源] (終了) をクリックして終了する。

#### 参考

- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
- 4点補正編集ウィンドウの詳細な操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。 (84 ページ)

## 3-13. 3D 映像を投写する

本機は、液晶シャッターメガネを使って、3D 映像を視聴することができます。

### ⚠ 注意

#### ●健康に関するご注意

健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト(DVD、ゲーム、コンピュータの動画ファイルなど)および液晶シャッターメガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。

健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。

- 3D 映像を視聴する以外の目的で、液晶シャッターメガネを使用しないでください。
- スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
- 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
- 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
- 視聴中に身体に異常(吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のしびれなど)を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

3

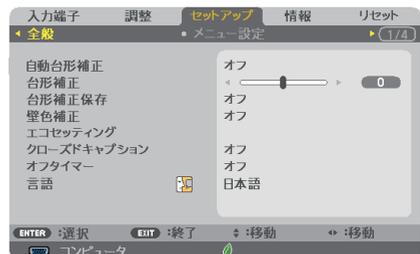
便利な機能

### 液晶シャッターメガネ

DLP® Link 方式やその他の方式に対応した市販の液晶シャッターメガネを使用します。

### 本機で 3D 映像を視聴する手順

- 1 本機と映像機器を接続する。
- 2 本機の電源を入れ、オンスクリーンメニューを表示して、3D モードを「オン」にする。
  - ① (メニュー)ボタンを押す。  
オンスクリーンメニューが表示されます。
  - ② (▶)ボタンを押して「セットアップ」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。  
「全般」にカーソルが移動します。



- ③  ボタンを押して「3D」にカーソルを合わせる。  
3D 画面が表示されます。
- ④  ボタンを押して 3D 映像を投写する信号にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。  
詳細設定画面が表示されます。
- ⑤  ボタンを押して「3D」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D モード設定画面が表示されます。
- ⑥  ボタンを押して「オン」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
選択した信号が 3D モードに変わります。
- ⑦  ボタンを押して「3D メガネ」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D メガネ設定画面が表示されます。
- ⑧  ボタンを押して使用する 3D メガネの方式を選択し、**(決定)** ボタンを押す。  
3D メガネの方式については [136 ページ](#) をご覧ください。  
必要に応じて、その他のメニュー項目（フォーマット、L/R 反転）を設定してください。[\(▶ 137 ページ\)](#)
- ⑨  ボタンを 1 回押す。  
オンスクリーンメニューが消えます。



### 3 3D 映像のソフトを再生して、本機で投写する。

### 4 液晶シャッターメガネを装着して映像を視聴する。

3D 映像を視聴し終えたら、3D モードを「オフ」に切り替えてください。

#### 注意

- 3D 映像を視聴できる距離は、下記の条件において、スクリーン前面から 10 m までです。
 

・本機の明るさ	2000 lm 以上
・スクリーンゲイン	1
・視聴位置	スクリーン中央の正面
・外光の影響	なし
・液晶シャッターメガネ	DLP® Link 方式に対応した 3D メガネを使用

**注意**

- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。
- DLP® Link 方式の液晶シャッターメガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、液晶シャッターメガネで同期信号が正常に受光できず、3D 映像が観づらくなる場合があります。
- 3D モードのときは、台形補正の調整範囲が狭くなります。
- 3D モードのときは、次の設定は無効になります。  
壁色補正、映像メニューのプリセット、参照、色温度
- 3D 対応信号以外と判別した場合は OUT OF RANGE または 2D で表示されます。  
(▶ 174 ページ)

**参考**

- 3D モードが有効なときはオンスクリーンメニューの入力端子画面に「3D」と表示されます。
- 入力している信号が 3D かどうかは、オンスクリーンメニューの情報の「信号」画面で確認できます。

## ● 3D エミッタを使用する場合

本機は、市販の 3D 対応のアクティブシャッター方式の 3D メガネを使って、3D 映像を視聴することができます。その際、3D 映像とメガネの同期を取るために、市販の 3D エミッタという装置を本機（プロジェクター側）に接続する必要があります。3D メガネは 3D エミッタからの情報を受けて、左右の開閉を行います。

### 3D メガネおよび 3D エミッタの準備

アクティブシャッター方式の 3D メガネは、VESA 準拠を使用ください。

市販の Xpand 製 RF タイプを推奨します。

- ・ 3D メガネ …………… Xpand X105-RF-X2
- ・ 3D エミッタ …… Xpand AD025-RF-X1

### 3D エミッタを本機の 3D SYNC 端子に接続する。

**注意**

- アクティブシャッター方式の 3D メガネ（VESA 準拠）を使ってください。
- 3D 入力信号によっては自動で 3D 映像に切り替わらない場合があります。
- ブルーレイプレーヤの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D エミッタの DIN 端子を本機の 3D SYNC に接続してください。
- 3D メガネは、3D エミッタから出力される同期信号を受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなる場合があります。
- 3D 映像のソフトをコンピュータで再生する場合、コンピュータの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなる場合があります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピュータの動作条件を確認してください。

## 3D 映像が視聴できないとき

3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。

また、液晶シャッターメガネに添付している取扱説明書をご覧ください。

考えられる原因	解決策
選択している信号が 3D に対応していない。	3D 対応の映像信号を入力してください。
選択している信号に対して 3D モードが「オフ」になっている。	オンスクリーンメニューで 3D モードを「オン」にしてください。
本機に対応したメガネを使用していない。	DLP® Link 方式の 3D メガネをお買い求めください。または、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッターメガネをお買い求めください。 3D エミッタを使用している場合： 市販の 3D メガネおよび 3D エミッタ(推奨品)をお買い求めください。( <a href="#">🔵 前ページ</a> )
本機に対応した液晶シャッターメガネを使用して 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
液晶シャッターメガネの電源をオフにしている。	液晶シャッターメガネの電源をオンにしてください。
液晶シャッターメガネに内蔵している電池が消耗している。	充電するか、電池を交換してください。
3D メガネの方式を正しく設定していない。	オンスクリーンメニューで 3D メガネの設定を変更してください ( <a href="#">🔵 136 ページ</a> )
視聴者とスクリーンの距離が離れ過ぎている。	3D 映像が視聴できるまでスクリーンに近づいてください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
周辺で複数台の 3D 対応プロジェクターを同時に動かしているため、干渉しあっている。または、スクリーンの近くに明るい光源がある。	プロジェクター同士を十分離してください。 スクリーンを光源から離してください。 オンスクリーンメニューで L/R 反転を「ノーマル」にしてください。
コンピュータで再生している 3D 映像が視聴できないときは、次の点を確認してください。	
コンピュータの動作環境が 3D 映像の再生に適していない。	お使いのコンピュータが、再生する 3D 映像の説明書に記載されている動作環境を満たしているか確認してください。
コンピュータから出力されている信号の解像度が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータの解像度を、本機で 3D 映像と認識できる解像度に変更してください。
コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数が本機で 3D 映像と認識できない。	コンピュータから出力されている信号の垂直同期周波数を 60Hz または 120Hz に変更してください。
3D エミッタを使用している場合	
3D メガネの受光部と 3D エミッタの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
3D 映像コンテンツの 3D 方式に対応していない。	3D 映像コンテンツの販売会社へお問い合わせください。

## 3-14. マイクを接続する

マイク入力端子に市販のダイナミックマイクまたはコンデンサーマイクを接続すると、スピーカからマイクの音声を出力することができます。

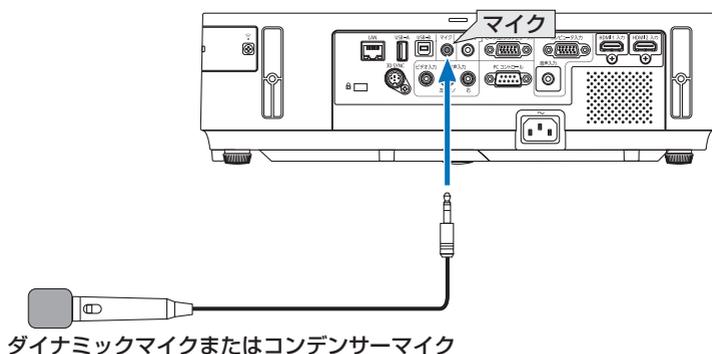
また会議室や教室でのプレゼンテーションや講義のときに、コンピュータ音声入力端子、HDMI 1/2 入力端子またはビデオ音声入力端子から入力した音声、およびビューフ、ネットワークで再生した音声にかがせてマイクの音声を出力することができます。

マイク音量は、本体の音量調整ボタン (◀▶) およびリモコンの (音量 +/-) ボタンで調整できます。

マイクの種類とマイクの感度はメニューの「セットアップ」→「設置」の「マイク選択」と「マイクゲイン」で設定できます。 (🔗 131 ページ)

### 注意

- HDMI1/2 信号の入力状態により、マイクの音声が出力されないことがあります。
- HDMI1/2 入力端子、USB-B 端子および LAN ポートを選択しているとき、デジタル音声信号がない場合、マイクの音声が出力されません。その場合は、オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (1)」→「音声入力選択」で、選択している端子の音声を「コンピュータ」へ切り替えてください。マイクの音声が出力されます。
- マイク入力端子に音声ケーブルを接続しないでください。音声信号を入力すると、大音量で出力され、スピーカが壊れることがあります。



## 3-15. 無線 LAN を経由してスマートフォンの写真や文書を投写する (Wireless Image Utility)

Wireless Image Utility を使用すると、スマートフォンやタブレットからプロジェクターへ、ネットワーク（無線 LAN）を経由して写真や文書を伝送して投写することができます。

Wireless Image Utility は、Android 用と iOS 用があり、各々 Google Play または App Store からダウンロードしてください。

Wireless Image Utility について詳しくは次のホームページをご覧ください。

- **Android 用**

[http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/android/wiu\\_for-android.html](http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/android/wiu_for-android.html)

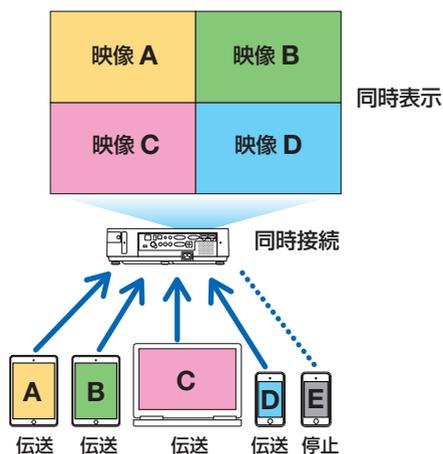
- **iOS 用**

[http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/ios/wiu\\_for-ios.html](http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/ios/wiu_for-ios.html)

## 3-16. 複数の端末の画面を同時に投写する

複数（最大 16 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4 × 4 分割）して一度に投写することができます。

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、Mac OS、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。



- 1 コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。(▶ 81 ページ)
- 2 スマートフォンやタブレット端末には、当社のアプリ Wireless Image Utility をダウンロードしてインストールしてください。(▶ 前ページ)
- 3 ネットワーク接続後、Image Express Utility Lite を起動して操作してください。
  - ・ リモコンの(▼▲)ボタンを押すと、「フルスクリーン表示」と「分割表示」を切り替えることができます。
  - ・ フルスクリーン表示中にリモコンの(◀▶)ボタンを押すと、表示する端末を切り替えることができます。詳しい操作方法については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

### 注意

- 本機は「フリーモード」のみ対応しています。「管理モード」には対応していません。
- ユーザー名の表示には対応していません。

# 4. ビューワを使う

## 4-1. ビューワでできること

ビューワには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリを本機の USB-A ポートに挿すと、USB メモリ内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピュータを使わずにプレゼンテーションを行えます。
- ビューワで投写できる画像の種類は、JPEG です。
- ビューワではサムネイル表示 (JPEG Exif のみ) が行え、投写する画像を素早く選択できます。
- 複数の画像を連続して投写する場合 (スライドショー) は、手動操作で切り替える方法 (手動再生) と、自動的に切り替える方法 (自動再生) があります。また、自動再生のときのスライド切り替え時間の選択ができます。
- 投写する順番は、画像のファイル名、日付、サイズで指定でき、昇順を選択できます。
- 画像の向きを 90° 単位で変えることができます。

### 注意

- 本機の USB-A ポートは、USB ハブをサポートしていません。
- ビューワ (サムネイル画面、スライドおよびスライドショー画面) 表示中は、プロジェクター本体またはリモコンの次のボタン操作はできません。
  - ・  ボタンによる音量調整
  - ・  ボタンによる台形補正
  - ・  ボタンによる自動調整

ビューワ表示中に台形補正および入力切り替えを行う場合は、 ボタンを 2 回押してオンスクリーンメニューを表示し操作してください。

- ビューワ表示中は、リモコンの  ボタンは働きません。
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを行うと、ビューワのメニュー設定は工場出荷状態に戻ります。
- 本機のビューワで使用する USB メモリは、FAT32 形式、または FAT16 形式でフォーマットしてください。

本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。

本機に挿した USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。

フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

- ・ 本機の USB-A ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。

次ページに続く

- 対応画像について
  - ・ビューワで投写できる画像は次のとおりです。

画像フォーマット	拡張子	対応詳細フォーマット
JPEG	JPG/JPEG	ベースライン、Exif

- 本機で投写できる最大解像度は、10000×10000ピクセルです。
- 上記の条件を満たしている画像であってもビューワで投写できない場合があります。
- サムネイル画面では200を超えるアイコン(画像ファイルアイコンとフォルダアイコンの総数)は表示できません。
- フォルダ、画像ファイルの名前の文字数が規定値より長い場合は、表示可能文字数のみ表示し「…」が付け加えられます。
- 1つのフォルダ内のファイル数が多いと、画面を切り替えるのに時間がかかります。画面の切り替えを速くするには、1つのフォルダ内のファイル数を減らしてください。

**参考**

- Exif (Exchangeable image file format) とは、デジタルカメラで撮影した画像データに、撮影条件に関する情報を付加している画像ファイル形式です。

## 4-2. USBメモリに保存した画像を投写する

ここでは、ビューワの基本操作を説明します。ビューワの各メニュー（🔗104ページ）が工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

- ・ビューワを起動する …………… このページ
- ・本機からUSBメモリを取り外す …………… 102ページ
- ・ビューワを終了する …………… 102ページ

**準備：** コンピュータを使って複数の画像をUSBメモリに保存してください。

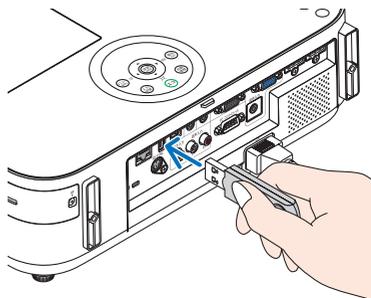
### ビューワを起動する

**1** 本機の電源を入れる。（🔗33ページ）

**2** 本機のUSB-AポートにUSBメモリを挿す。

**注意**

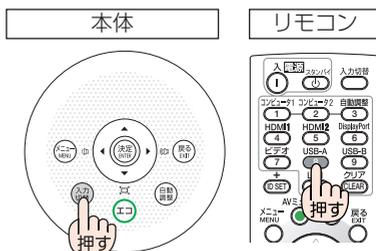
- USBメモリのアクセスインジケータが点滅しているときは、保存データが破損しますので取り外さないでください。



**3** (入力切替) ボタンを押す。

ビューワが起動しビューワ起動画面が表示されます。

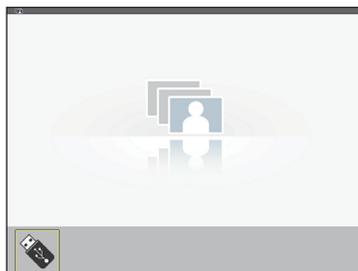
- ・ リモコンの場合は (USB-A) ボタンを押します。



**4** (決定) ボタンを押す。

サムネイル画面に変わります。

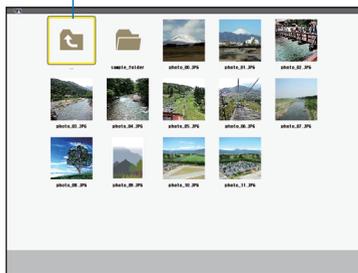
- ・ サムネイル画面については103ページをご覧ください。



## 5 (▼▲◀▶) ボタンを押して、カーソルをアイコンに合わせる。

- ・右端に→アイコンを表示しているとき、(ページ▼)ボタン(ページダウン)を押すと次ページに切り替わります。また、左端に←アイコンを表示しているとき、(ページ▲)ボタン(ページアップ)を押すと前ページに切り替わります。

カーソル(黄色)



## 6 (決定) ボタンを押す。

スライドが表示されます。

- ・フォルダアイコンを選択したときは、フォルダ内のアイコンを表示します。



## 7 (▶) ボタンを押して次のスライドに切り替える。

サムネイル画面での1つ右の画像を表示します。

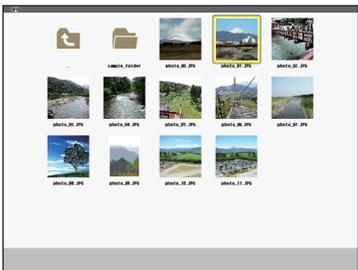
- ・(◀▶)ボタンでサムネイル画面での上下左右の画像に切り替わります。
- ・サムネイル画面、スライド画面、スライドショー画面で(メニュー)ボタンを押すと、メニューを表示します。メニューで画面の選択や画像回転などの設定を行います。(▶ 104 ページ)
- ・メニューを消すには、(メニュー)を1回押すとメニューが消え、入力端子画面を表示します。もう1回押すと入力端子画面が消えます。



## 8 メニューを表示していないときに(戻る)ボタンを押す。

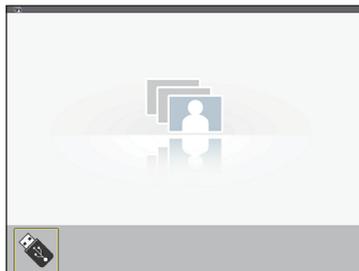
サムネイル画面に戻ります。

- ・(決定)ボタンを押しても戻ります。



## 本機からUSBメモリを取り外す

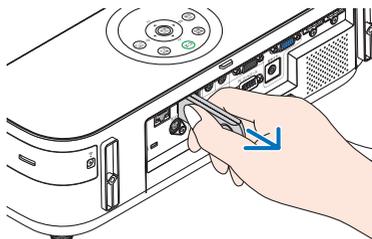
- 1 ビューワ起動画面に切り替える。  
メニューを表示していない画面で(戻る)ボタンを押します。



- 2 本機からUSBメモリを取り外す。  
USBメモリのアクセスインジケータが点滅していないことを確認してから取り外してください。

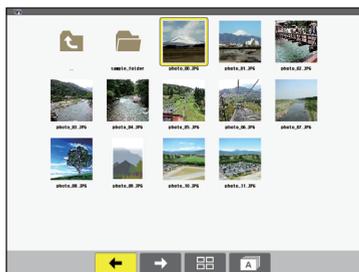
### 注意

- スライドを表示中にUSBメモリを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。  
その後約3分待って、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



## ビューワを終了する

- 1 (メニュー)ボタンを2回押す。  
1回押すとメニューが表示されます。  
もう一度押すと、メニューが消え、オンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。  
スライドおよびスライドショー画面でも同じです。



- 2 「USB-A」以外の入力端子にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。  
ビューワが終了し、選択した入力に切り替わります。  
・ 再び USB-A を選択するとビューワ接続画面が表示されます。



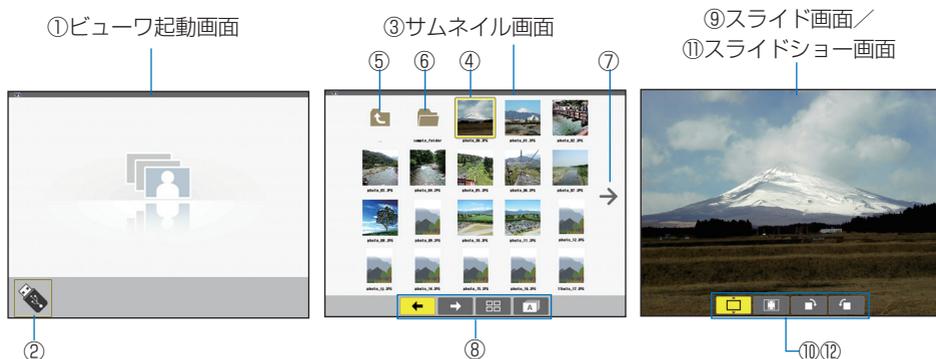
### 参考

- リモコンで操作する場合は、「USB-A」以外の入力端子を選択すると、ビューワが終了します。



## 画面の見かた

ビューワには 4 つの画面があります。



名称	説明
① ビューワ起動画面	ビューワに切り替えたときはじめに表示します。
② USBアイコン	本機にUSBメモリを挿してあると表示します。
③ サムネイル画面	USBメモリ内のフォルダと画像ファイルを一覧表示します。JPEG Exifのみサムネイル画像を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ページのフォルダおよび画像ファイルの表示数は機種によって異なります。NP-M403XJDは横5×縦4、NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJDは横6×縦4、NP-M403HJD/NP-M353HSJDは横8×縦5です。</li> </ul>
④ カーソル	◀▶▶▶ ボタンを押して目的のフォルダや画像を選択します。
⑤ 戻るアイコン	上(親)の階層のフォルダに戻ります。
⑥ フォルダアイコン	USBメモリ内にフォルダがあることを示します。
⑦ ページダウン(ページアップ)アイコン	表示がある場合は、次ページにフォルダや画像ファイルがあることを示します。▶ ボタンを押してカーソルを右端まで移動し、さらに右へ移動するとひとつ下の段の左端にカーソルが移動します。下の段がない場合は次ページに切り替わります。画面の左端に◀カーソルを表示しているときは、前ページにフォルダや画像ファイルがあることを示します。 リモコンの(ページ▼)を押すと次ページ、(ページ△)を押すと前ページに直接切り替わります。
⑧ サムネイルメニュー	サムネイル画面のメニューです。(メニュー) ボタンを押すと表示します。(▶ 次ページ)
⑨ スライド画面	手動再生の画面です。選択した画像を画面いっぱいに表示します。
⑩ スライドメニュー	スライド画面のメニューです。(メニュー) ボタンを押すと表示します。(▶ 105 ページ)
⑪ スライドショー画面	自動再生の画面です。自動でスライドが切り替わります。
⑫ スライドショーメニュー	スライドショー画面のメニューです。(メニュー) ボタンを押すと表示します。(▶ 105 ページ)

## メニューを使う

### ●メニューの操作

#### 1 各画面で(メニュー)ボタンを押す。

メニューが表示されます。

ビューワ起動画面はオンスクリーンメニューの入力端子画面が表示されます。

#### 2 (◀▶)ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(▼▲)ボタンを押して内容を選択する。

カーソルを合わせると黄色に変わります。

▲▼表示の項目は選択枝があることを表しています。

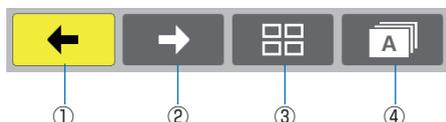
#### 3 (決定)ボタンを押す。

選択内容に切り替わります。

#### 4 (メニュー)ボタンを2回押す。

メニューが消え入力端子画面を表示します。もう一度(メニュー)ボタンを押すと、入力端子画面が消えます。

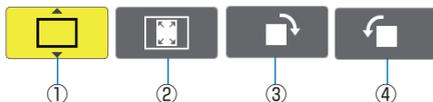
### ●サムネイルメニュー



メニュー	選択項目	説明
①戻る ◀	なし	カーソルを1つ左へ進めます。画面左上まで戻ると前ページに戻ります。1ページのファイルの左端まで移動します。
②進む ▶	なし	カーソルを1つ右へ進めます。画面右下まで進むと次ページに進みます。最終ページの右端まで移動します。
③画面表示	☐	メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
	🖥️	メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
	🖨️	メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
④並び順	📷	ファイル作成日の新しい順にアイコン表示を並び替えます。
	📄 A	名前を昇順(数字→英字→日本語の順)にアイコン表示を並び替えます。
	📄	ファイルの容量が小さい順にアイコン表示を並び替えます。

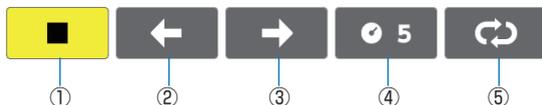
## ●スライドメニュー

スライドメニューでは次の設定が行えます。



メニュー	選択項目	説明
①画面表示		メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
		メニューを閉じてサムネイル画面に切り替わります。
		メニューを閉じてカーソルのある画像からスライドショーを開始します。
②画像表示		メニューを閉じて本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
		メニューを閉じて実サイズの画面で表示します。 ・本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
③右回転	なし	メニューを閉じて画像を時計回りに90°回転します。
④左回転	なし	メニューを閉じて画像を反時計回りに90°回転します。

## ●スライドショーメニュー



メニュー	選択項目	説明
①停止	なし	メニューを閉じてスライド画面に切り替わります。
②戻る	なし	前の画像に戻ります。
③進む	なし	次の画像に進みます。
④表示間隔		画像の表示間隔を設定します。 0, 1, 3, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120 秒の設定ができます。 ・表示間隔は次の画像を表示させるまでの待ち時間です。
		フォルダ内の最後の画像を表示した後、最初の画像から再生します。
⑤リピート		フォルダ内の最後の画像を表示した後、自動再生を終了しサムネイル画面に戻ります。

### 参考

- スライド画面およびスライドショー画面で再生できない画像は画面中央に画像アイコンを表示します。
- スライドメニューで設定した画像回転設定はフォルダを移動すると解除されます。

# 5. オンスクリーンメニュー

## 5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

### オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

**準備**：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

#### 1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

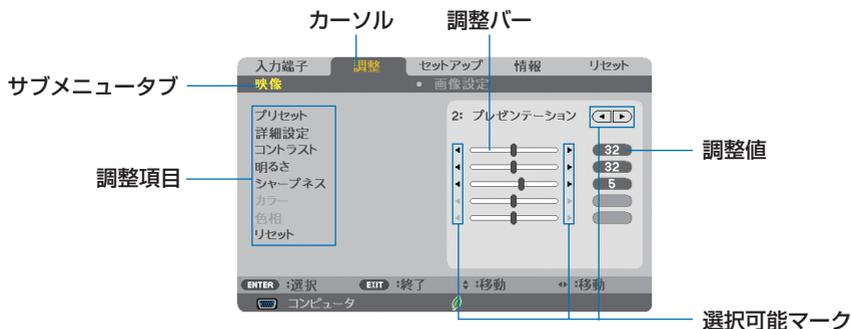
カーソル (黄色の部分)



無線 LAN ユニット (別売) の動作中、エコモード設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、オフタイマーの残り時間のアイコン

#### 2 (▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。



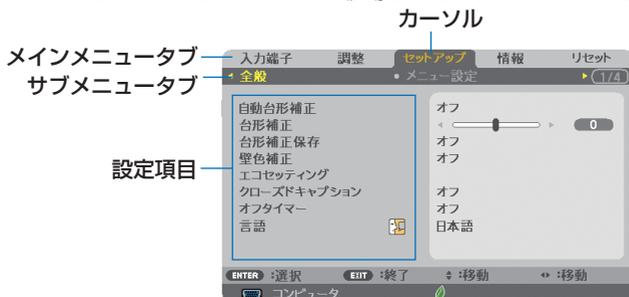
3 (▼/▲) ボタンを押す。  
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。  
画面の明るさが調整されます。

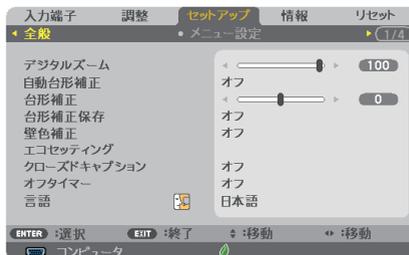
- 「」(選択可能マーク)が付いている項目は(◀/▶)ボタンで設定を切り替えることができます。
- 「」(選択可能マーク)が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ(決定)ボタンを押します。
- 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (戻る) ボタンを2回押す。  
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。

6 (▶) ボタンを1回押す。  
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



※ この画面は  
NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJDの  
ものです。

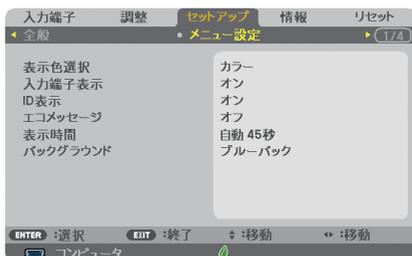


※ この画面は NP-M353WSJD/  
NP-M303WSJD/NP-M353HSJD  
のものです。

7 (決定) ボタンを押す。  
全般にカーソルが移動します。

- セットアップには全般、メニュー設定、設置、オプション(1)、オプション(2)、有線LAN、無線LANという7つのサブメニュータブがあります。(◀/▶)ボタンで選択します。

8 (▶) ボタンを1回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。  
メニュー設定のメニューに切り替わります。



次ページに続く

- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンドが設定されます。

- ・ 選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。

- 12 (メニュー) ボタンを 1 回押す。

メニューが消えます。



- ・ 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

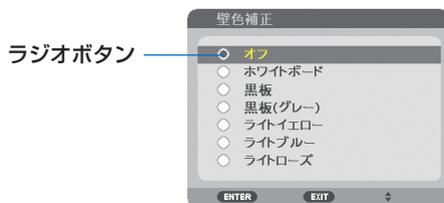
## 調整画面、設定画面の操作例

### ● ラジオボタンの選択

選択肢の中から1つ「」を選びます。

#### 【例1】「壁色補正」の選択

セットアップ→全般→壁色補正



- 1 (▼/▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

## ● 実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

### 【例 2】 調整のリセット



- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**左/右** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。  
機能が実行されます。
  - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

## 5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		選択項目		参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
入力端子	—	コンピュータ		114	
		HDMI1			
		HDMI2			
		ビデオ			
		USB-A			
		LAN			
		USB-B			
調整	映像	プリセット		115	
		詳細設定	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、ナチュラル、DICOM SIM.	116
			ガンマ補正 *1	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
			スクリーンサイズ *2	大、中、小	
			色温度	5000、6500、7800、9300	
			カラーエンハンスメント	オフ、弱、中、強	
			ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
		117	コントラスト		117
		明るさ			
		シャープネス			
	カラー色相				
	リセット				
	画像設定	クロック周波数		118	
		位相			
		水平			
		垂直			
		オーバースキャン		119	
		アスペクト		120	
		表示位置*3			
		ノイズリダクション		122	
テレシネモード					

※ 1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※ 2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

※ 3：NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M403HJD/  
NP-M353HSJD は表示されません。

メニュー		選択項目	参照 ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	全般	デジタルズーム※4			
		自動台形補正	オフ、オン	123	
		台形補正	水平※5、垂直		
		台形補正保存	オフ、オン		
		壁色補正	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板（グレー）、ライトイエロー、ライトブルー、ライトローズ	124	
		エコセッティング			
		エコモード	オフ、オートエコ、エコ1、エコ2		
		オートエコ	自動減光		オフ、0:01、0:03、0:10、0:20
		オプション	外光センサー		オフ、オン
		エコ1オプション	輝度一定モード	オフ、オン	125
		エコ2オプション	輝度一定モード	オフ、オン	
		クローズドキャプション	オフ、キャプション1、キャプション2、キャプション3、キャプション4、テキスト1、テキスト2、テキスト3、テキスト4		
		オフタイマー	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00	126	
		言語	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、CESTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、简体中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिन्दि、INDONESIA、ئۇيغۇر、繁體中文、TIẾNG VIỆT		
		メニュー設定	表示色選択		カラー、モノクロ
	入力端子表示	オフ、オン	126		
	ID表示	オフ、オン			
	エコメッセージ	オフ、オン	127		
	表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒			
	バックグラウンド	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ			
	3D視聴注意メッセージ	オフ、オン			
設置	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント	128		
	本体キーロック	オフ、オン	129		
	セキュリティ	オフ、オン			
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps			
	コントロールID	コントロールID番号		1-254	
		コントロールID		オフ、オン	
	テストパターン		131		
	マイク選択	ダイナミックマイク、コンデンサーマイク			
マイクゲイン	0-15				

※4：NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は表示されません。

※5：NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は表示されません。

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	ファンモード		自動、高速、高地	131
		カラー方式	ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	132
		WXGA モード※6		オフ、オン	
		HDMI 設定			
		HDMI1	ビデオレベル	自動、ノーマル、拡張	
		HDMI2	ビデオレベル	自動、ノーマル、拡張	
		音声入力選 択	HDMI1	HDMI 1、コンピュータ	
			HDMI2	HDMI 2、コンピュータ	
			LAN	LAN、コンピュータ	
			UAB-B	USB-B、コンピュータ	
	ピープ音		オフ、オン		
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、ネットワークスタンバイ	133
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	
		オートパワーオン (COMP.)		オフ、オン	
		オートパワーオフ※7		オフ、0:05、0:10、0:15、0:20、0:30、1:00	134
		初期入力選択		ラスト、自動、コンピュータ、HDMI1、HDMI2、ビデオ、USB-A、LAN、USB-B	135
		CO2 換算係数			
		通貨選択		\$、€、JP ¥、RMB ¥	
	電気料金換算係数				
	3D	コンピュータ	3D	オフ、オン	136
3D メガネ			DLP® Link、その他		
フォーマット			サイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャル		
L/R 反転			ノーマル、反転		
HDMI1		3D	オフ、オン	136	
		3D メガネ	DLP® Link、その他		
		フォーマット	オート、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム		
		L/R 反転	ノーマル、反転		
HDMI2		3D	オフ、オン	136	
		3D メガネ	DLP® Link、その他		
		フォーマット	オート、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム		
		L/R 反転	ノーマル、反転		
ビデオ		3D	オフ、オン	136	
		3D メガネ	DLP® Link、その他		
	L/R 反転	ノーマル、反転			
有線 LAN	有線 LAN		無効、有効	138	
	設定	DHCP	オフ、オン		
		IP アドレス			
		サブネットマスク			

※ 6 : NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD では、「オン」が工場出荷時の値です。

※ 7: オートパワーオフは、スタンバイモードで「ノーマル」を選択しているときに表示されます。

メニュー		選択項目		参照 ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	有線 LAN	設定	ゲートウェイ	138	
			自動 DNS		オフ、オン
			DNS		
	再接続				
無線 LAN	再接続	プロファイル	無効、簡易アクセスポイント、プロファイル 1、プロファイル 2	139	
		再接続			
情報	使用時間		ランプ残量、ランプ使用時間、 総 CO2 削減量、総電気料金削減量	141	
	信号 (1)		解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式		
	信号 (2)		信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、3D 信号		
	有線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス		
	無線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、SSID、通信モード、セキュリティ、チャンネル、信号レベル		
	VERSION (1)		FIRMWARE、DATA		
	VERSION (2)		FIRMWARE2		
その他		プロジェクター名、ホスト名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID <sup>※8</sup>			
リセット	—		表示中の信号	143	
	—		全データ		
	—		ランプ使用時間クリア		

※8：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

## 5-3. 入力端子



投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

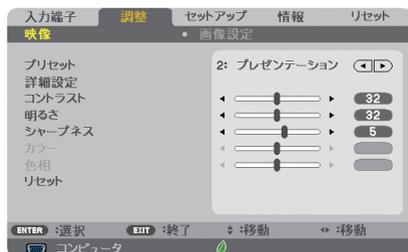
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
USB-A	本機にセットした USB メモリのデータを投写します。
LAN	LAN ポート (RJ-45) または別売の無線 LAN ユニットの介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。
USB-B	USB-B 端子に接続しているコンピュータの画面を投写します。

### 参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ映像入力端子に接続している場合は、コンピュータを選択してください。  
コンピュータ映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

## 5-4. 調整

### 映像



### ●プリセット

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～8に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～8に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：ナチュラル	明るさと色のバランスがとれた設定です。
8：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。

#### 注意

- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。
- 映像によっては、画面がちらつくことがあります。その場合は、「高輝度モード」と「プレゼンテーション」以外に設定してください。ちらつきがなくなります。

#### 参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」のDICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

## ●詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～8 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、カラーエンハンスメント、ダイナミックコントラストの項目について、細かな設定ができます。



### 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

### ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

### スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

### 注意

- 参照で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

### 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

### 注意

- 参照で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

## カラーエンハンスメント

映像の色の濃さを調整します。「弱」「中」「強」の順に色が濃くなりますが、画面は暗くなります。

「オフ」を選択したときは、カラーエンハンスメントは機能しません。

## ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

### 注意

- 以下の場合はダイナミックコントラストを選択できません。
  - ・エコセッティングで、エコモードを「エコ1」または「エコ2」を選択し、輝度一定モードが動作しているとき
  - ・3Dを「オン」に設定した入力端子の映像を投写しているとき
- ダイナミックコントラストとエコモードは、ランプ電力を変動させるコントロールを行います。映像によっては、ランプ電力コントロール時に明るさの変化が目立つことがあります。気になる場合は、ダイナミックコントラストとエコモードの両方を「オフ」に設定してください。

## ●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかかった映像にしたり、緑がかかった映像にします。

### 注意

- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

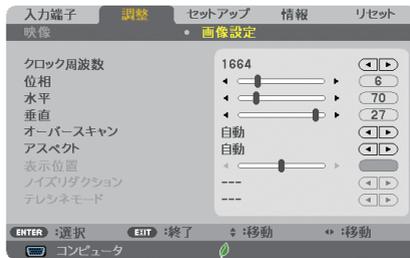
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/HDMI (RGB)	○	○	○	×	×
コンピュータ/HDMI (コンポーネント)	○	○	○	○	○
USB-B	○	○	○	×	×
ビデオ	○	○	○	○	○
USB-A、LAN	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

## ●リセット

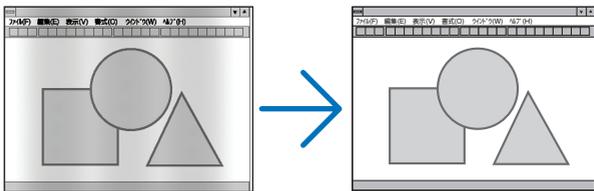
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

## 画像設定



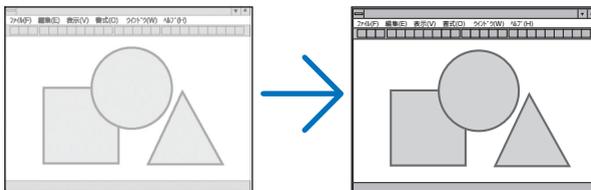
### ●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



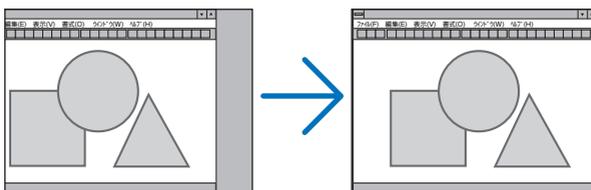
### ●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



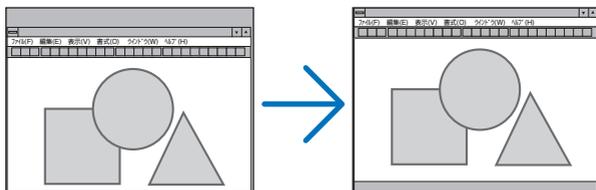
### ●水平

画面を水平方向に移動します。



## ●垂直

画面を垂直方向に移動します。



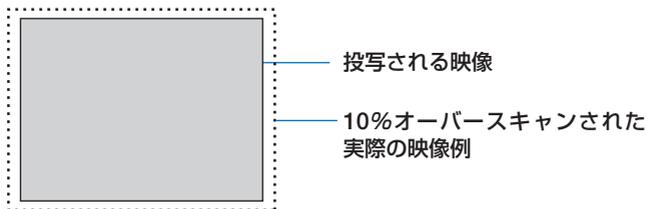
### 注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。  
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」または「全データ」を行ってください。

## ●オーバースキャン

入力信号にあわせてオーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の設定ができます。

自動	入力信号に最適なオーバースキャンをして表示します。(工場出荷状態)
オン	オーバースキャンをしないで信号を表示します。
オフ	オーバースキャンをして信号を表示します。



### 注意

- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。
- ビデオ入力時は選択できません。

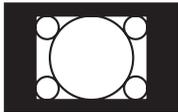
## ●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4 : 3
SVGA 800 × 600	4 : 3
XGA 1024 × 768	4 : 3
WXGA 1280 × 768	15 : 9
WXGA 1280 × 800	16 : 10
WXGA+ 1440 × 900	16 : 10
SXGA 1280 × 1024	5 : 4
SXGA+ 1400 × 1050	4 : 3
UXGA 1600 × 1200	4 : 3
WUXGA 1920 × 1200	16 : 10

選択項目	説明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(  次ページ ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
ワイドズーム (NP-M403XJD)	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
レターボックス (NP-M403WJD/NP-M363WJD/ NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M403HJD/NP-M353HSJD)	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。
リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。  【例 1】 NP-M403XJD に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき   【例 2】 NP-M403WJD/NP-M363WJD/ NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M403HJD/NP-M353HSJD に、解像度が 800 × 600 の信号を入力したとき 
	 <b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。</li> <li>● コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。</li> </ul>

## 【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

適応機種 NP-M403XJD

コンピュータ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ					

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ			 (注) スクイーズを適切に投写する には「16:9」または「ワイドズーム」 を選択してください。

適応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/  
NP-M303WSJD/NP-M403HJD/NP-M353HSJD

コンピュータ信号のとき

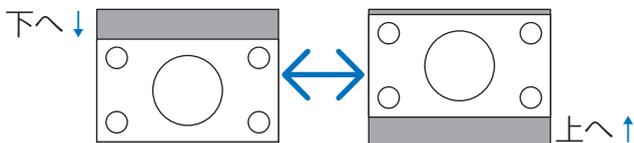
入力信号の アスペクト比	4:3	5:4	16:9	15:9	16:10
適切に自動判別した ときの画面イメージ			NP-M403WJD/NP-M363WJD/ NP-M353WSJD/NP-M303WSJD		
			NP-M403HJD/NP-M353HSJD		

ビデオ信号のとき

入力信号の アスペクト比	4:3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの 画面イメージ		 (注) レターボックス を適切に投写するに は「レターボックス」 を選択してください。	 (注) スクイーズを適 切に投写するには 「16:9」を選択して ください。

## ●表示位置

アスペクトで「16:9」、「15:9」、または「16:10」を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



### 注意

- NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/  
NP-M403HJD/NP-M353HSJDには、この機能はありません。

### 参考

- ビデオ映像の標準アスペクト比 4:3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ 1.85:1 やシネマスコープ 2.35:1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比 16:9 の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して 4:3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

## ●ノイズリダクション

ビデオ信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減します。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定しています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

## ●テレシネモード

映画などを投写して画面のちらつきが気になる場合、本機の I-P 変換処理モードのテレシネ信号を最適なモードに設定します。

オフ	ブルダウン処理を強制的に無効にします。
2-2/2-3 自動	テレシネ信号か、そうでないかを判別し、自動的に最適なモードに切り替えます。
2-2 オン	2-2 ブルダウン処理モードに設定します。
2-3 オン	2-3 ブルダウン処理モードに設定します。

# 5-5. セットアップ

## 全般



※ この画面は NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M403XJD/NP-M403HJD のものです。



※ この画面は NP-M353WSJD/  
NP-M303WSJD/NP-M353HSJD の  
ものです。

### ● デジタルズーム **適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD

投写画面の大きさを微調整します。お使いのスクリーンサイズにあわせて調整してください。

数値を小さくすると画像が縮小され、数値を大きくすると画像が拡大されます。

#### 注意

- デジタルズームは、電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

#### 参考

- 投写画面の大きさの調整は、本機とスクリーンとの距離を近づけたり遠ざけたりして行ってください。デジタルズームは、投写画面の大きさを微調整するときを使用してください。  
リモコンの(フォーカス/ズーム)ボタンでもデジタルズームが行えます。(40 ページ)

### ● 自動台形補正

自動台形補正を行います。自動台形補正を「オン」にした場合、台形補正保存は使用できません。

オフ	自動台形補正を行いません。台形補正を手動で行うときは、次の台形補正のメニュー項目で調整します。
オン	自動台形補正を行います。

#### 参考

- 自動台形補正が対応している傾きの範囲は、上下約 30° です。
- 自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約 2 秒後に行われます。

### ● 台形補正

台形補正調整画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「2-6. 台形歪みを手動で調整する」(42 ページ)をご覧ください。

## ●台形補正保存

台形補正で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

オフ	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。
オン	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。

## ●壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

**注意**

- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。
- 3Dを「オン」に設定した入力端子の映像を投写しているときは、壁色補正を選択できません。

## ●エコセッティング

ランプの輝度をコントロールする各種設定を行います。

エコモードを設定すると、本機の総CO<sub>2</sub>排出量（消費電力削減量より換算）を削減したり、ランプ交換時間（目安）\*を延ばしたりすることができます。（▶142ページ）

\*保証時間ではありません。

### エコモード

ランプの点灯モードを設定します。（▶52ページ）

**注意**

- 3Dを「オン」に設定した入力端子の映像を投写しているときは、エコモードは選択できなくなり（灰色表示）、自動的に「オフ」が選択された状態になります。

### オートエコオプション

エコモードでオートエコを選択したときのオプション設定を行います。

自動減光	オフ	自動減光機能は働きません。
	0:01、0:03、0:10、0:20	設定した時間（1分、3分、10分、20分）以上映像の変化がないと自動で減光します。はじめに画面が少し暗くなり、設定時間が経過すると約30%の輝度になります。映像が変化すると、元の輝度に戻ります。
外光センサー	オフ	外光センサーは働きません。
	オン	本機の外光センサーで周囲の明るさを検知して、ランプの輝度を変化させます。 <b>注意</b> ● 投写方法で「天吊り/リア」または「天吊り/フロント」を選択しているときは、明るさが変化しません。

## エコ1オプション

エコモードでエコ1を選択したときのオプション設定を行います。

輝度一定モード	オフ	輝度一定モードは働きません。ランプの使用時間とともに輝度が徐々に低下します。
	オン	ランプの使用時間に応じてランプ電力を上昇させ、エコ1設定相当の輝度をおおむね維持します。 ランプ電力が最大になったときは、ランプの使用時間とともに輝度が徐々に低下します。

## エコ2オプション

エコモードでエコ2を選択した時のオプション設定を行います。

輝度一定モード	オフ	輝度一定モードは働きません。ランプの使用時間とともに輝度が徐々に低下します。
	オン	ランプの使用時間に応じてランプ電力を上昇させ、エコ2設定相当の輝度をおおむね維持します。 ランプ電力が最大になったときは、ランプの使用時間とともに輝度が徐々に低下しますが、エコ1設定より輝度を長時間維持できます。

## ●クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。

### 注意

- 次の状態のときクローズドキャプションは表示されません。
  - ・ オンスクリーンメニュー表示中
  - ・ メッセージ表示中
  - ・ (部分拡大 +/-) ボタンによる画面拡大中
  - ・ (静止) ボタンによる静止画中
  - ・ (AVミュート) ボタンによる映像と音声の消去中
- 台形補正で極端に補正をかけた場合、補正の組み合わせによっては、クローズドキャプションの文字が画面からはみ出すことがあります。  
はみ出したときは画面におさまるように調整してください。
- クローズドキャプションの拡張文字には対応していません。

### 参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

## ●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

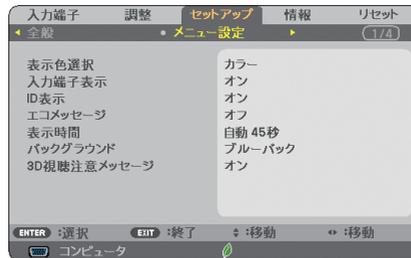
## ●言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 言語は、リセットを行っても変更されません。

## メニュー設定



## ●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

## ●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・ 入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ」などの入力端子名を表示します。
- ・ 信号が入力されていないときは、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。ただし、入力端子でビューワまたはネットワークを選択しているときは、無信号ガイダンスを表示しません。

## ●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロールID機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの(ID SET) ボタンを押したときに、コントロールID画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロールID (129 ページ) をご覧ください。

## ●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

### エコモードを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



### エコモードが「オフ」のときのエコメッセージ

(決定)ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。

(52 ページ)

表示を消すには(戻る)ボタンを押します。

・30秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



## ●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

## ●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

### 注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、入力端子がLANまたはUSB-Bのときは「ブルーバック」になります。
- 入力端子表示を「オン」にしているときは、バックグラウンドの設定に関わらず、画面中央に入力端子の確認を促す無信号ガイダンスが表示されます。

### 参考

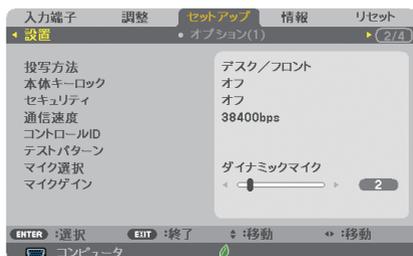
- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

## ●3D視聴注意メッセージ

3D映像に切り替えたとき視聴注意メッセージを表示するか、しないかを選択します。(工場出荷状態はオンです。)

オフ	3D 視聴注意メッセージ画面は表示されません。
オン	3D 映像に切り替えたときは 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。 (決定) ボタンを押すとメッセージは消えます。 ・約60秒経過したときや他のボタン操作をした場合は、自動で消えます。 自動で消えたときは、再度 3D 映像に切り替えると 3D 視聴注意メッセージ画面を表示します。

## 設置



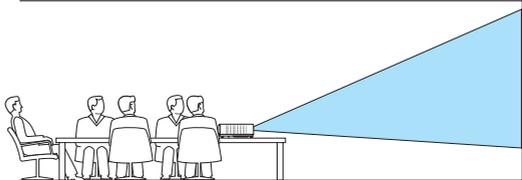
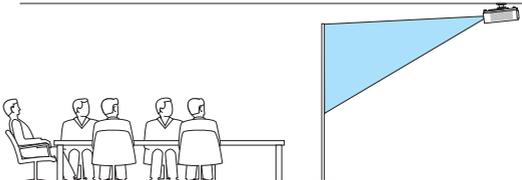
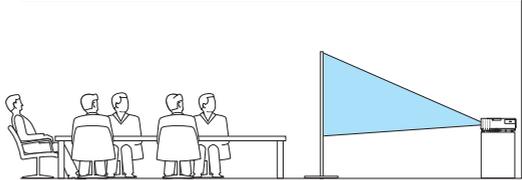
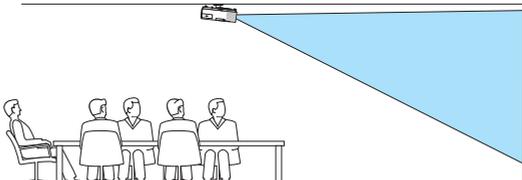
### ●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



**警告**

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。  
お客様による設置は絶対にしないでください。  
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

## ●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

### 注意

- 本体キーロックの解除方法  
本体キーロックが「オン」に設定されているときに、本体の(戻る)ボタンを約10秒間押し、本体キーロックの設定が解除されます。

### 参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

## ●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-5. セキュリティを設定して無断使用を防止する」([55 ページ](#)) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

### 参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

## ●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

### 参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

## ●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1～254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

### 注意

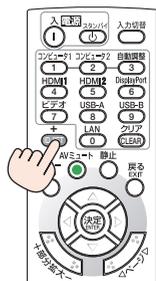
- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

### 参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の **(決定)** ボタンを 10秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

## リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押す。  
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。

「コントロール ID 番号」には、現在設定されているプロジェクターのコントロール ID 番号が表示されます。

「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 **3** でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの **(ID SET)** ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば、コントロール ID 番号が「1」のプロジェクターを操作する場合は、リモコンの ID も「1」に設定するため、数字の 1 を押します。ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または **(CLEAR)** ボタンを押します。

### 参考

- リモコンの ID は 1～254 まで登録できます。

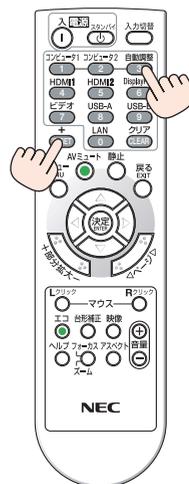
- 4 **(ID SET)** ボタンを離す。

リモコンの ID が設定されます。

コントロール ID 画面の「動作」「非動作」表示が更新されます。

### 注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



## ●テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態を確認する際に表示します。

(決定) ボタンを押すとメニュー表示が消えテストパターンを表示します。(戻る) ボタンを押すとテストパターンが消えメニュー画面に戻ります。

テストパターンを表示しているときはメニュー操作および台形補正調整はできません。台形歪みを調整するときは、テストパターンを消してから行ってください。

## ●マイク選択

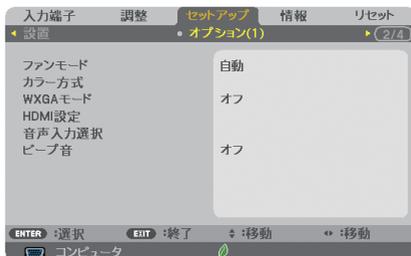
使用するマイクの方式を選択します。

## ●マイクゲイン

マイクを使用するときに、マイクの感度に合わせて調整します。

マイクの音量は、本体またはリモコンの音量調整ボタンで調整できます。

## オプション (1)



## ●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1700m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

### 注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1700m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1700m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えず画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

### 参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に  アイコンが表示されます。

## ●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるビデオ信号方式を選択します。  
工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

▲**参考**

- ビデオ映像入力端子の入力信号の設定ができます。

## ● WXGA モード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、ワイド信号 (WXGA:1280 × 768 ドット / WUXGA:1920 × 1200 ドット) を優先します。

WXGA モードを「オン」に設定しているとき、XGA (1024 × 768 ドット) 信号または UXGA (1600 × 1200 ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は WXGA モードを「オフ」にしてください。

▲**参考**

- NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD は、工場出荷時の設定は「オン」になっています。  
NP-M403XJD/NP-M403HJD/NP-M353HSJD は、工場出荷時の設定が「オフ」になっています。

## ● HDMI 設定

本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルと音声入力端子の選択です。

ビデオレベル	自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
	ノーマル	拡張を無効にします。
	拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。

## ●音声入力選択

本機の HDMI 1 入力端子、HDMI 2 入力端子、LAN ポートおよび USB-B 入力端子の音声入力の選択です。

アナログ音声を入力するときは、本機のコンピュータ音声入力端子と接続機器の音声出力端子を接続し、音声入力選択を「コンピュータ」に設定します。

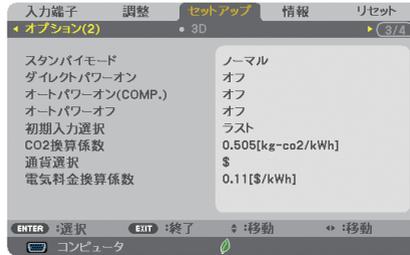
## ●ビープ音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

▲**参考**

- ビープ音の音量は調整できません。また、**(AVミュート)** ボタンを押しても消えません。ビープ音を出したくない場合は、ビープ音を「オフ」に設定してください。

## オプション (2)



### ●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、本機の消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子を使った電源オン
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のときの消費電力が「ノーマル」に比べて高くなりますが、有線 LAN を使って本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯し、ステータスインジケータは消灯します。 スタンバイ状態のときは次のボタン・端子・機能のみ動作します。 本体の(⏻)ボタン、リモコンの電源(⏻)ボタン、PCコントロール端子、を使った電源オン、オートパワーオン (COMP.)、LAN ポート、無線 LAN ユニット (別売)、Virtual Remote Tool、LAN 機能、メール通知機能

#### 重要

- 「ネットワークスタンバイ」を選択するとオートパワーオフは選択できなくなり（灰色表示）、自動的に「0:15」が選択された状態になります。

#### 参考

- スタンバイモードを「ノーマル」にしている場合でも、PCコントロール端子を使った電源のオン/オフは行えます。
- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータのCO<sub>2</sub>削減量の計算から除外しています。

## ●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

## ●オートパワーオン (COMP.)

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ映像入力端子とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン (COMP.) 機能は働きません。
オン	コンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。

### 注意

- 添付のコンピュータケーブルを使って接続してください。  
9 番ピンの Hotplug 信号の接続が必要なため、市販の 9 番ピンがないコンピュータケーブルを使うと、オートパワーオン (COMP.) は働きません。
- コンピュータ映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は働きません。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン (COMP.) を働かせたい場合は、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、コンピュータ信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。
- スタンバイモードが「ノーマル」のときは、オートパワーオン (COMP.) は働きません。

## ●オートパワーオフ

次のような状態が設定した時間以上続いた場合に、自動的に本機の電源を切ります。

- 信号入力がない
- ビューワでサムネイル画面を表示している
- 本機の操作がない

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:15 / 0:20 / 0:30 / 1:00	設定した時間 (5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間) で自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

### 注意

- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」のときは、オートパワーオフは選択できなくなり (灰色表示)、自動的に「0:15」が選択された状態になります。

## ●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子の入力信号を投写します。
HDMI1	HDMI 1 入力端子の入力信号を投写します。
HDMI2	HDMI 2 入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
USB-A	ビューワを表示します。 (🔗 98 ページ)
LAN	LAN ポート (RJ-45) または別売の無線 LAN ユニットの介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。
USB-B	USB-B 端子の入力信号を投写します。

## ●CO<sub>2</sub> 換算係数

カーボンメータに表示する CO<sub>2</sub> 削減量を算出するための CO<sub>2</sub> 排出係数を設定します。

初期値は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion (2008 年 Edition)”にて公表されている 2006 年度世界平均係数の 0.505 [kg-CO<sub>2</sub>/kWh] に設定しています。

## ●通貨選択

カーボンメータに表示する電気料金削減量の通貨単位を選択します。

\$	米国ドル
€	欧州ユーロ
JP¥	日本円
RMB¥	中国元

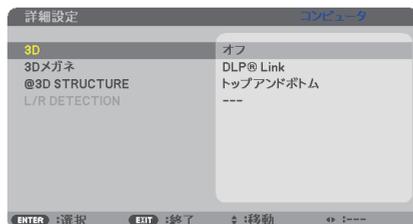
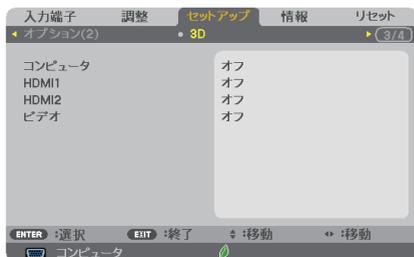
## ●電気料金換算係数

カーボンメータに表示する電気料金削減量を算出するための係数として、1kWh あたりの電気料金を設定します。

初期値は、\$、€、JP¥ は OECD 出版の Energy Prices and Taxes (second quarter 2010)、RMB¥ はジェットロ（日本貿易振興機構）出版の中国データ・ファイル（2010 年度版）にて公表されている下記の値に設定しています。

\$	(米国ドル)	0.11
€	(欧州ユーロ)	0.19
JP¥	(日本円)	20
RMB¥	(中国元)	0.48

## 3D



### ●コンピュータ /HDMI 1/HDMI 2/ビデオ

各入力端子に対して 3D モードの動作を設定します。

設定したい入力端子にカーソルを合わせて(決定)ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。

3D モード設定のしかたは、「3-13. 3D 映像を投写する」([91 ページ](#))をご覧ください。

#### 3D

3D モードのオン/オフを切り替えます。

オフ	3D モードを無効にします。通常の映像を投写するときに設定します。
オン	3D モードを有効にします。3D 映像を投写するときに設定します。

#### 3D メガネ

使用する 3D メガネの方式を選択します。

DLP® Link	DLP® Link 方式の XPAND 3D メガネや、DLP® Link 方式に対応した市販の液晶シャッターメガネを使用するときに設定します。
その他	DLP® Link 方式以外の IR 方式やワイヤード方式の液晶シャッターメガネを使用するときに設定します。



- DLP® Link 方式以外の液晶シャッターメガネをご使用の場合、メガネによっては同期が取れなくなることがあります。

## フォーマット

3D 映像フォーマットを設定します。

自動	自動で映像フォーマットを設定します。HDMI 3D のフォーマットのみ対応します。
フレームパッキング	フレームパッキング方式の 3D 映像を投写するときに選択します。左目用の画像と右目用の画像が非圧縮で記録されたフォーマットです。
サイドバイサイド	サイドバイサイド方式の 3D 映像を投写するときに選択します。左目用の画像と右目用の画像を横にならべて記録されたフォーマットです。Half (水平解像度 1/2) のみ対応します。
トップアンドボトム	トップアンドボトム方式の 3D 映像を投写するときに選択します。左目用の画像と右目用の画像を縦に並べて記録されたフォーマットです。Half (垂直解像度 1/2) のみ対応します。
フレームシーケンシャル	フレームシーケンシャル方式の 3D 映像を投写するときに選択します。左目用の画像と右目用の画像が交互に表示されるフォーマットです。(コンピュータを選択時のみ有効)



- ビデオでは表示されません。

## L/R反転

3D 映像が観づらい場合に設定を変更します。

ノーマル	通常の設定です。
反転	左目用の画像と右目用の画像の表示順を変更します。



- L/R 反転が操作できないときは、リモコンの映像ボタンを押しても「L/R 反転」画面は表示されません。

## 有線 LAN



### 重要

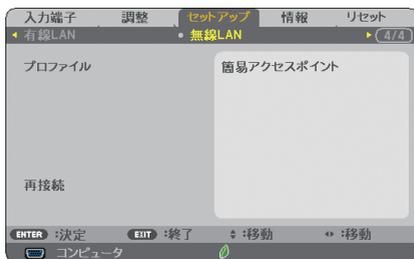
- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート (LAN) に LAN ケーブル (Ethernet ケーブル) を接続してください。(🔗 153 ページ)

### 参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

有線	無効	有線 LAN を無効にします。
	有効	有線 LAN を有効にします。
設定	DHCP	オン ... DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 オフ ... ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
	IP アドレス	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
	自動 DNS	オン ... DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。 オフ ... 本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。
再接続		ネットワークの接続を試みます。

## 無線 LAN（別売の無線 LAN ユニット接続時）



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 無線 LAN を使う場合は、本機に別売の無線 LAN ユニットを取り付けてください。  
(🔗 155 ページ)

プロフィール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 無線 LAN ユニットを使用する場合の設定を 2 とおり、本機のメモリに記憶することができます（プロフィール 1/ プロファイル 2）。(🔗 72 ページ)</li><li>・ 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロフィール」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押します。</li><li>・ 簡易アクセスポイントを選択すると、プロジェクターはインフラストラクチャネットワークを作成します。プロジェクターの IP アドレスは自動設定されます。接続するコンピュータの IP アドレス設定は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してください。</li></ul>
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロフィール」を変更したときなどに実行してください。



注意

- プロファイルで簡易アクセスポイントを選択したときの補足説明
  - ・ コンピュータの「ワイヤレスネットワークの接続先」で「接続範囲内に入ると自動的に接続する」を選択しておく
    - ・ コンピュータもしくはプロジェクターの電源投入時
    - ・ ノート型コンピュータをプロジェクターの無線接続範囲内に近づけた場合などで、自動的に無線 LAN がつながるようになります。
  - ・ 無線 LAN と有線 LAN の間でデータ転送することはできません。
  - ・ 簡易アクセスポイントのとき、同時に接続できる端末は 20 台までです。通常 10 台程度をおすすめします。

## 本機に LAN の設定を行うヒント

### ● LAN の設定を行うには？

HTTP サーバ機能 (🔗 68 ページ) へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN の「PROFILE 1」および「PROFILE 2」から、設定を記憶するプロファイルのラジオボタンを●にします。

本機では、無線 LAN ユニットを使用する設定を 2 とおり、メモリに記憶することができます。

続いて、選択したプロファイルの「SETTING」をクリックし、「DHCP」の ENABLE (有効) / DISABLE (無効)、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY」などの設定後、「SAVE」をクリックします。保存した内容を反映するには、「SETTING」タブをクリックし、「APPLY」をクリックします。(🔗 71 ページ)

### ● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

HTTP サーバから設定した「PROFILE 1」を使用する場合は、本機のオンスクリーンメニュー (セットアップ→無線 LAN ページ) のプロファイルのリストから「プロファイル 1」、「PROFILE 2」を使用する場合は「プロファイル 2」を選択します。続いて「はい」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。(🔗 139 ページ)

### ● DHCP サーバに接続するには？

有線 LAN ページで「設定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

設定ページを表示します。「DHCP」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

「オン」を選択し、(決定) ボタンを押します。

DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、HTTP サーバ機能をご使用ください。(🔗 68 ページ)

### ● 無線 LAN 特有の設定 (通信モードや WEP/WPA (セキュリティ通信)) を行うには？

HTTP サーバ機能 (🔗 68 ページ) へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN の「PROFILE 1」および「PROFILE 2」から、設定を記憶するプロファイルのラジオボタンを●にします。

「SETTING」をクリックし、必要な設定を行い「SAVE」をクリックします。

本機のオンスクリーンメニュー (セットアップ→無線 LAN ページ) のプロファイルのリストから、HTTP サーバで設定を行ったプロファイルを選択します。

### ● 接続する SSID を選択するには？

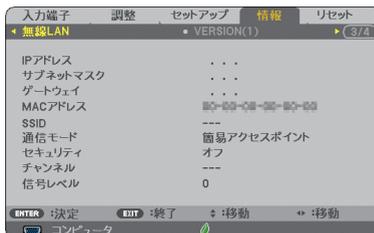
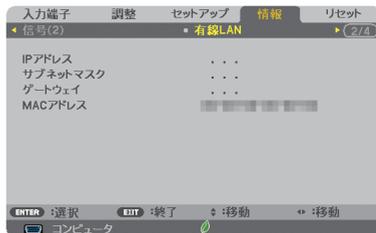
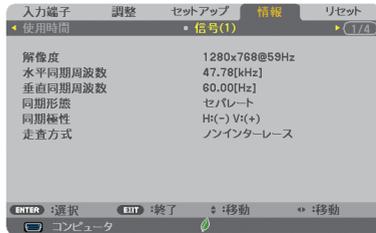
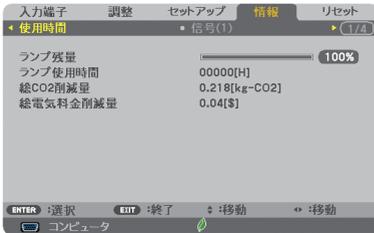
HTTP サーバ機能 (🔗 68 ページ) へアクセスし、NETWORK SETTINGS → SETTINGS → WIRELESS LAN → CONNECTION ページで「SITE SURVEY」をクリックし、リストの中から、接続する SSID を選択します。

「SITE SURVEY」を使用しない場合は、同じ CONNECTION ページで、SSID を直接入力します。(🔗 72 ページ)

### ● プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーを E メールで受け取るには？

HTTP サーバ機能 (🔗 68 ページ) へアクセスし、NETWORK SETTINGS → ALERT MAIL ページで「SENDER'S ADDRESS」や「SMTP SERVER NAME」、「RECIPIENT'S ADDRESS」などを設定し、「SAVE」をクリックします。(🔗 73, 74 ページ)

## 5-6. 情報



ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN(無線 LAN ユニットは別売)のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の型名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・ 使用時間ページの「総 CO2 削減量」、「総電気料金削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。(▶ 54 ページ)
- ・ 信号ページは、色が極端におかしくなったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(▶ 173 ページ) もあわせてご覧ください。

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について  
 本機にはエコモード機能があります。エコモードの設定によりランプの交換時間目安<sup>\*</sup>が異なります。  
 ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
  - ・ 0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-3. ランプの交換」(▶ 159 ページ) をご覧ください。
  - ・ ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の (電源) ボタンまたはリモコンの電源 (切) ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
  - ・ ランプ交換時間 (目安)<sup>\*</sup>に到達 (ランプ残量 0%) 後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
  - ・ ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間				ランプ残量
	エコモード「オフ」のみで使用 (最小)	エコモード「オートエコ」のみで使用	エコモード「エコ1」のみで使用	エコモード「エコ2」のみで使用 (最大)	
工場出荷時	0000 時間				100%
ランプ交換時間 (目安) <sup>*</sup>					
NP-M403WJD NP-M403XJD NP-M353WSJD NP-M403HJD NP-M353HSJD	3500 時間	3500 時間～ 6000 時間	5000 時間	8000 時間	0%
NP-M363WJD		3500 時間～ 6500 時間			
NP-M303WSJD		3500 時間～ 7000 時間	5500 時間		

※：保証時間ではありません。

## 5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

### ●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

### ●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

#### 【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・セキュリティ・通信速度・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・CO<sub>2</sub>換算係数・通貨選択・電気料金換算係数・ランプ残量・ランプ使用時間・総CO<sub>2</sub>削減量・有線LAN・無線LAN

### ●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。

**注意**

- ランプ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

# 6. 機器と接続する

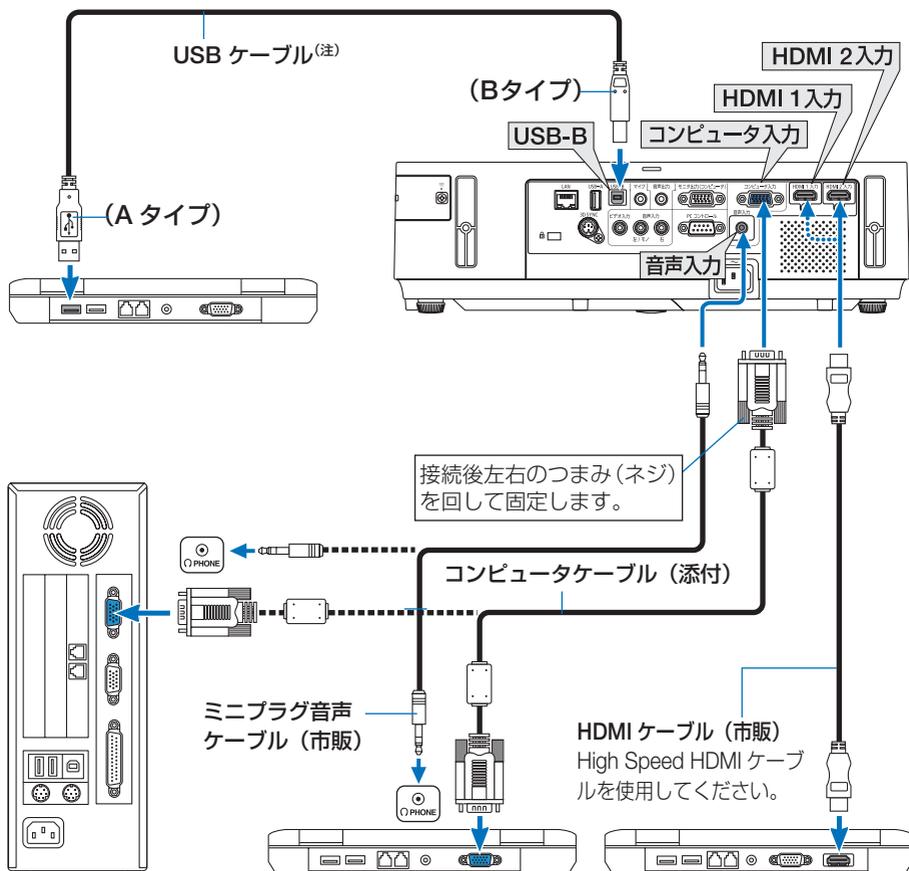
## 6-1. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）、HDMI ケーブル（市販）、および USB ケーブル（注）を使用する方法があります。

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ映像入力端子を接続します。
- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子を接続します。
- 添付の USB ケーブルはコンピュータの USB（タイプ A）と本機の USB-B 端子を接続します。

（▶ 65 ページ）

（注） NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD は添付品、  
NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。



コンピュータによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、コンピュータの取扱説明書でご確認ください。

- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ1)
HDMI 1 入力端子	 HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	 HDMI2	(HDMI 2)
USB-B 端子	 USB-B	(USB-B)

### 注意

- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（型名 ISS-6020J）のビデオオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き挿ししたときに HDMI 1 または HDMI 2 入力端子の映像が映らなくなることがあります。そのときは、HDMI1 または HDMI2 を再度選択してください。

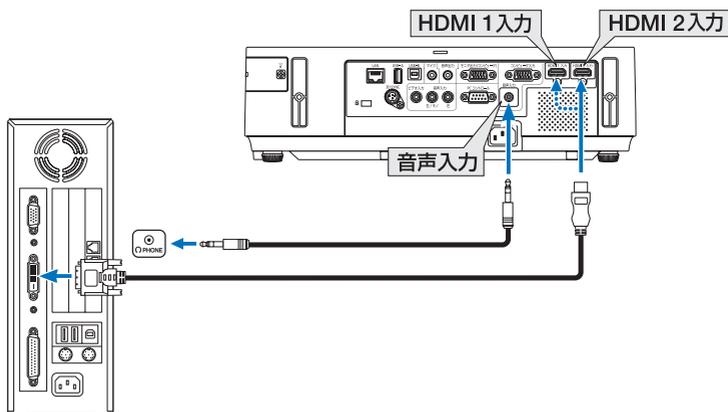
#### 【入力端子の再選択方法】

- ・リモコンで操作する場合は (HDMI 1) / (HDMI 2) ボタンを押してください。
- ・プロジェクター本体で操作する場合は (メニュー) ボタンを押して入力端子画面で HDMI を再選択してください。

### 参考

- コンピュータ映像入力端子と HDMI 1 および HDMI 2 入力端子は、Windows のプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Mac との接続では、Mac 用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。

また、コンピュータの音声出力は、本機のコンピュータ音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声入力選択の設定を「コンピュータ」に切り替えてください。(▶ 132 ページ)



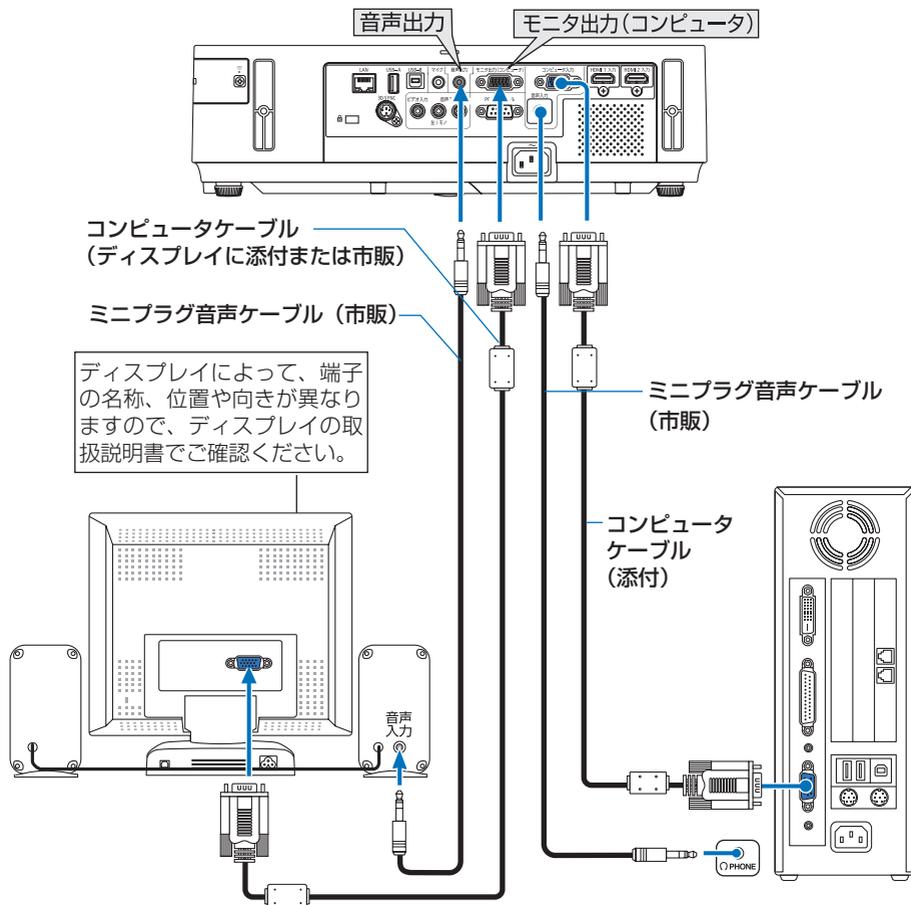


- DVI (デジタル) 入力時の注意事項
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した 5 m以内のものを使用してください。
  - ・ DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
  - ・ DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
  - ・ コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB (D-Sub) と DVI (または DFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
  - ・ 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。



## 6-2. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力（コンピュータ）端子から出力されます。



### 注意

- 本機の音声出力端子は、ヘッドホン用端子ではありません。
- 本機のモニタ出力（コンピュータ）端子は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。  
複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がなくなります。

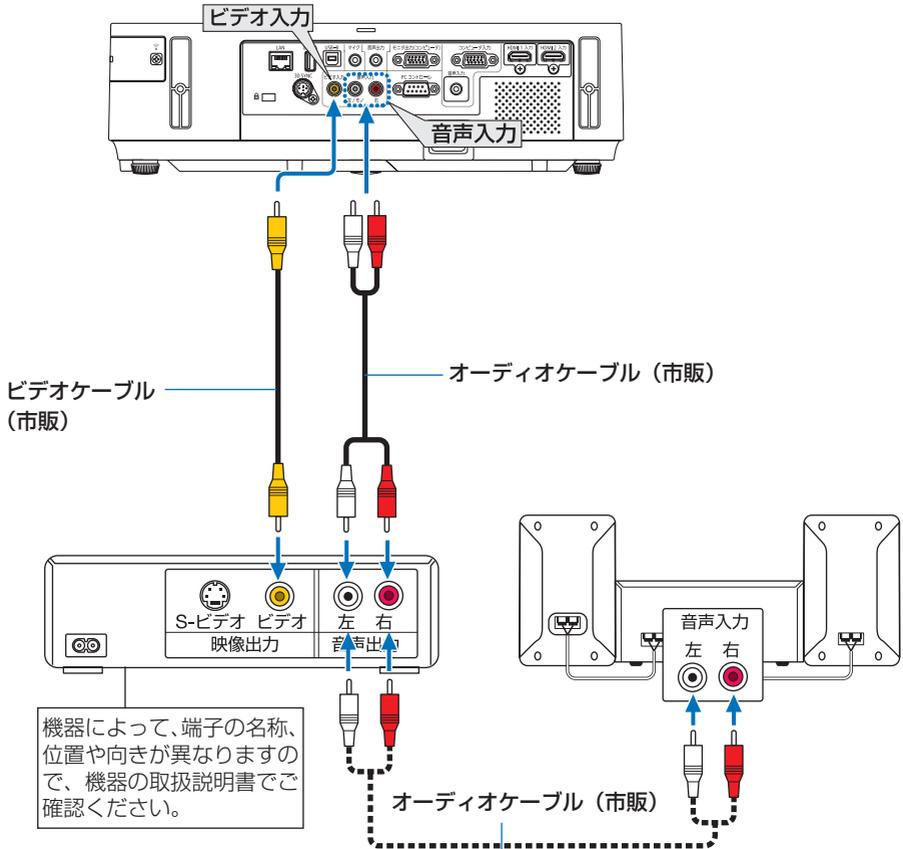
- モニタ出力とスリープ状態について  
スタンバイモードが「ノーマル」に設定されていると、スタンバイ状態のときにモニタ出力されません。  
スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合は、スタンバイ状態のときにコンピュータ映像入力端子に信号を入力すると、モニタ出力（コンピュータ）端子と音声出力端子が使用できます。  
この状態をスリープ状態と呼びます。  
このとき、音声出力端子からはマイク入力端子の音声も出力されます。  
スリープ状態は「ノーマル」「ネットワークスタンバイ」以外の待機状態です。  
ただし、メニューからは選択できません。
- スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」に設定されている場合で、本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ端子に信号の入力があり、かつ音声入力端子に音声入力があると、電源を切る直前に投写していたコンピュータかビデオの音声が出力されます。  
また、BNC 端子から変換して D-SUB に入力した信号は、スタンバイ状態とスリープ状態の場合は、モニタ出力できません。

## 6-3. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

### ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



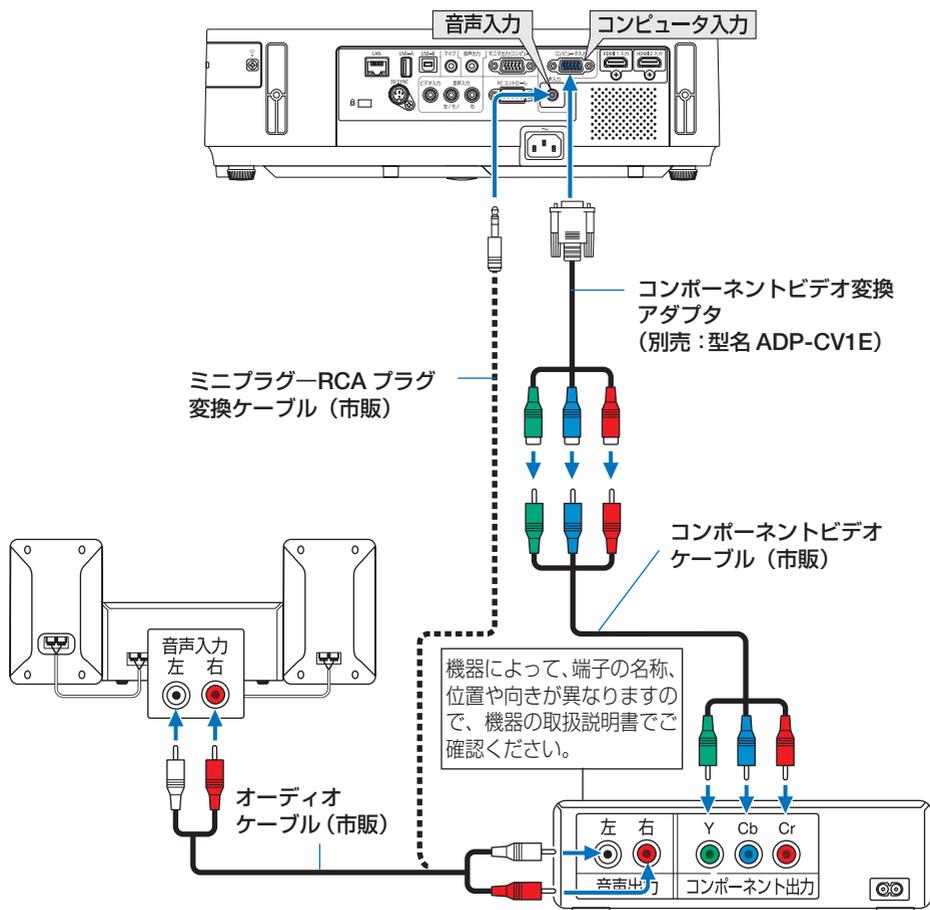
- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)

## コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。

DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

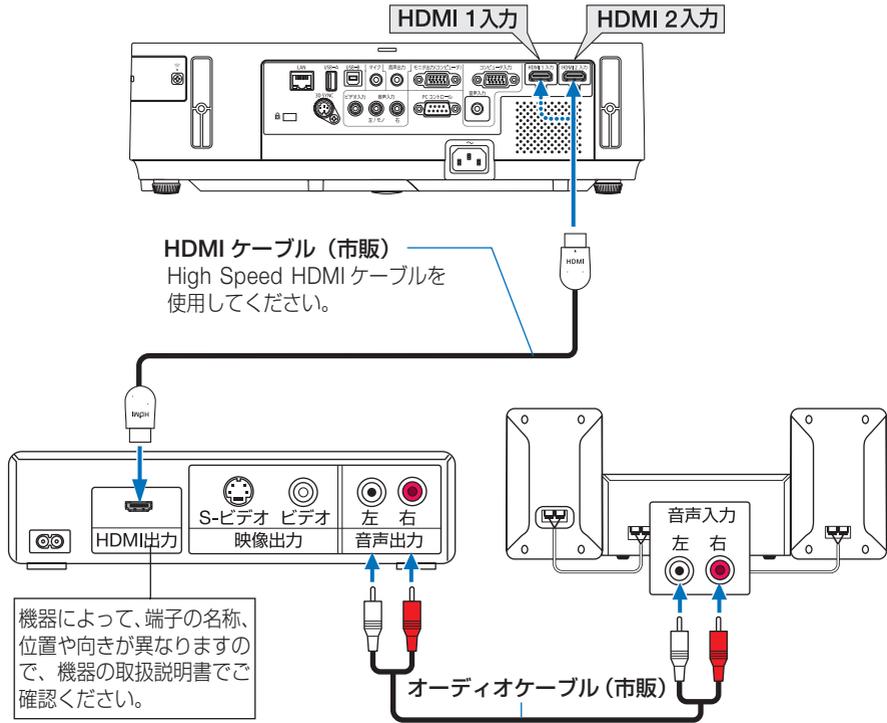
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	コンピュータ	(コンピュータ1)

### 参考

- 本機は自動でコンピュータ信号とコンポーネント信号を判別して切り替えます。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ(型名ADP-DT1E)をお使いください。

## デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

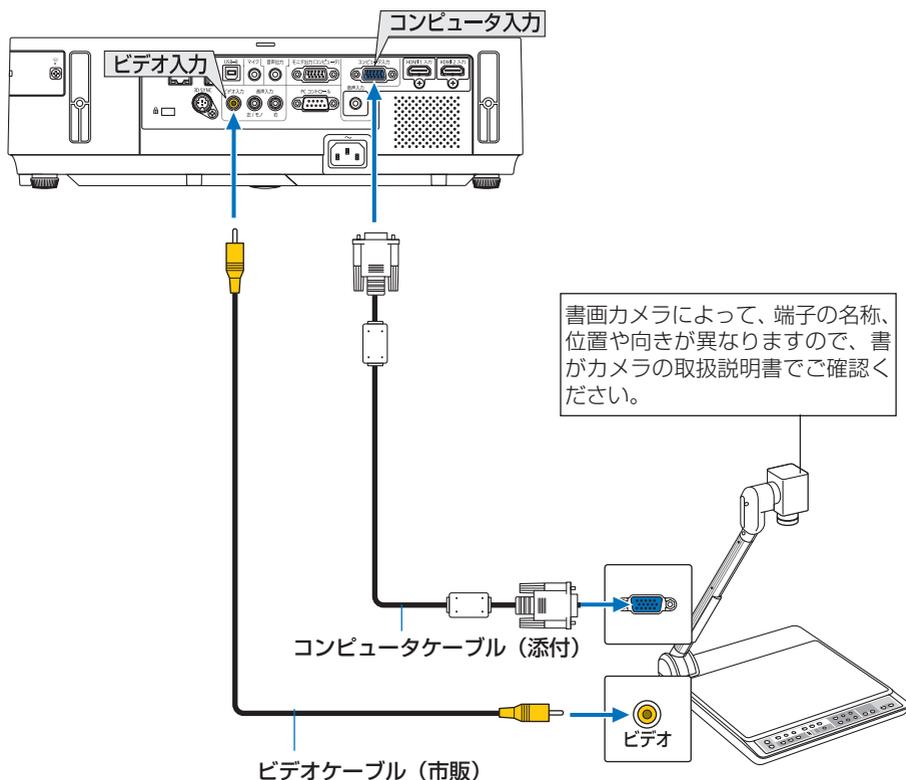
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 1 入力端子	HDMI1	(HDMI 1)
HDMI 2 入力端子	HDMI2	(HDMI 2)

### 参考

- 本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子に DVD プレーヤを接続している場合に、DVD プレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューの HDMI 設定→ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 1 入力または HDMI 2 入力の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューのオプション (1) → 音声入力選択 → HDMI1 または HDMI2 が「HDMI」に設定されているか確認してください。 (132 ページ)

## 6-4. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



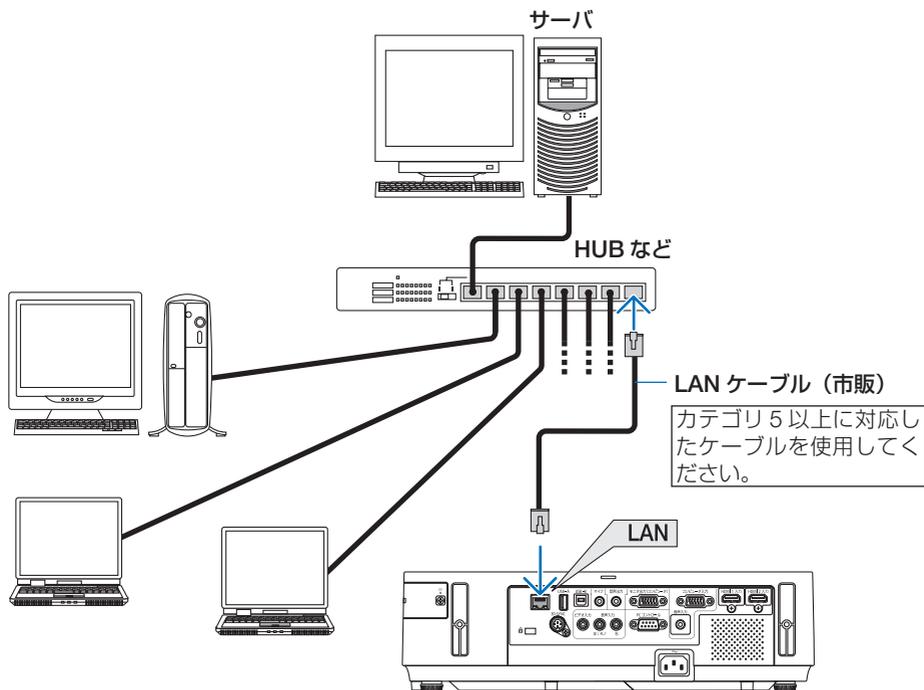
- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ映像入力端子	 コンピュータ	(コンピュータ1)
ビデオ映像入力端子	 ビデオ	(ビデオ)

## 6-5. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→セットアップ→有線 LAN (138 ページ) をご覧ください。

### 接続例



## 6-6. 無線 LAN と接続する（別売）

別売の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。

### 重要

- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。
- 別売の無線 LAN ユニットは、日本国内仕様をお買い求めください。

### 注意

- 無線 LAN ユニットを取り付けた状態で本機の電源を入れると、無線 LAN インジケータが青色に点灯します。また、無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピュータ側の無線 LAN アダプタ（またはユニット）は、Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) 規格のものを使用してください。

### 無線 LAN 設定の流れ

#### ステップ 1

本機に無線 LAN ユニットを取り付ける (🔗次ページ)



#### ステップ 2

コンピュータと本機を有線 LAN で接続する (🔗153 ページ)  
コンピュータのブラウザを使って、本機の HTTP サーバを表示してください。 (🔗68 ページ)



#### ステップ 3

HTTP サーバで無線 LAN の設定を行う (🔗71 ページ)

HTTP サーバ機能にアクセスし、NETWORK SETTINGS → WIRELESS ページで「SIMPLE ACCESS POINT（簡易アクセスポイント）」、「PROFILE 1（プロファイル 1）」、「PROFILE 2（プロファイル 2）」の設定を行います。

### 注意

- HTTP サーバ機能を使用するには、ネットワークに接続する必要があります。まず有線 LAN で本機をネットワークに接続し、HTTP サーバで無線 LAN に必要な設定を行います。
- HTTP サーバで無線 LAN の設定を行った後、NETWORK SETTINGS → WIRED ページで有線 LAN を無効（HTTP サーバでは「DISABLE」）にします。



無線 LAN 接続後、プロジェクター側で設定を切り替える場合  
オンスクリーンメニューで無線 LAN の設定を行う (🔗139 ページ)

HTTP サーバで設定した「無効」、「簡易アクセスポイント」、「プロファイル 1」、「プロファイル 2」のいずれかを選択します。

## 無線 LAN ユニットの取り付けかた

### 注意

- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB (LAN) ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けないでください。また、USB-A ポートには無線 LAN ユニットを取り付けないでください。

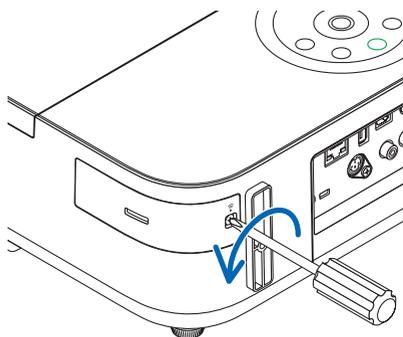
準備：プラスドライバーを用意してください。

### 1 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。

### 2 USB (LAN) ポートカバーを取り外す。

カバーを固定しているネジを左へ回して本体から取り外します。

- ・ネジは外れません。



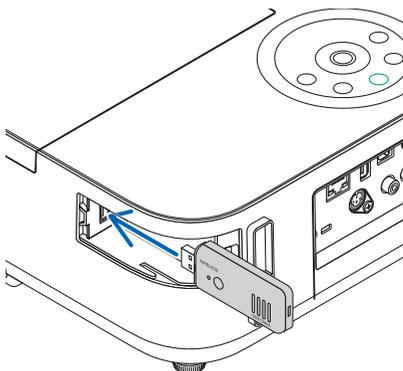
### 3 無線 LAN ユニットの USB (LAN) ポートにゆっくり差し込む。

- ・無線 LAN ユニットのキャップを外し、表面（インジケータのある面）を外側にして差し込んでください。

外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。

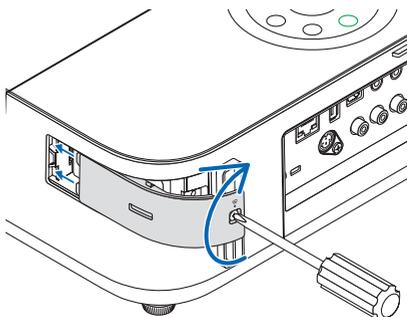
### 注意

- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



#### 4 USB (LAN) ポートカバーを取り付ける

USB (LAN) ポートカバーの先端のツメを本体のミゾに入れ、ネジを右へ回してカバーを固定します。



※ 取り外すときも電源コードを抜いてから同じ要領で行ってください。

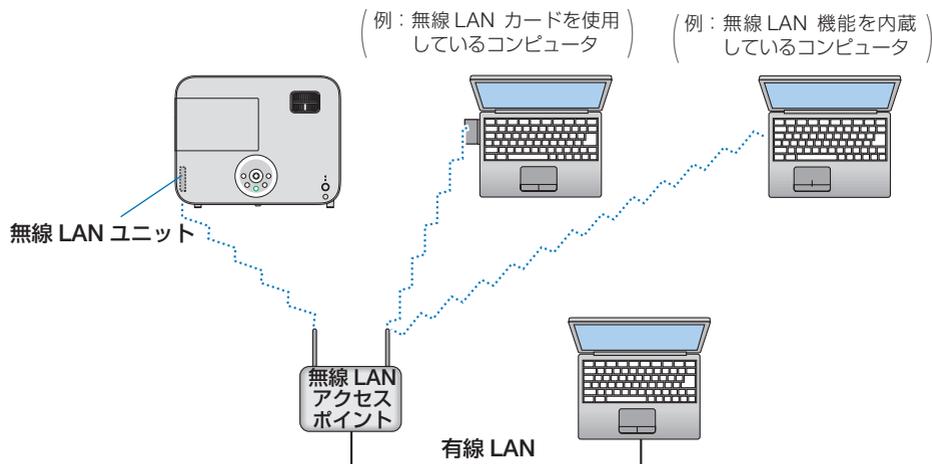
#### 注意

- 無線 LAN ユニットが動作中には、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。無線 LAN ユニットが正しく取り付けられていない場合、LED は点滅しません。
- 無線 LAN ユニットのボタンは押さないでください。本機では使用できません。

### 無線 LAN への接続例

無線 LAN アクセスポイントを介して有線 / 無線 LAN と接続する場合は、WIRELESS LAN を PROFILE 1 または PROFILE 2 に設定します。

HTTP サーバ機能にアクセスして設定します。(▶ 68 ページ)



# 7. 本体のお手入れ／ランプの交換

## 7-1. レンズの清掃

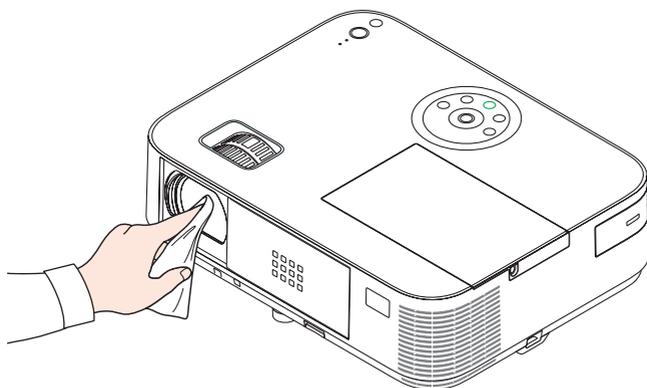
本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗浄液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。

オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



**警告**

レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



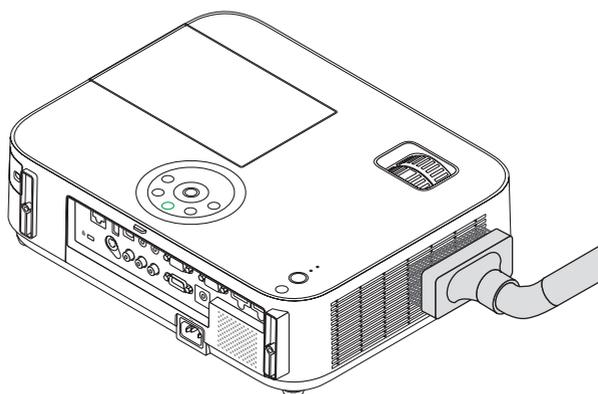
**注意**

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

## 7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。  
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

### 注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。  
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

## 7-3. ランプの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間（目安）<sup>\*1</sup>（[🔵 142 ページ](#)）を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます<sup>\*2</sup>。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）<sup>\*1</sup>が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報（使用時間）」（[🔵 141 ページ](#)）をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は次の交換用ランプの型名をご指定ください。

適用機種	ランプの型名
NP-M403WJD/NP-M403XJD/NP-M353WSJD/ NP-M403HJD/NP-M353HSJD	NP30LP
NP-M363WJD	NP29LP
NP-M303WSJD	NP28LP

- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。  
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間（目安）<sup>\*1</sup>に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の  ボタンまたはリモコンの電源（切）ボタンを押したときに表示されます。

電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



**注意**

ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

## ランプ交換の流れ

### ステップ 1

ランプを交換する (🔍このページ)



### ステップ 2

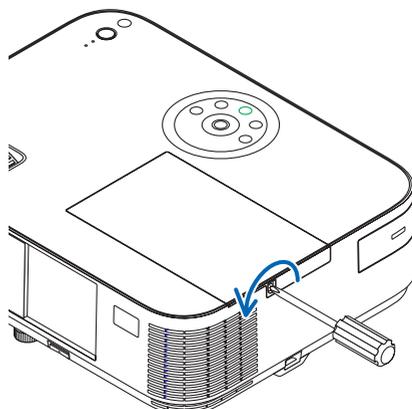
ランプ使用時間をクリアする (🔍163 ページ)

## ランプを交換する

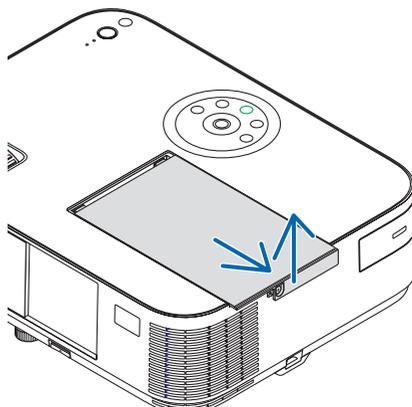
準備：プラスドライバーを用意してください。

### 1 ランプカバーを外す。

- 1 ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
  - ・ネジは外れません。



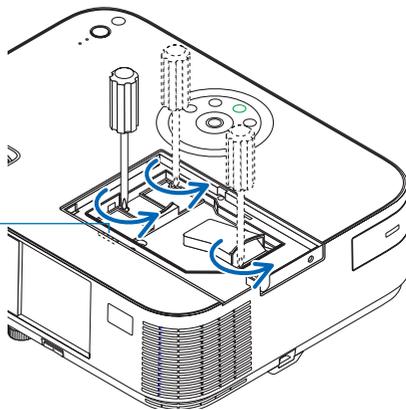
- 2 ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外す。



## 2 ランプを外す。

- 1 ランプ固定のネジ (3箇所) を左に空転するまでゆるめる。
  - ・ネジは外れません。
  - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

安全スイッチ

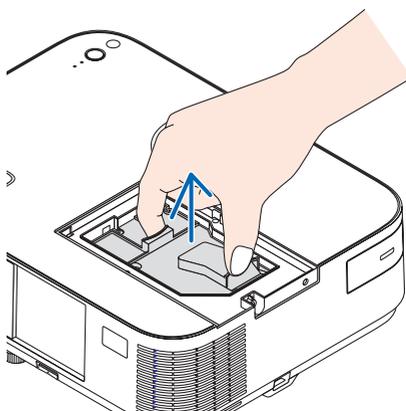


- 2 ランプのつまみを指で挟んで持ち上げる。



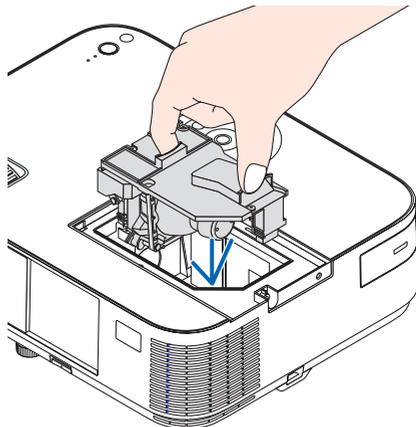
**注意**

高温に注意してください。ランプが冷えていることを確認してから外してください。



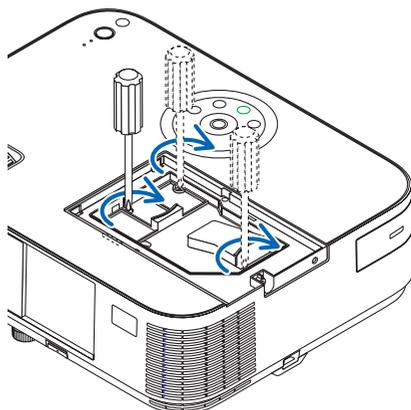
## 3 新しいランプを取り付ける。

- 1 ランプを静かに入れる。
  - ・奥まで押し込んでください。
- 2 ランプの中央部分を押して、ランプのプラグを本体のソケットへ確実に差し込む。



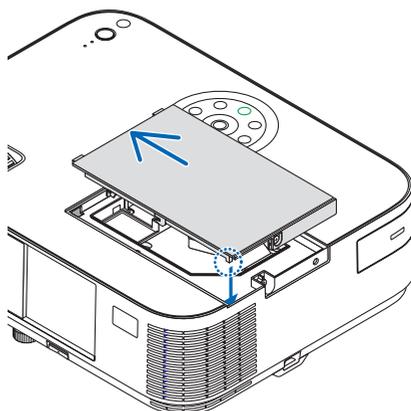
**3** ランプ固定のネジ (3 箇所) を右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。



**4** ランプカバーを取り付ける。

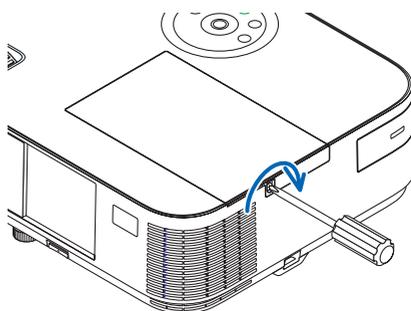
- 1** ランプカバー左側のリブを本体の内側に当てて入れ、その後スライドさせて取り付ける。



- 2** ランプカバーネジを右に回してしめる。

- ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。



**参考**

- ランプ交換時間 (目安) \* (🔌 142 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。

※保証時間ではありません。

## ランプ使用時間をクリアする

- 1 本機を投写する場所に設置する。
- 2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
- 3 ランプ使用時間をクリアする。
  - 1 オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(▶143 ページ)

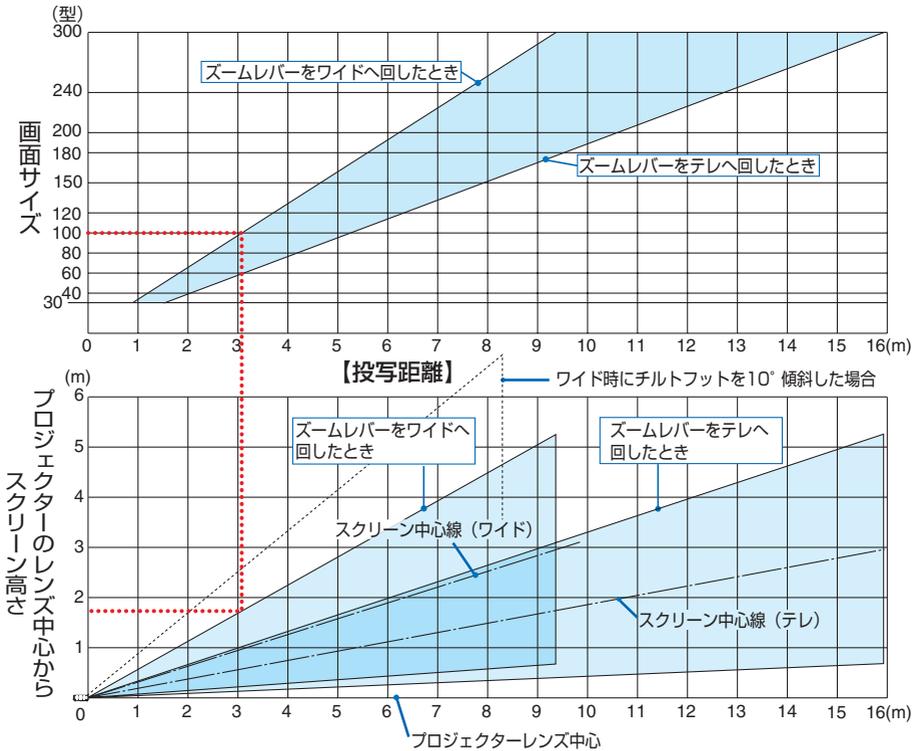
# 8. 付 録

## 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

### 適応機種 NP-M403XJD

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.9m（30 型の場合）～ 15.9m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



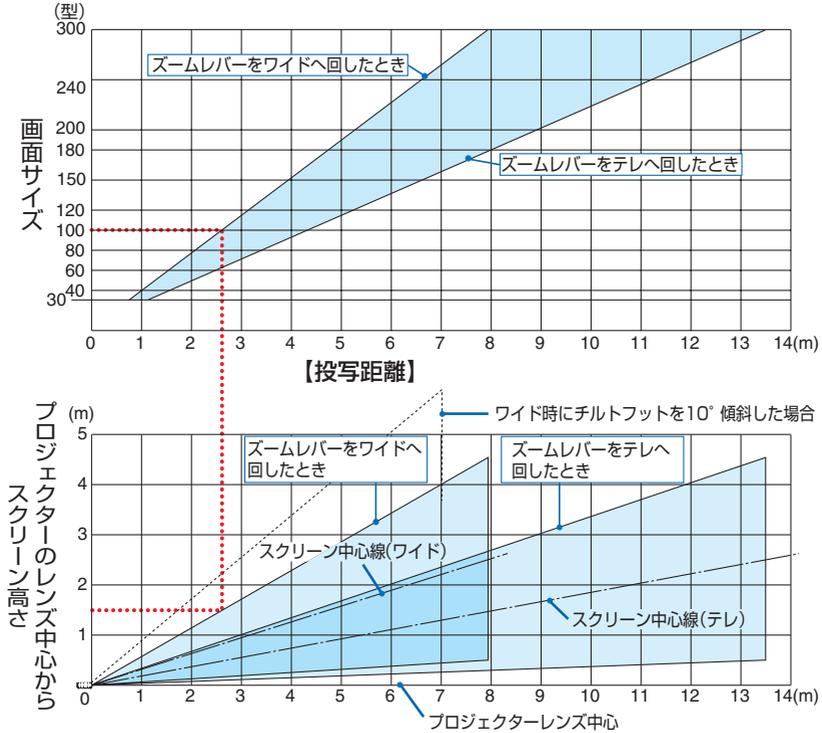
### 【表のみかた】

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、3m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクトャーのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.7m 必要となりますので、プロジェクトャーから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクトャーを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種** NP-M403WJD/NP-M363WJD

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.75m（30 型の場合）～ 13.5m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



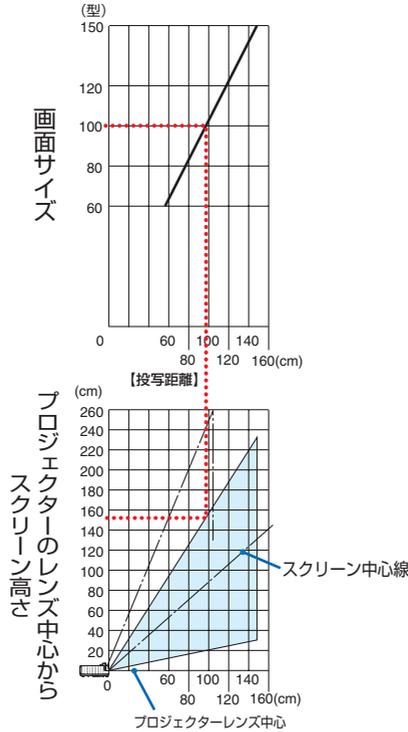
**【表のみかた】**

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.6m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.5m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 57cm（60 型の場合）～ 148cm（150 型の場合）です。この範囲で設置してください。

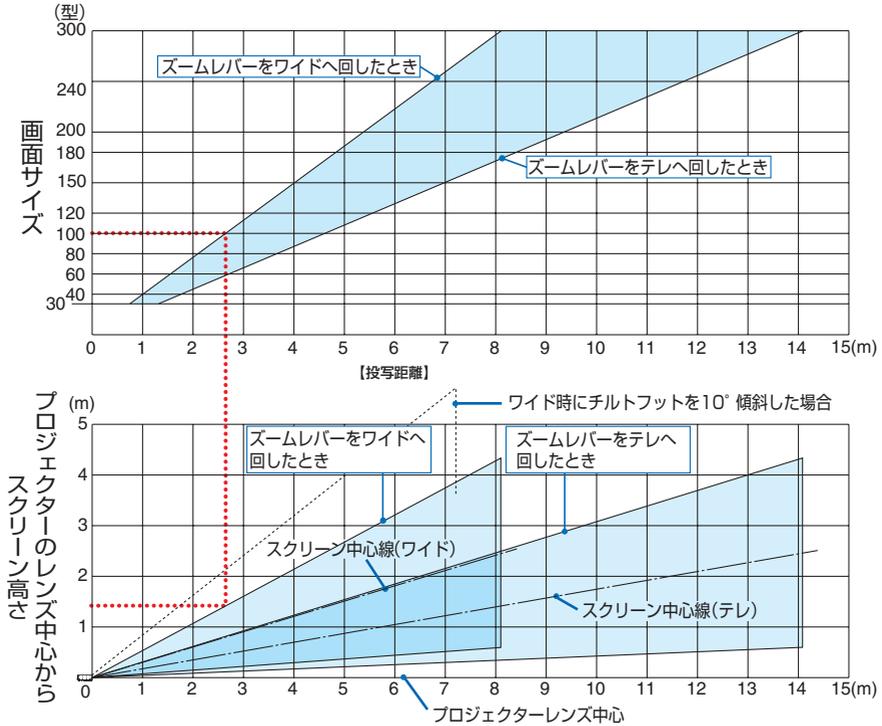


**【表のみかた】**

上の表より 100 型スクリーンに投写するには表より、97cm 付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 152cm 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種 NP-M403HJD**

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.74m（30 型の場合）～ 14.08m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



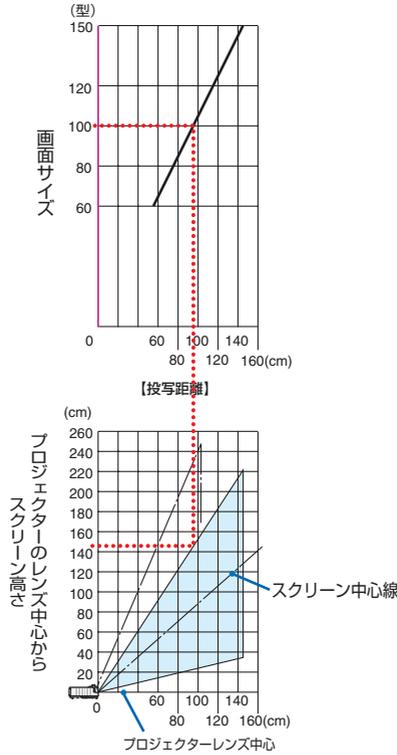
**【表のみかた】**

上の表より 100 型スクリーンにワイドで投写するには表より、2.7m 付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.4m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

**適応機種 NP-M353HSJD**

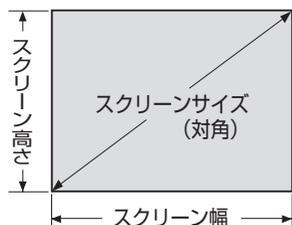
フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 55cm（60 型の場合）～145cm（150 型の場合）です。この範囲で設置してください。



**【表のみかた】**

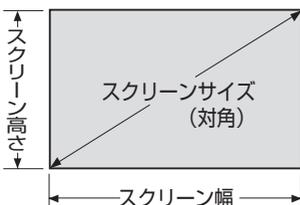
上の表より 100 型スクリーンに投写するには表より、95cm 付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 146cm 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。チルトフットにより上へ最大約 10° 上げることができます。

## スクリーンサイズと寸法表



適応機種 NP-M403XJD

サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2



適応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD/  
NP-M353WSJD/NP-M303WSJD

サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9



適応機種 NP-M403HJD/NP-M353HSJD

サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	66.4	37.4
40	88.6	49.8
60	132.8	74.7
80	177.1	99.6
100	221.4	124.5
120	265.7	149.4
150	332.1	186.8
200	442.8	249.1
240	531.3	298.9
300	664.1	373.6

## デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用するときの例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置…… (下表参照)

適応機種 NP-M403XJD

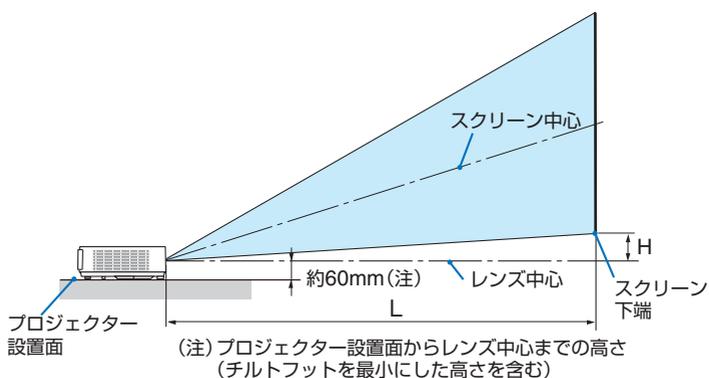
スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	
30	0.89	1.52	6.9
40	1.21	2.06	9.1
60	1.83	3.12	13.7
80	2.46	4.19	18.3
90	2.78	4.73	20.6
100	3.09	5.26	22.8
120	3.72	6.32	27.4
150	4.66	7.93	34.3
200	6.23	10.59	45.7
300	9.37	15.93	68.5

適応機種 NP-M403WJD/NP-M363WJD

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	
30	0.75	1.28	5.0
40	1.02	1.73	6.7
60	1.55	2.64	10.0
80	2.08	3.54	13.3
90	2.35	4.00	15.1
100	2.61	4.45	16.7
120	3.14	5.35	20.0
150	3.94	6.71	25.0
200	5.27	8.97	33.3
300	7.94	13.50	50.0

適応機種 NP-M403HJD

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	
30	0.74	1.32	6.0
40	1.02	1.80	8.0
60	1.56	2.74	11.9
80	2.11	3.69	15.9
90	2.38	4.16	17.9
100	2.65	4.63	19.9
120	3.20	5.58	23.9
150	4.01	6.99	29.8
200	5.38	9.36	39.8
300	8.10	14.08	59.7

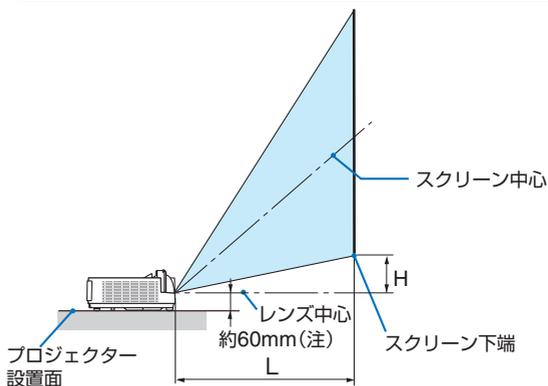


**適応機種** NP-M353WSJD/NP-M303WSJD

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (cm)	寸法 H (cm)
60	56.5	12.0
80	76.9	16.0
100	97.3	19.9
120	117.7	23.9
150	148.2	29.9

**適応機種** NP-M353HSJD

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (cm)	寸法 H (cm)
60	55.3	13.9
80	75.2	18.5
100	95.1	23.1
120	115.1	27.8
150	145.0	34.7

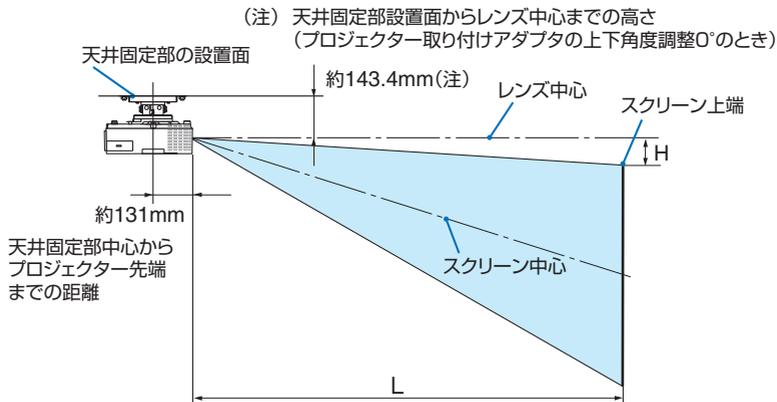


(注) プロジェクター設置面からレンズ中心までの高さ (チルトフットを最小にした高さを含む)

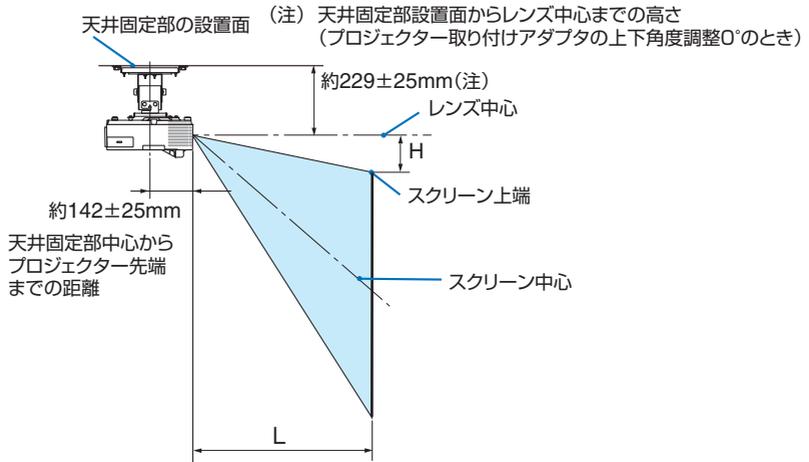
**参考**

- 天吊り金具 (別売) 設置時の投写距離について  
 投写距離 (L)、寸法 (H) はデスクトップの例と同じです。  
 天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は [184](#), [186](#) ページをご覧ください。

**適応機種** NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/NP-M403HJD



適応機種 NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/NP-M353HSJD



● 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。



# 対応解像度一覧

## アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85
XGA	1024 × 768 <sup>*1</sup>	4 : 3	60/70/75/85
WXGA	1280 × 768 <sup>*2</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*2</sup>	16 : 10	60
	1360 × 768 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
	1366 × 768 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900 <sup>*3</sup>	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 <sup>*4</sup>	4 : 3	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080 <sup>*5</sup>	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 <sup>*6</sup>	16 : 10	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

## HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768 <sup>*1</sup>	4 : 3	60
WXGA	1280 × 768 <sup>*2</sup>	15 : 9	60
	1280 × 800 <sup>*2</sup>	16 : 10	60
	1366 × 768	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
HDTV(1080p)	1920 × 1080 <sup>*5</sup>	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080 <sup>*5</sup>	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720(1440) × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720(1440) × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080 *5	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080 *5	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

## コンポジット ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

## 3D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
コンピュータ *7			
XGA	1024 × 768	4 : 3	60*8/120*9
HD	1280 × 720	16 : 9	60*8/120*9
WXGA	1280 × 800	16 : 10	60*8/120*9
ビデオ *10			
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60

## HDMI 3D

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
フレームバッキング			
720p	1280 × 720	16 : 9	50/59.94/60
1080p	1920 × 1080	16 : 9	23.98/24
サイドバイサイド (Half)			
1080i	1920 × 1080	16 : 9	50/59.94/60
トップアンドボトム			
720p	1280 × 720	16 : 9	50/59.94/60
1080p	1920 × 1080	16 : 9	23.98/24

\*1: NP-M403XJD ではリアル表示

\*2: NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M353WSJD/NP-M303WSJD ではリアル表示

\*3: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16:9」に設定してください。

\*4: WXGA モードがオフの時。

\*5: NP-M403HJD/NP-M353HSJD ではリアル表示

\*6: WXGA モードがオンの時。アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応。HDMI 信号は非対応。

\*7: HDMI 信号も含まれます。

\*8: 60Hz 信号はサイドバイサイド、トップアンドボトム、フレームシーケンシャルに対応しています。

\*9: 120Hz 信号はフレームシーケンシャル選択時のみ対応しています。

\*10: ビデオ信号 (SDTV 480i) はフレームシーケンシャル選択時のみ対応しています。

- ・本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。
- ・アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や野線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。
- ・出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・コンピュータ信号は、セパレート同期信号のみ対応しています。

# 仕様

## ●標準モデル/ワイドモデル

型名		NP-M403XJD	NP-M403WJD/NP-M363WJD	
方式		単板 DLP 方式		
主要 部品 仕様	DLP チップ	サイズ	0.55 型 (アスペクト比 4 : 3)	
		画素数 <sup>(*)</sup>	786,432 画素 (1024 ドット× 768 ライン)	
	投写レンズ		F=2.4 ~ 3.1、f=17.09 ~ 29.05mm	
		ズーム	マニュアル (ズーム比 1.7 倍)	
		フォーカス	マニュアル	
光源	270W AC ランプ (エコ1 モード時 219W、エコ2 モード時 162W <sup>(*)</sup> )	NP-M403WJD:270W AC ランプ (エコ1 モード時 219W、エコ2 モード時 162W <sup>(*)</sup> ) NP-M363WJD:250W AC ランプ (エコ1 モード時 189W、エコ2 モード時 150W <sup>(*)</sup> )		
光学装置	カラーフィルタ回転による色分離			
明るさ <sup>(*)</sup> <sup>(*)</sup>		4000lm	NP-M403WJD:4000lm NP-M363WJD:3600lm	
コントラスト比 <sup>(*)</sup> (全白/全黒)	10000:1 (ダイナミックコントラスト オン時)			
画面サイズ (投写距離)	30 ~ 300 型 (0.89 ~ 15.93m)		30 ~ 300 型 (0.75 ~ 13.50m)	
色再現性	10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) <sup>(*)</sup>			
音声出力	20W モノラルスピーカ内蔵			
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)		
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)		
主な調整機能	自動台形補正、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ/HDMI1/HDMI2/ビデオ/USB-A/USB-B/LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示/選択など			
最大表示解像度 (横×縦)	1920 × 1200 (アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応)			
入力 信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性	
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω	
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz) DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)	
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上	
	入出力 端子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
映像出力			ミニ D-Sub 15 ピン× 1	
音声入力			ステレオミニジャック× 1	
音声出力			ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)	
HDMI		映像入力	HDMI® タイプ A×2 (DeepColor, LipSync, 3D) HDCP 対応 <sup>(*)</sup>	
	音声入力	HDMI® (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48kHz)		

型名		NP-M403XJD	NP-M403WJD/NP-M363WJD
入出力端子	ビデオ	映像入力	RCA × 1
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1
	3D	3DSync	Din 3 ピン × 1
		出力	
	Mic 端子	モノラルミニジャック × 1	
	PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン × 1	
	USB ポート	USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1	
無線 LAN 用 USB ポート	USB タイプ A × 1		
LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		
使用環境		動作温度 : 5 ~ 40℃ <sup>(*)7)</sup> 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 50℃ 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 動作高度 : 0 ~ 2400m (1700 ~ 2400m はファンモード「高地」)	
電源		AC 100V 50/60Hz <sup>(*)8)</sup>	
消費電力 (数値は 基準値)	エコモード切り時	338W	NP-M403WJD:338W NP-M363WJD:316W
	エコ1モード時	276W	NP-M403WJD:276W NP-M363WJD:240W
	エコ2モード時	221W	NP-M403WJD:221W NP-M363WJD:205W
	スタンバイ時(ネットワークスタンバイ)	2.6W	
	スタンバイ時(ノーマル)	0.15W	
定格入力電流		3.9A	NP-M403WJD:3.9A NP-M363WJD:3.6A
外形寸法		368 (幅) × 98 (高) × 286 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量		3.5kg	

(\*)1) : 有効画素数は 99.99% です。

(\*)2) : 最大でエコ1モード相当の電力になります。

(\*)3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(\*)4) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。  
エコ1モードにすると、明るさが NP-M403WJD/NP-M403XJD は約 81%、NP-M363WJD は約 76% に低下します。  
エコ2モードにすると、明るさが約 60% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\*)5) : 入力端子で、USB-A、LAN を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(\*)6) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 1 入力端子と HDMI 2 入力端子を装備しています。

本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディーブカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync、3D

音声 : LPCM; チャンネル数 : 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(\*)7) : 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。

(\*)8) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●ワイド短焦点モデル

型名		NP-M353WSJD/NP-M303WSJD	
方式		単板 DLP 方式	
主要 部 品 仕 様	DLP チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16 : 10)
		画素数 <sup>(*)1</sup>	1,024,000 画素 (1280 ドット× 800 ライン)
	投写レンズ	F=2.4、f=6.5mm	
		ズーム	デジタル (ズーム比 1.2 倍)
		フォーカス	マニュアル
	光源	NP-M353WSJD:270W AC ランプ (エコ1モード時 219W、エコ2モード時 162W <sup>(*)2</sup> ) NP-M303WSJD:225W AC ランプ (エコ1モード時 171W、エコ2モード時 135W <sup>(*)2</sup> )	
光学装置	カラーフィルタ回転による色分離		
明るさ <sup>(*)3</sup> <sup>(*)4</sup>		NP-M353WSJD:3500lm NP-M303WSJD:3000lm	
コントラスト比 <sup>(*)3</sup> (全白/全黒)		10000:1 (ダイナミックコントラスト オン時)	
画面サイズ (投写距離)		60 ~ 150 型 (0.57 ~ 1.48m)	
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) <sup>(*)5</sup>	
音声出力		20W モノラルスピーカ内蔵	
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)	
主な調整機能		自動台形補正、デジタルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ /HDMI1/HDMI2/ビデオ /USB-A/USB-B/LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など	
最大表示解像度 (横×縦)		1920 × 1200 (アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応)	
入 力 信 号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz) DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上
	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
	映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1	
	音声入力	ステレオミニジャック× 1	
	音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)	
HDMI	映像入力	HDMI <sup>®</sup> タイプ A × 2 (DeepColor、LipSync、3D) HDCP 対応 <sup>(*)6</sup>	
	音声入力	HDMI <sup>®</sup> (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz)	
ビデオ	映像入力	RCA × 1	
	音声入力	RCA (RCA L/R) × 1	
3D	3DSync出力	Din 3 ピン× 1	
Mic 端子	モノラルミニジャック× 1		
PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン× 1		
USB ポート	USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1		
無線 LAN 用 USB ポート	USB タイプ A × 1		
LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		

型名	NP-M353WSJD/NP-M303WSJD	
使用環境	動作温度 :5 ~ 40℃ <sup>(*7)</sup>	
	動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
	保存温度 : - 10 ~ 50℃	
	保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
動作高度 :0 ~ 2400m(1700 ~ 2400m はファンモード「高地」)		
電源	AC 100V 50/60Hz <sup>(*8)</sup>	
消費電力 (数値は 基準値)	エコモード切り時	NP-M353WSJD:338W NP-M303WSJD:283W
	エコ1モード時	NP-M353WSJD:276W NP-M303WSJD:218W
	エコ2モード時	NP-M353WSJD:221W NP-M303WSJD:186W
	スタンバイ時(ネットワークスタンバイ)	2.6W
	スタンバイ時(ノーマル)	0.15W
定格入力電流	NP-M353WSJD:3.9A NP-M303WSJD:3.3A	
外形寸法	368 (幅) × 98 (高) × 286 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量	NP-M353WSJD:3.7kg NP-M303WSJD:3.6kg	

(\*1) : 有効画素数は 99.99%です。

(\*2) : 最大でエコ1モード相当の電力になります。

(\*3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(\*4) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。  
エコ1モードにすると、明るさがNP-M353WSJD は約 81%、NP-M303WSJD は約 76%に低下します。エコ2モードにすると、明るさが約 60%に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\*5) : 入力端子で、USB-A、LAN を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(\*6) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 1 入力端子と HDMI 2 入力端子を装備しています。

本機のHDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync、3D

音声 : LPCM; チャンネル数; 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(\*7) : 35 ~ 40℃は「強制エコモード」になります。

(\*8) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●フル HD モデル

型名		NP-M403HJD	
方式		単板 DLP 方式	
主要部品仕様	DLP チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16 : 9)
		画素数 <sup>(*)1</sup>	2,073,600 画素 (1920 ドット× 1080 ライン)
	投写レンズ		F=2.4 ~ 3.2、f=18.0 ~ 30.6mm
		ズーム	マニュアル (ズーム比 1.7 倍)
		フォーカス	マニュアル
光源	270W AC ランプ (エコ 1 モード時 219W、エコ 2 モード時 162W <sup>(*)2</sup> )		
光学装置	カラーフィルタ回転による色分離		
明るさ <sup>(*)3</sup> <sup>(*)4</sup>	4000lm		
コントラスト比 <sup>(*)3</sup> (全白/全黒)	10000:1 (ダイナミックコントラスト オン時)		
画面サイズ (投写距離)	30 ~ 300 型 (0.74 ~ 14.08m)		
色再現性	10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) <sup>(*)5</sup>		
音声出力	20W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)	
主な調整機能	自動台形補正、マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ/HDMI1/HDMI2/ビデオ/USB-A/USB-B/LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、電源オン/スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)	1920 × 1200 (アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応)		
入力信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz) DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上
入出力端子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		音声入力	ステレオミニジャック× 1
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)
	HDMI	映像入力	HDMI® タイプ A × 2 (DeepColor、LipSync、3D) HDCP 対応 <sup>(*)6</sup>
		音声入力	HDMI® (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz)
	ビデオ	映像入力	RCA × 1
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1
	3D	3DSync 出力	Din 3 ピン× 1
	Mic 端子	モノラルミニジャック× 1	
PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン× 1		
USB ポート	USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1		
無線 LAN 用 USB ポート	USB タイプ A × 1		
LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		

型名	NP-M403HJD	
使用環境	動作温度 :5 ~ 40℃ <sup>(*)7</sup>	
	動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
	保存温度 : - 10 ~ 50℃	
	保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
	動作高度 :0 ~ 2400m(1700 ~ 2400mはファンモード「高地」)	
電源	AC 100V 50/60Hz <sup>(*)8</sup>	
消費電力 (数値は 基準値)	エコモード切り時	338W
	エコ1モード時	276W
	エコ2モード時	221W
	スタンバイ時(ネットワークスタンバイ)	2.6W
	スタンバイ時(ノーマル)	0.15W
定格入力電流	3.9A	
外形寸法	368 (幅) × 98 (高) × 286 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量	3.7kg	

(\*)1 : 有効画素数は 99.99%です。

(\*)2 : 最大でエコ1モード相当の電力になります。

(\*)3 : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書2に基づいています。

(\*)4 : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。

エコ1モードにすると、明るさが約 81% に低下します。

エコ2モードにすると、明るさが約 60% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\*)5 : 入力端子で、USB-A、LAN を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(\*)6 : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 1 入力端子と HDMI 2 入力端子を装備しています。

本機のHDMI1 入力端子および HDMI 2 入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync、3D

音声 : LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

(\*)7 : 35 ~ 40℃は「強制エコモード」になります。

(\*)8 : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

## ●フル HD 短焦点モデル

型名	NP-M353HSJD		
方式	単板 DLP 方式		
主要部品仕様	DLP チップ	サイズ	0.65 型 (アスペクト比 16 : 9)
		画素数 <sup>(*)1</sup>	2,073,600 画素 (1920 ドット× 1080 ライン)
	投写レンズ	F=2.4、f=6.5mm	
		ズーム	デジタル (ズーム比 1.2 倍)
		フォーカス	マニュアル
	光源	270W AC ランプ (エコ 1 モード時 219W、エコ 2 モード時 162W <sup>(*)2</sup> )	
光学装置	カラーフィルタ回転による色分離		
明るさ <sup>(*)3</sup> <sup>(*)4</sup>	3500lm		
コントラスト比 <sup>(*)3</sup> (全白/全黒)	10000:1 (ダイナミックコントラスト オン時)		
画面サイズ (投写距離)	60 ~ 150 型 (0.55 ~ 1.45m)		
色再現性	10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) <sup>(*)5</sup>		
音声出力	20W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15 ~ 100kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上)	
	垂直	50 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz)	
主な調整機能	自動台形補正、デジタルズーム、マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ /HDMI1/HDMI2/ビデオ /USB-A/USB-B/LAN)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / スタンバイ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)	1920 × 1200 (アナログ RGB 信号入力時、アドバンスド・アキュブレンドによる対応)		
入力信号	R,G,B,H,V		RGB:0.7Vp-p / 75 Ω 正極性 H/V Sync:4.0Vp-p/TTL 正極性 / 負極性
	コンポジットビデオ		1.0Vp-p / 75 Ω
	コンポーネント		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p (50Hz) DVD: プロGRESSIVE信号 (50/60Hz)
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上
	音声		0.5Vrms / 22k Ω以上
入出力端子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		音声入力	ステレオミニジャック× 1
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)
	HDMI	映像入力	HDMI® タイプ A × 2 (DeepColor, LipSync, 3D) HDCP 対応 <sup>(*)6</sup>
		音声入力	HDMI® (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48KHz)
	ビデオ	映像入力	RCA × 1
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1
	3D	3DSync 出力	Din 3 ピン× 1
	Mic 端子	モノラルミニジャック× 1	
	PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン× 1	
USB ポート	USB タイプ A × 1、USB タイプ B × 1		
無線 LAN 用 USB ポート	USB タイプ A × 1		
LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		

型名	NP-M353HSJD	
使用環境	動作温度 :5 ~ 40℃ (*7)	
	動作湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
	保存温度 : - 10 ~ 50℃	
	保存湿度 :20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	
	動作高度 :0 ~ 2400m (1700 ~ 2400m はファンモード「高地」)	
電源	AC 100V 50/60Hz (*8)	
消費電力 (数値は 基準値)	エコモード切り時	338W
	エコ1モード時	276W
	エコ2モード時	221W
	スタンバイ時(ネットワークスタンバイ)	2.6W
	スタンバイ時(ノーマル)	0.15W
	定格入力電流	3.9A
外形寸法	368 (幅) × 98 (高) × 286 (奥行) mm (突起部含まず)	
質量	3.7kg	

(\*1) : 有効画素数は 99.99% です。

(\*2) : 最大でエコ1モード相当の電力になります。

(\*3) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

(\*4) : エコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。

エコ1モードにすると、明るさが約 81% に低下します。

エコ2モードにすると、明るさが約 60% に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(\*5) : 入力端子で、USB-A、LAN を選択しているときは、フルカラー (約 1677 万色以上) となります。

(\*6) : HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機には、HDMI 1 入力端子と HDMI 2 入力端子を装備しています。

本機の HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、HDMI 1 入力端子および HDMI 2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像 : DeepColor (ディープカラー : 色深度) : 8/10/12 ビット、LipSync、3D

音声 : LPCM; チャンネル数 : 2ch、サンプリング周波数 : 32/44.1/48kHz、サンプリングビット : 16/20/24 ビット

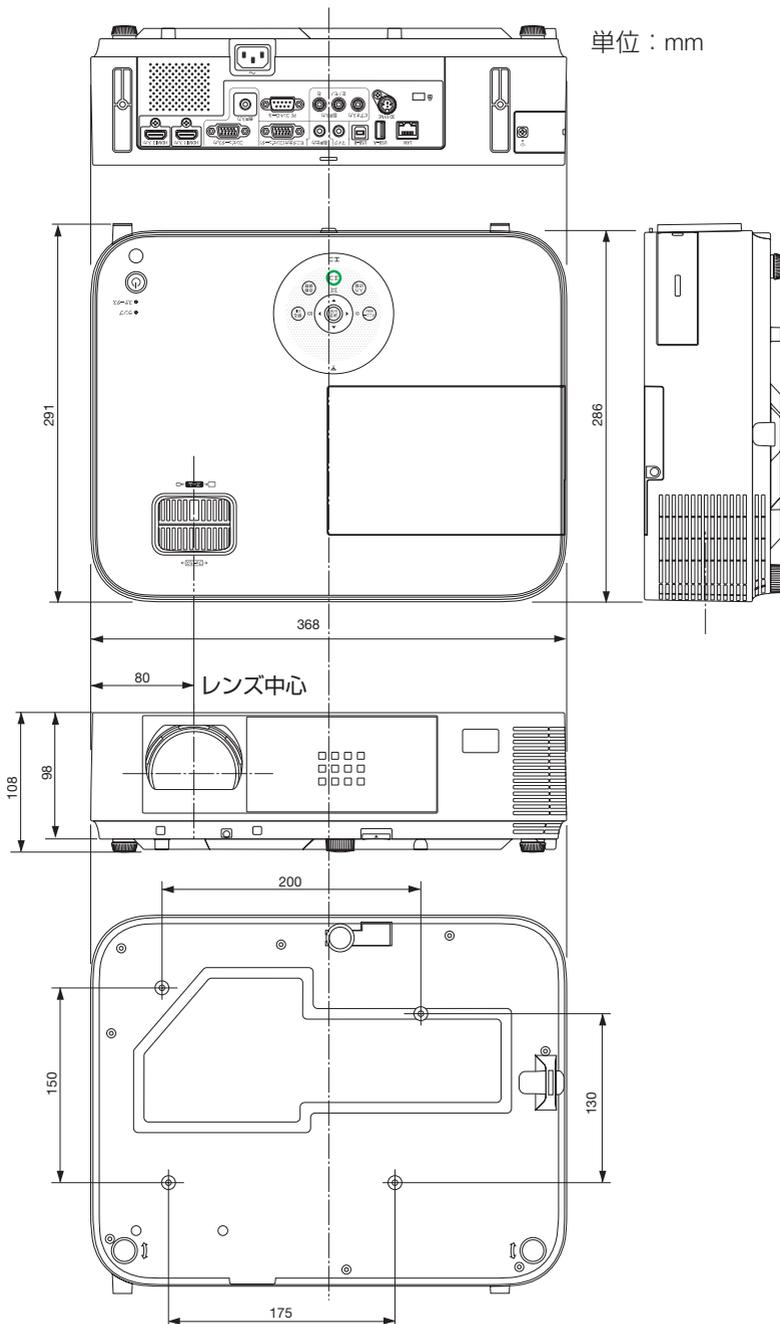
(\*7) : 35 ~ 40℃ は「強制エコモード」になります。

(\*8) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

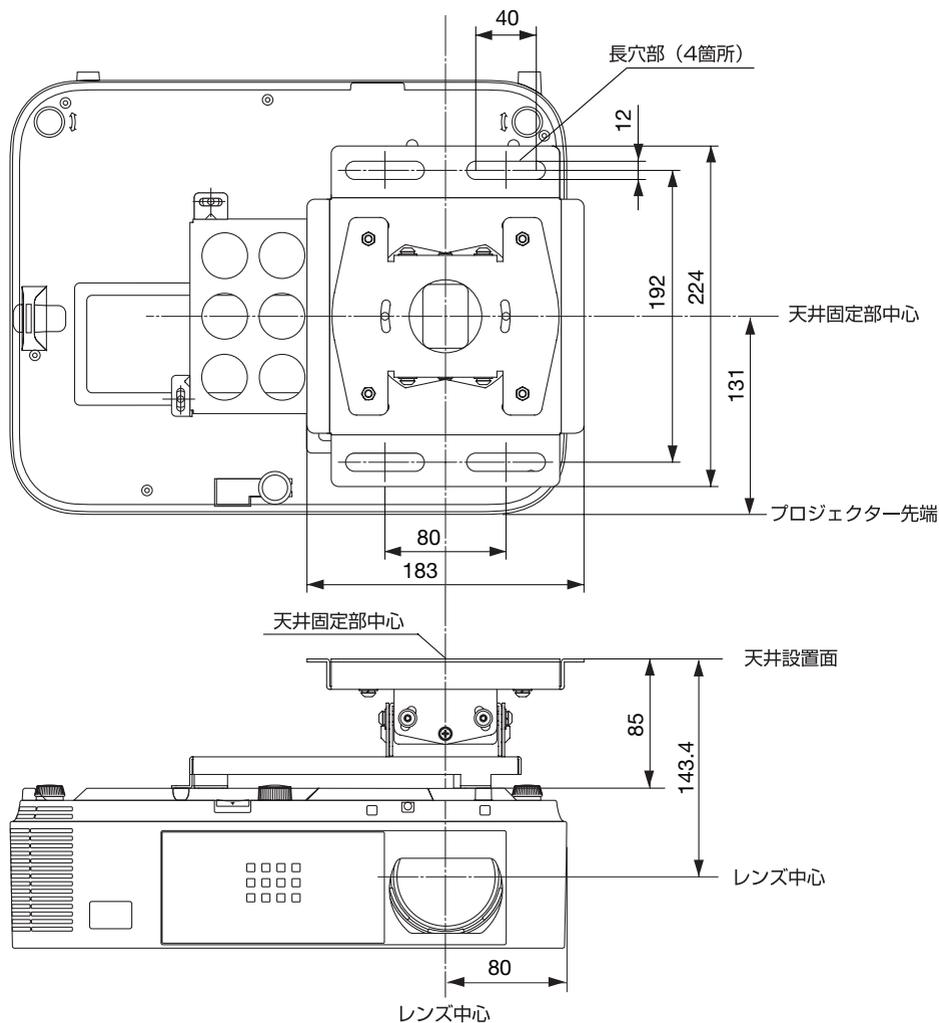
# 外觀図

## ●標準モデル/ワイドモデル/フル HD モデル



# 天吊り金具（別売）取り付け図

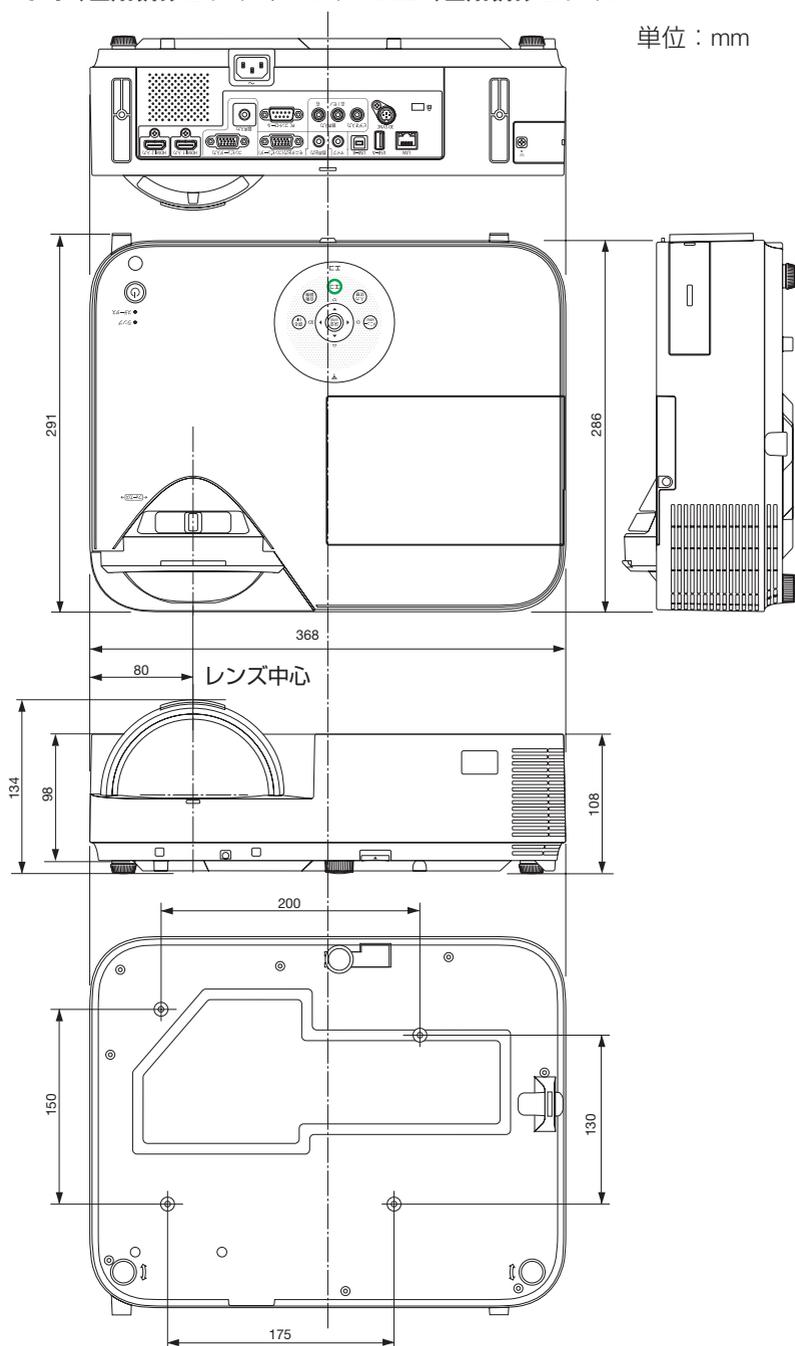
## 天井設置面寸法図（単位：mm）



注) 左右0度、上下0度、傾き0度時の寸法です。

## ●ワイド短焦点モデル／フル HD 短焦点モデル

単位：mm

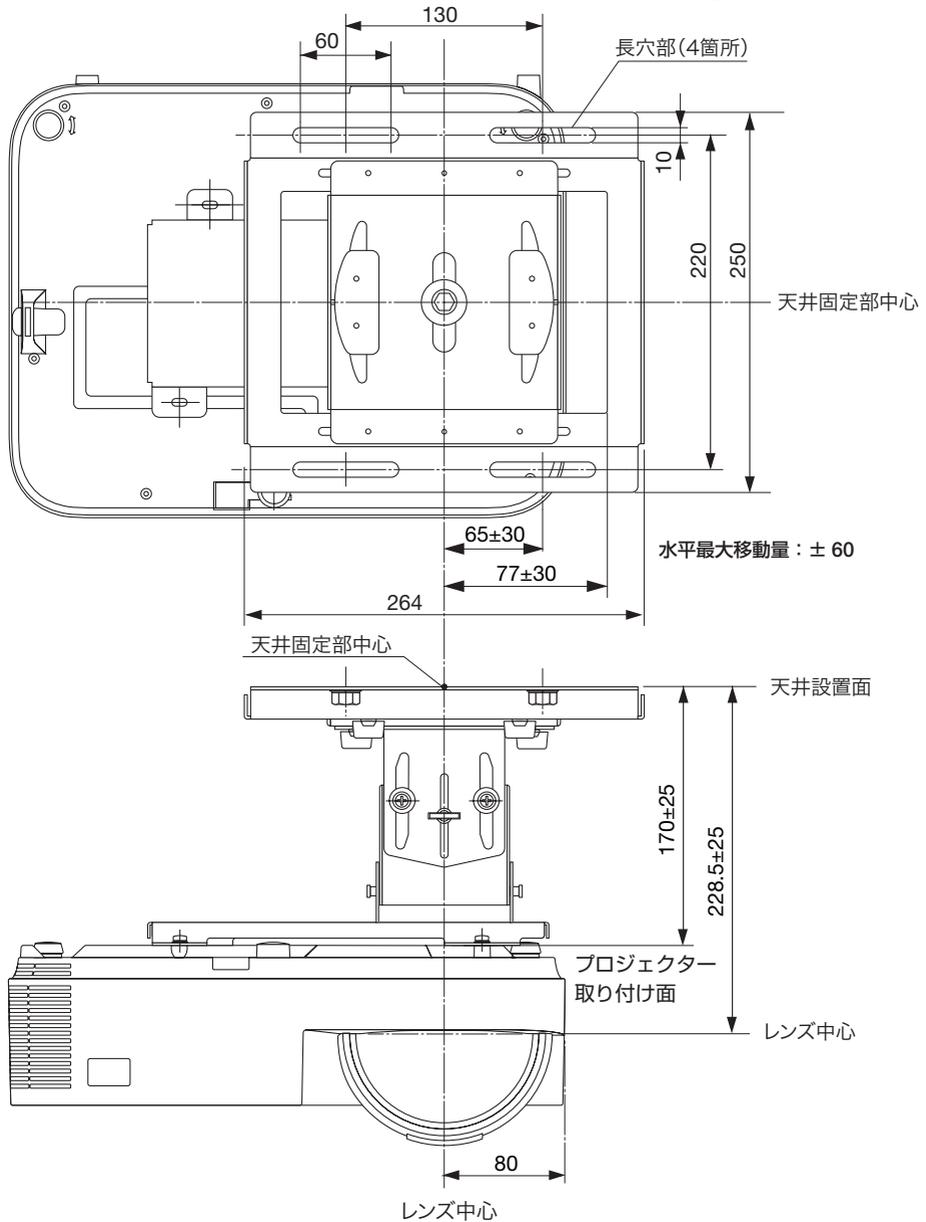


注) 固定で設置した場合、水平方向に最大+/- 60 mm調整が必要になることがあります。

# 天吊り金具（別売）取り付け図

## 天井設置面寸法図

単位：mm



- 注) ● 左右0度、上下0度、傾き0度時の寸法です。  
 ● 取り付け後、水平方向に調整が必要になることがあります。  
 最大+/- 60 mm調整することができます。

# ケーブルカバー（別売）の取り付けかた

別売のケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。



- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。ケーブルカバーが落下してけがをするおそれがあります。また、落下するとケーブルカバーが破損します。
- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーに無理な力を加えないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

## 取り付けかた

- 準備： 1. 電源コードやケーブル類を本機と接続してください（図は接続線を省略しています）。
2. プラスドライバーを用意してください。

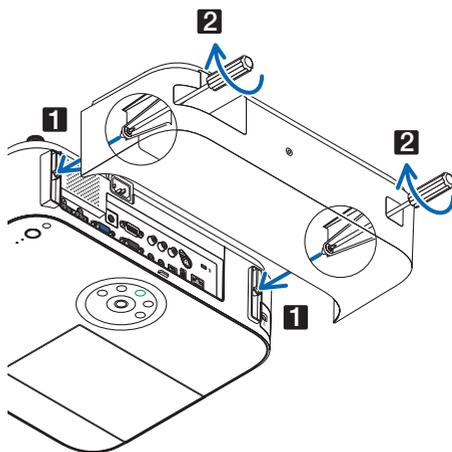
- 1** ケーブルカバーのネジ（左右）を本体のケーブルカバー取り付け部（左右）のネジ穴に合わせる。

- 注意** ● 電源コードやケーブル類をケーブルカバーではさまないようにしてください。

- 2** ケーブルカバーのネジを右に回してしめる。

- ・ネジは確実にしめてください。

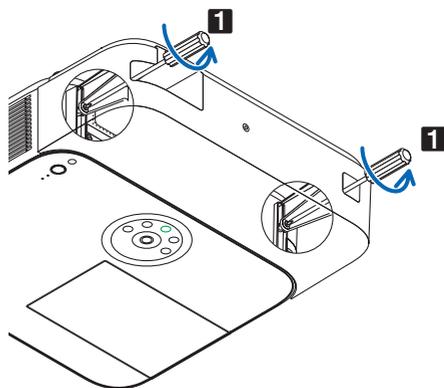
※天吊り設置状態の図です。



## 取り外しかた

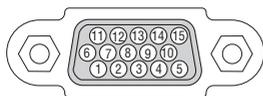
- 1** ケーブルカバーのネジ（左右）を空転するまで左に回してゆるめて外します。

- ・ケーブルカバーが落下しないように手を添えて行います。
- ・ネジは外れません。



# コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

## 各ピンの接続と信号レベル



## 信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTL レベル

ピン番号	RGB 信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	Hot Plug	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

## 参考

- Virtual Remote Tool では、コンピュータ映像入力端子の 12 ピンと 15 ピンを使用しています。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

## 現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	162
	ランプ固定のネジがゆるんでいませんか。	162
	ランプ交換時間（目安）*を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（ヘルプ）ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	142
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	195
使用中に電源が切れる	標高約1700m以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	131
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	48
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマーまたはオートパワーオフを「オン（時間を選択）」にしていませんか。	126 134

映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	35
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	144 ~ 152
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	117
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	173
	コンピュータ信号（RGB）の場合、画面調整を正しく行っていますか。	46
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、 <a href="#">192 ページ</a> をご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	110
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってみてください。	143
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	56
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
標高約 1700m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	131	
映像が歪む	正しく設置されていますか。	38
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	42
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	41
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	38
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	164
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号（RGB）の場合、 <b>（自動調整）</b> ボタンを押してください。	46
画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1700m 未満）で使用すると、ランプが冷えずぎて画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	131
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—

映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	53
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	118 119
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	173
コンピュータ信号 (RGB) で文字がちらついたり色がずれている	(自動調整) ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	46 118
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	28
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	28
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありますか。	29
	リモコンの有効範囲 (7m) を超えていませんか。	28
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。 コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	129 130
	本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、本機の USB(PC) ディスプレイ端子とコンピュータを USB ケーブル <sup>(注)</sup> で接続してください。 <sup>(注)</sup> NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/ NP-M403HJD は添付品、NP-M353WSJD/ NP-M303WSJD/NP-M353HSJD は市販の USB2.0 対応品を使用。	64
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	194 195
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	48

## コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

### ●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

#### 参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。  
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(🔗 141 ページ)

### ●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

#### 参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、**[Fn]**キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

<b>[Fn]</b> + <b>[F3]</b>	NEC
<b>[Fn]</b> + <b>[F8]</b>	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

### ●ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

## ● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなる場合があります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

## ● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

## ● Mac の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

# インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。

ランプインジケータ  ランプ

ステータスインジケータ  ステータス

電源インジケータ 

## ●電源インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている	—	
点滅	青色(短い点滅)	電源オン準備中	
	青色(長い点滅)	オフタイマー(有効状態)	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」)	—
	赤色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」)	—

## ●ステータスインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし、またはスタンバイ状態(スタンバイモードが「ノーマル」または「ネットワークスタンバイ」)	—	
点滅	赤色(1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(▶162ページ)
	赤色(2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。(▶次ページ)
	赤色(3回周期)	電源異常	電源が正常に動作していません。NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色(4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色(6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。

点滅	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。 注：スタンバイ状態では、ネットワークが競合しても、本機のステータスインジケータはオレンジ色に点滅しません。
点灯	緑色	スタンバイ状態へ移行中（スタンバイモードが「ノーマル」またはスリープ状態）	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(🔗 129 ページ)
		プロジェクターの ID 番号とリモコンの ID 番号が一致しないとき	コントロール ID を確認してください。(🔗 129, 130 ページ)

## ●ランプインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし	—	
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が 0% になり、ランプ交換の猶予時間 (100 時間) 中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗 159 ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗 159 ページ)
	緑色	エコモード「オートエコ、エコ 1、エコ 2」時	—

## ●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、ステータスインジケータが点滅します（2 回点滅の繰り返し）。

同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。(🔗 158 ページ)
- ・本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

# トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度  常時  時々 (  回中  回 )  その他 ( )

## 電源関係 .....

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。</li><li><input type="checkbox"/> ⑤ ボタンを押しても電源が入らない。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。</li><li><input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。</li></ul> |
|--|--|

## 映像・音声関係 .....

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。<br/>Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピュータによって異なります)。</li></ul>   | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。</li></ul>  |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。<br/>( )</li><li><input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。</li><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。</li><li><input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。</li><li><input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。</li></ul> |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。</li></ul>  | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。</li><li><input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。</li><li><input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。</li></ul>   |
|  | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。   |
|  | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。</li><li><input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。</li></ul>  |

## その他 .....

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。</li><li><input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。</li><li><input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。</li></ul> | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。<br>本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。</li><li><input type="checkbox"/> 本体の(戻る)ボタンを10秒以上押してもなおらない。</li></ul> |
|---|--|



## TCO 認証

この製品群には、TCO に認証されたモデルがいくつかあります。TCO に認証されたモデルにはすべて（製品底面の）銘板に TCO マークを表示しています。TCO に認証された当社のプロジェクターの一覧表と該当する TCO Certification（英語のみ）は、当社ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/projector/tco/index.html> をご覧ください。

TCO 認証は、TCO Development 社によって制定された、IT 機器のための環境および人間工学に関する国際規格です。

なお、TCO 認証の取得時期とプロジェクターの生産時期により、ホームページにモデル名が記載されていても、本体に TCO マークが付いていない場合があります。

# 索引

## 数字／アルファベット

3D	136
3D 映像	91
3D 視聴注意メッセージ	127
3D メガネ	136
3D モード	136
4 点補正	88
AC IN 端子	21, 22, 32
AMX BEACON	74
AV ミュート	20, 50
CO <sub>2</sub> 換算係数	135
DHCP	71, 138
DICOM SIM.	115
DNS	138
GCT (Geometric Correction Tool)	88
HDCP	176, 178, 180
HDMI 設定	132
HTTP	68
ID 表示	126
Image Express Utility Lite	30, 68, 81
Image Express Utility Lite for Mac OS	30, 86
IP アドレス	68, 71, 138
LAN	76, 81, 153
L / R 反転	137
MAC アドレス	141
NEC Projector CD-ROM	19, 30
PC Control Utility Pro 4	30, 76
PC Control Utility Pro 5 (for Mac OS)	30, 79
PJLink	74
sRGB	115
SSID	72
USB ディスプレイ	65, 81
USB (LAN) ポートカバー	20, 22, 155
USB メモリ	98, 100
Virtual Remote Tool	30, 58
Wireless Image Utility	96
WXGA モード	132

## 五十音

【ア行】	
明るさ	117
アスペクト	120
位相	118
色温度	116

インジケータ表示	194
映像	115
エコ1 オプション	125
エコ2 オプション	125
エコインジケータ	24, 52
エコメッセージ	127
エコモード	52, 106, 124
オートエコオプション	124
オートパワーオフ	134
オートパワーオン (COMP.)	134
オーバースキャン	119
オプション (1)	131
オプション (2)	133
オフタイマー	106, 126
オンスクリーンメニュー	106, 110
温度プロテクタ	195
音量	47

## 【カ行】

カーボンメータ	54
外光センサー	21, 22
解像度	173
画像設定	118
壁色補正	124
カラー	117
カラーエンハンスメント	117
カラー方式	132
ガンマ補正	116
キーワード	55
幾何学補正	88
吸気口	21, 22
強制エコモード	53, 106
クローズドキャプション	125
クロック周波数	118
ゲートウェイ	71, 138
ケーブルカバー	187
言語	34, 126
コントラスト	117
コントロールID	129
コントロールウィンドウ	67
コンピュータケーブル	18, 32, 61, 144

## 【サ行】

サブネットマスク	71, 138
サムネイル画面	100, 103

サムネイルメニュー	104
参照	116
色相	117
自動台形補正	42, 123
自動調整	46
シャープネス	117
詳細設定	116
情報	141
初期入力選択	36, 135
垂直	119
水平	118
ズームレバー	20, 40
スクリーンサイズ (映像)	116
スクリーンサイズ (投写距離)	164, 169
スタンバイモード	133
ステータスインジケータ	23, 194
スピーカ	21, 22, 47
スライド画面	101, 103
スライドショー画面	103
スライドショーメニュー	105
スライドメニュー	105
静止	50
セキュリティ	55, 72, 129
セキュリティバー	20, 22
接続端子部	21, 22, 25
設置	128, 164
セットアップ	123
全般	123
ソフトケース	19, 49

### 【タ行】

台形歪み	38, 42, 123
台形補正	123
台形補正保存	124
ダイナミックコントラスト	117
ダイレクトパワーオン	134
調整	115
チルトフット	20, 22, 39
チルトレバー	20, 22, 39
ツールバー (Virtual Remote Tool)	58
通貨選択	135
通信速度	129
デジタルズーム	123
テストパターン	131
電気料金換算係数	135
電源	33, 48
電源インジケータ	23, 194
電源コード	4, 18, 32, 49
投写距離	164

投写方法	128
盗難防止用ロック	21, 22

### 【ナ行】

入力信号	35, 67, 106
入力端子	25, 114
入力端子表示	126
ネットワークスタンバイ	133
ネットワーク設定	71

### 【ハ行】

バックグラウンド	127
ビーブ音	132
ビューワ	98
ビューワ起動画面	100, 103
表示位置	122
表示時間	127
表示色選択	126
ファンモード	106, 131
フォーカスリング	20, 41
フォーカスレバー	22, 41
部分拡大	51
プリセット	115
プロジェクター名	73
本体キーロック	129
本体操作部	20, 22, 23

### 【マ行】

無信号ガイダンス	126
無線 LAN	71, 139, 155
無線 LAN インジケータ	24
無線 LAN ユニット	106, 139, 155
メール通知	73
メニュー設定	126

### 【ヤ行】

有線 LAN	71, 138
--------	---------

### 【ラ行】

ランプ	159, 161
ランプインジケータ	23, 195
ランプカバー	21, 22, 160
ランプ残量	141, 142
ランプ時間クリア	143, 163
ランプ使用時間	141, 142
ランプの交換	159
リアフット	21, 22, 39
リセット	143
リセット (映像)	117

リモートマウス			64
リモコン	18,	26,	28
リモコン受光部	20,	22,	28
レンズ	20,	22,	157
レンズカバー	20,	33,	49
レンズキャップ	22,	33,	49
ロゴ		58,	127

## 別売品／商標について

### ●別売品

		商 品 名	型 名
ランプ	交換用ランプ	NP-M403WJD/NP-M403XJD/NP-M353WSJD/ NP-M403HJD/NP-M353HSJD 用	NP30LP
		NP-M363WJD 用	NP29LP
		NP-M303WSJD 用	NP28LP
天吊り金具	天井用取付け ユニット	NP-M403WJD/NP-M403XJD/NP-M363WJD/ NP-M403HJD 用	NP12CM
		NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M353HSJD 用	NP16CM
無線 LAN ユニット			NP05LM3
ケーブルカバー			NP05CV

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

## ● 商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend、GeometricCorrection は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ Apple、Mac、MacBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing) はテキサス・インスツルメンツの商標です。
- ・ Intel、Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の米国その他の国における商標または登録商標です。



- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access (WPA, WPA2)® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Google、Google Play、Android は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

## ● 本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属 CD-ROM 内の「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。



# 保証と修理サービス（必ずお読みください）

## 保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

### ●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
- ・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
  - （1）お買い上げから6か月間。
  - （2）ランプ残量（[141ページ](#)）が50%になるまで。

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（[189ページ](#)）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（[196, 197ページ](#)）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

### ●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

### ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター	
型名	NP-M403WJD/NP-M363WJD/NP-M403XJD/ NP-M353WSJD/NP-M303WSJD/ NP-M403HJD/NP-M353HSJD	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お名前		
電話番号		
訪問ご希望日		
べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ ( ) -

## 修理料金の仕組み

- ・ 技術料  
故障した製品を正常に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- +
- ・ 部品代  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- +
- ・ 引取費用  
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの  
トータルサポート窓口

## NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

**受付時間** 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)  
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

**ホームページ** <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

### 輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。